蔡峻風刺画集



蔡峻風刺画集

蔡峻風刺画集

画集出版に敬意

在日本朝鮮文学芸術家同盟中央常任委員会
委員長　鄭 華 水

このたび、風刺漫画家としての長い画業を一冊の本にまとめた蔡峻氏にまず、深い敬意を表したい。

漫画の最も本質的な属性は笑いであり、その笑いの特性は人民大衆の抑圧者に対する鋭い批判をこめた潮笑――すなわち風刺である。

蔡峻氏は、祖国解放後からこんにちまでの長きにわたって、この漫画の持つ最も本質的な属性である風刺を武器として、ひたすら創作の筆をとり続けてきた在日朝鮮人漫画家である。つねに在日朝鮮人運動とともに、呼吸し、人民大衆を抑圧する圧制者に風刺の刃を向け続ける創作活動は、いつの日にも在日同胞にとって大きな励みであった。

彼の鋭い風刺精神は、その間いささかによどむことなく、時とともにかえって益々旺盛さを増すかのようである。

「蔡峻風刺画集」には、民衆を抑圧し祖国の統一を妨げてきた、李承晩から盧泰愚にいたる南朝鮮歴代圧制者の系譜と、その罪業が激しいまでの風刺精神で暴かれている。

その意味で、この画集は朝鮮民族・在日朝鮮人の歩んできた、解放から現代までの分断克服の闘いの歴史を傍証する記録でもある。

このたびの画集出版を機として、衰えを知らぬ風刺精神のさらなる発揚を期待してやまない。

充実の画力、痛烈な風刺

作家　飯沢　匡

私は、かねがね漫画には二要素が兼ね備わっていなくてはならないと主張して来た。二要素とは「漫」「画」である。これを分かりやすくいい直すならばアイディアと美術的価値である。どうも今の漫画の力が弱いのは「漫」の要素が勝って「画」の要素において劣性であることに、その原因を求めることができるのではないかと考える。

このような私の考えから蔡峻氏の今回の個展を見ると、難のつけようのない完成度を持っていることが第一に来る。

蔡氏を論ずる時、私は、まず「画」の方から始めたい。蔡氏は線の人という印象を受けた。世に「鉄線描」という言葉があるが、東洋画は、この線の強さにあるように思うのである。物の形象を捉えるのに東洋の画人は輪郭を正確に捉えるのである。これは古代人の絵画を見ても分かることで、アルタミラの洞窟画の動物の絵は絵具の面で捉えている。東洋のいわゆる漢字の源流は絵であるが、実にうまく線で簡略化している。

蔡氏の線には、この伝統が脈々と生きている。その筆づかいのスピードの緩急、筆の圧力の強弱が微妙に変化して、物の質感や運動を現している。

つまり生きた線が使える人なのだ。これは書道にも通ずる東洋の伝統なのである。

次には色彩であるが、輪郭がすでに雄弁なので、それ以上、変化させては濃密になり過ぎるので、淡彩で故意に平面的に塗り陰影を避けているのは極めて賢明で、一種の木版画の浮世絵のような粋な効果を出している。私は氏の原画で浮世絵木版を複製してみたい希望を持った。その頒布会を催したら多くの人が求めたがるのではないか。

いよいよ「漫」を論じなければならぬが氏はシュルレアリストである。この画風は「超現実」と訳されているが、要するに「不条理」を具体的に画面で構築してゆくことである。「超現実」と訳すと現実に目を向けず、逃避する態度のようにとられる危険があるが、蔡氏は「現実」を即ちリアリスチックな観察力で直視しながら、その現実を意想外な組合わせをすることによって、より強く、より衝撃的に拡大しているのである。

そこで風刺を成立させているので、慣れぬ人は、現実の組み合せの突飛さに戸惑いを感じ拒絶反応を起こすかも知れぬが、よく画面を見ていると作者の痛烈な批判や深い悲しみが伝わってくるのである。

私は氏が木版画の作家になることを夢みる。そうすればフランス人のポール・シャクレェや吉田博のような国際版画家が、また一人増えたことになると思うのである。シャクレェも吉田も版下の絵だけ描き「刻り」や「刷り」は職人に任せていた。それは江戸の浮世絵画家、歌麿や北斉などのしていたことなのである。何とか、私の夢を実現させてみたいものである。あのドオミエも実に版画家(リトグラフ)であったことを思いだして頂きたい。（第４回個展評・1984年）

蔡峻作品集

祖国の解放、そして分断――。

45年間にわたる歳月は激流のように在日朝鮮人社会を席巻した。統一への熱い願いとその実現への闘い、人権と生活のための闘い、厳しい圧制との闘いは祖国を海の彼方に持つ在日同胞の運命そのものに直接かかわる切実な問題であった。

蔡峻氏は熾烈だったこの半世紀の殆んどの空間を一朝鮮人画家として常に一線で活躍し、今日なお作家的良心と信念を貫き、旺盛に創作する希有な美術家である。

政治漫評をはじめとした社会風刺のシャープな線画と繊細なる感性の矛先は常に為政者の腐敗と虚偽を暴き、差別する側へと鋭く向けられる。また、統一を阻み民主化を踏みにじる不条理とその元凶に立ち向かう激しい民衆の叫びを鮮明に代弁する。数十年の間、毎日のように発表された氏の夥しい作品には20世紀後半世の朝鮮の政治、社会相が簡潔な画面で雄弁にフォローされている。一作家の仕事としては驚異的であり、社会派作家としての姿勢には他の追随を許さぬものがある。秀れて個性的な画家と言えよう。

特に近年精力的に取り組んでいるタブロー群、3、４世同胞青年の生活相をえぐるように表現した絵画の内容では在日朝鮮人のアイデンティティーに鋭く迫るものがある。一連の作品には、氏のみずみずしい感性が喜々と冴え心地よい。歳月の重なりと在日同胞の複雑な状況の中で揺らぐことなく祖国を熱く愛し、激しい創作欲に燃え、新たなる試みにひた走る姿は、作品とともに人生観にも示唆を与える。（金漢文）



基地　グワッシュ　53.7×36.2㎝



父を訪ねて　グワッシュ　53.7×36.2㎝



光州　グワッシュ　53.7×36.2㎝



チョゴリ泥棒　アクリル　100×80.3㎝



、、の聖紀　アクリル　100×80.3㎝



彼らはかわっていなかった　アクリル　90.9×72.7㎝



この子らがなにをした　アクリル　100×80.3cm



歓喜　アクリル　90.9×72.7cm



祖国の大地　アクリル　90.9×65.2cm

蔡峻作品展をみて

漫画家　手塚治虫

素晴らしいという一言につきる。風刺が実に直截的で、鑑賞者に明確なイメージを伝えている点に、同じ漫画家としてうらやましさを感じた。

蔡峻氏の絵は、祖国というものを日本からながめる、つまり日本に住んでいながら、祖国を見守っている。と同時に私の考えでは日本の漫画家たちが、その鋭い攻撃の矢面にさらされているように思う。日本の現在の立場、朝鮮半島の状況など把握の甘さと対処の仕方を反省しなければならない。

日本人の漫画家は、明確な風刺を使うことに照れてしまったり、また自己満足に終ってしまいがちだ。建設的だといわれる日本の漫画家たちの展覧会にもよくでかけるが、そこには″日本人の甘さ″という感を否めない。ところが蔡峻氏の絵には、そうした甘さがないのはもちろん、それをみる日本人に、その甘さを痛感させる。

私は、絵はたたかいの道具であり、漫画は風刺と攻撃であると思っている。ところが日本では、表面的な平和に慣らされてしまい、この点があいまいになっている。もっとはっきりとしたメッセージを照れずに表わせるようにならなければいけないと思う。

絵に関していうと蔡峻氏の絵には、われわれが出し得ない暗さというものがある。現在の朝鮮人の境遇に対する怒り、日本の植民地支配に対する恨み、悲しみというものが明るい表現の裏に隠されている。それは色の使い方に表れていると思う。今回の展示作の中で背景にグリーンが使われているのは「汝信ぜよ」の一点だけで、他はグレーを基調色にしている。私たちはグリーンに対して暖かい、平和的なイメージをもっている。グレーは攻撃、風刺という点で訴えるものが大きい。

蔡峻氏はなぜ若い女性だけ描いているのだろうか。蔡峻氏の描く女性の顔は、穏やかで美しい。しかし、それが逆に暗さ、悲しみといったものを強調している。これがもし、労働者や子ども、主婦が描かれていたとすると、その作品は、わりとスタンダートな表現になってしまっただろう。全般的に前の展覧会に比べて色使いが明るくなっていてシャープさとソフトさがよく調和しているように思う。

私は蔡峻氏の個展を単なる漫画の展覧会としてみたくない。こういう個展は、ややもするとほかのイラストと同じだと思われがちだが、まったく違う。私は純粋絵画の展覧会にもよくでかけるが、蔡峻氏のように強いメッセージを伝えているのは少ない。それだけ革新的な作品だと思う。

こうした強い個性をもつ展覧会は、もっとアピールして、もっと多くの日本人がみるようにしてほしい。それほど貴重な個展だ。そのためのお手伝いは喜んでするつもりだ。（第６回個展をみて・1986年談）

分断45年史

（解説 康煕奉）

※この作品集は主として朝鮮新報、朝鮮時報などに発表したものである。原画の大部分は散逸してしまったが、それでもまだ手元に数千枚残っていたのでそこから選んだ。李承晩時代は原画がないので、前に出した画集から収録した。（著者）

米軍占領から4.19民衆蜂起まで

(1945.8～1960.4)

李承晩は自分が李朝王族の末裔であると吹聴してまわった。もっともそれが事実なのかは証明されていない。逆に科挙（いまの国家公務員試験）に２度失敗したという話もある。いずれにせよ李封建王朝は、国と民族を日本に売り渡した張本人であり、その末裔であることは決して自慢できるものではない。だが、李承晩はそれを権力を握ることの正統性の証明にしようとしたのであり、アメリカも李を推す口実の一つとしてそれを利用した。

「ブルボン王朝の再来」

権力を握った李は、まさしく封建国家の「領主」として振舞った。解放後、南朝鮮を占領した米軍司令官のホッジは、李を懐疑心が強く、独善的ではなもちならない独裁者だと評した。その李の「政権」は「ブルボン王朝の再来」と言われた。

李「政権」の誕生によって朝鮮半島の分断が決定的となった。

李「政権」発足一ヵ月後の1948年９月、北には人民の権力—朝鮮民主主義人民共和国が誕生した。アメリカは南の植民地軍事基地化を急いだ。李「政権」はアメリカの占領政策にもとづいた便宜上の現地権力として登場したが、それはすでに全土を掌握していた人民の権力機関である人民委員会への徹底した弾圧をともなった。米人記者のマーク・ゲインは、米軍は朝鮮上陸後、ほとんど一ヵ月間をそのためについやしたと書いている（「日本日記」）。

李「政権」は「韓国」に登場した最初の親米独裁政権だ。彼の政治顧問であった米国人のロバート・オリバーは、李の精神と政治姿勢についてこう語っている。「（李は）アメリカと提携してすべての問題をアメリカ的見方で見ざるを得なかった…。彼はわれわれの意思に反してまでも、極東におけるアメリカの価値を救うために多くのことをなした」（「人間李承晩」）。朝鮮が分断されたために生じた南北一千万の離散家族は、「アメリカの意思に反してまでも」アメリカの利益を追求した李「政権」登場の産物であった。

李「政権」は、解放後三年つづいたアメリカ占領軍の軍政をそのまま受け継ぎ、「韓国」に独裁の歴史をもたらした最初の「政権」でもある。

李「政権」は「ただ米軍政と旧日本総督府および日本政府の行政機構を土台として、適当に均衡設計された」（「解放三十年史」、第一巻、「韓国史料研究所」編）。しかも李「政権」を生み出した1948年５月の選挙は、米軍の徹底的な介入に守られた。選挙を取材したＵＰ通信特派員は南朝鮮を「戒厳令下の都市」と呼んだ。

こうして李「政権」の誕生は、「韓国」の歴代「政権」に宿命的な「正統性の不在」という根源的問題を同伴した。

また李「政権」は２度にわたって「憲法」を改訂したが､それは「永久大統領制」を狙った最初の企てであった。歴代の独裁者が万能の武器とした「国家保安法」を最初に制定したのも李「政権」であった。李は「韓国」に警察ファッショと呼ばれる独裁体制を築いた。

さらに李「政権」は1950年６月、３年にわたったあの悲惨な同族相剋の朝鮮戦争を引き起こし、南北間に容易に解消されない不信と疑念を植え付けた。戦争は南北民衆のなかに敵対感情を生みだし、民族的一体感をいちじるしく傷つけた。また戦後５年もたたない1958年１月には核兵器が持ち込まれた。「韓国」が「核の展示場」と呼ばれてひさしく、いまや「韓国」全体が「核の人質」となっているが、それは李「政権」時代に始まったのである。戦争の否定的な記憶と「核の人質」化が、いまなお南北間の対立をかもし出し、祖国統一運動の進展を妨げている基本的要因の一つだと言っていいだろう。

李「政権」はアメリカの戦略援助に頼ってきたが、その結果、経済はアメリカの援助なしには身動きできない徹底した従属経済に転落した。「韓国」に流れこんだアメリカの余剰商品は民族経済を徹底的に破壊した。農村はひへいし離農者が激増して都市がスラム化した。失業者があふれ、ついに労働力の海外輸出が始まった。「韓国」経済の従属構造の骨格はこの時からつくられたと言っていい。

だがその李「政権」も1960年の４月蜂起によって倒された。それは祖国の自主的統一と社会の民主化を目指す民衆が獲得した最初の勝利であった。

李「政権」の誕生は、在日朝鮮人の生存にも深刻な問題をかもし出した。1952年４月に日本政府が外国人登録法を制定し、それまで朝鮮人と呼ばれていた在日同胞が、本人の意思とは無関係に朝鮮と「韓国」に振り分けられ、どちらに属するかによってその処遇が差別されたのである。登録上、朝鮮籍を取れなかった同胞には「韓国」への「強制送還」が待ち構えていた。また朝鮮籍となった人々は民族差別とは別に、政治上の差別にもあまんじなければならなかった。だが、在日同胞はこうした２重苦を背負いながらも民族的権利の擁護と、朝鮮民主主義人民共和国への帰国の実現を目指して果敢にたたかい、ついに帰国の自由を勝ち取った。「資本主義から社会主義への民族の大移動」と呼ばれた帰国事業は、共和国こそが民族的正統性をもつ真の祖国であることを世界に示した偉業であった。



麗水の兵士たち

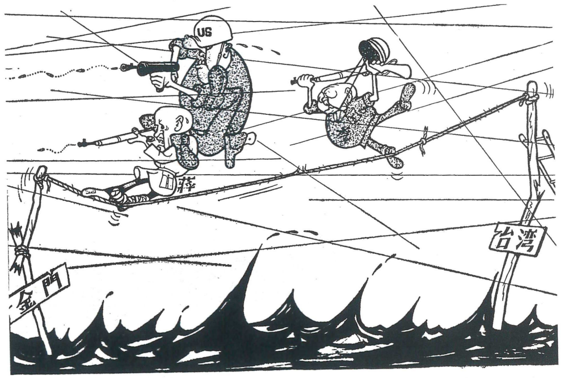


崩れる銅像

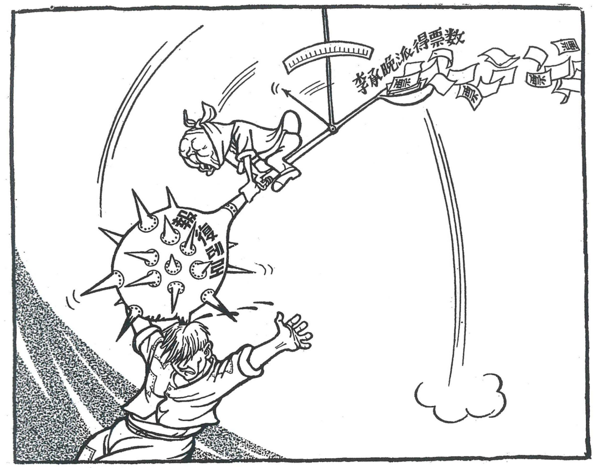
1948. 5 .10　非常戒厳令下で「単独選挙」を強行、全国各地で人民蜂起。
10.20　米帝と李承晩「政権」に反対して麗水、順天で軍人暴動おこる。（麗水軍人暴動）
1949. 5 . 5　南朝鮮「国防軍」春川駐屯２個大隊と海軍将兵ら、共和国へ入北。
10月　智異山遊撃隊と「国軍」晋州海兵隊が合流して反「政府」闘争。

喊声





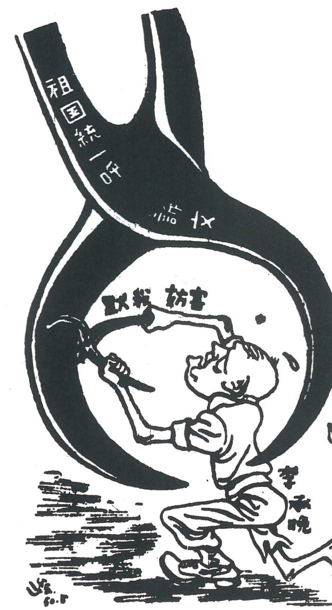
冒険は大好き



〝こっちは重いぞ〟

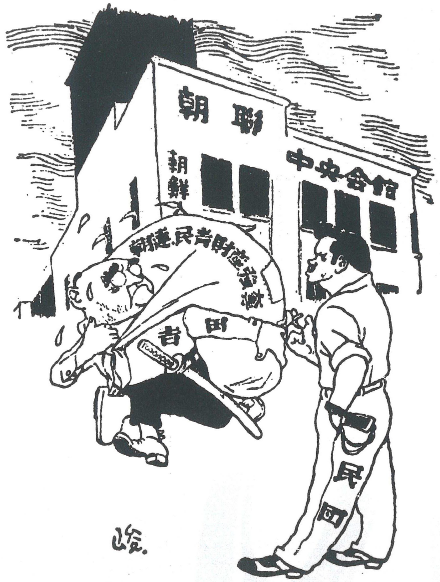
テロ

避けられない最後の日が来る…？



1948. 9. 9　朝鮮民主主義人民共和国創建。翌年1月より2ヵ年人民経済計画開始。
1949.10. 1　中華人民共和国創建。
1950. 6月　台湾—金門島で緊張激化。

1950. 5.30　李承晩「政権」第2次「国会」選挙を強行。
1950. 2月　李承晩「政権」、「内閣責任制」改悪案公告。
1950. 6. 7　祖国統一民主主義戦線中央委員会、「平和的祖国統一方策推進に関する呼訴文」を発表。
1950. 6.25　朝鮮戦争勃発。
（1950年8月2日、日本当局による不当な「解放新聞」停刊処置で1952年5月20日復刊まで連載中断）



泥棒の中の大泥棒

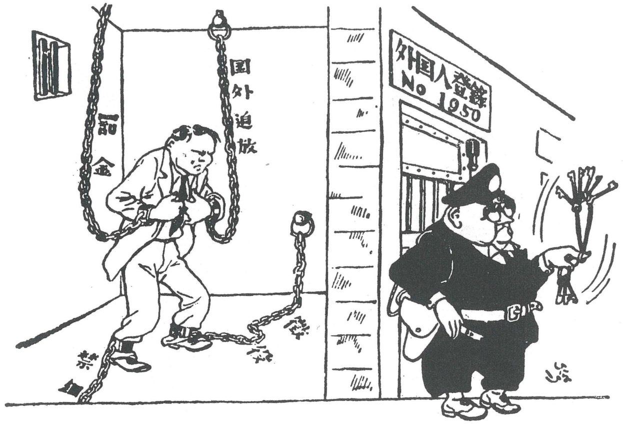


ファシズム

散れ散れ

1949. 9 . 8　日本当局、米帝の指示で在日朝鮮人連盟、在日朝鮮民主青年同盟を強制解散、その財産を没収。

1949.11.19　日本当局。在日朝鮮人学校を強制閉鎖。

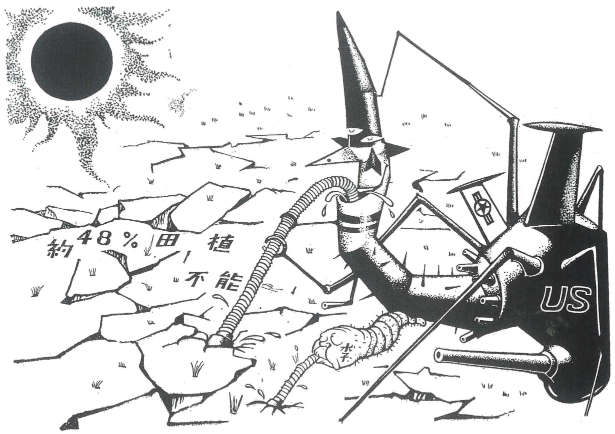


「犯罪人」だ

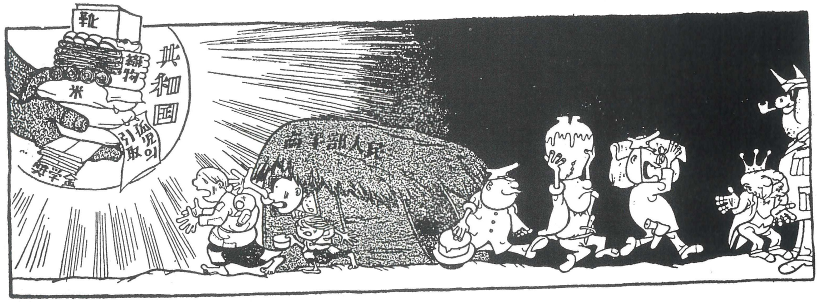


カンゴク生活

1950. 1 月　日本当局、「外国人登録令」施行。不携帯者には 1 年以下の懲役または 1 万円以下の罰金、罰則違反だけで国外追放も。

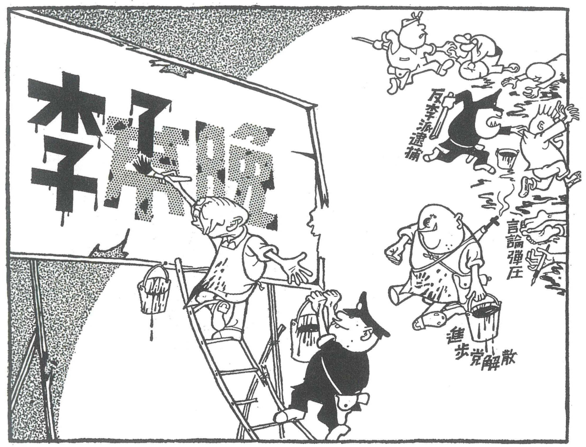


南朝鮮農村
ー日照りだけでなく、奴等がすいあげてしまったのだー

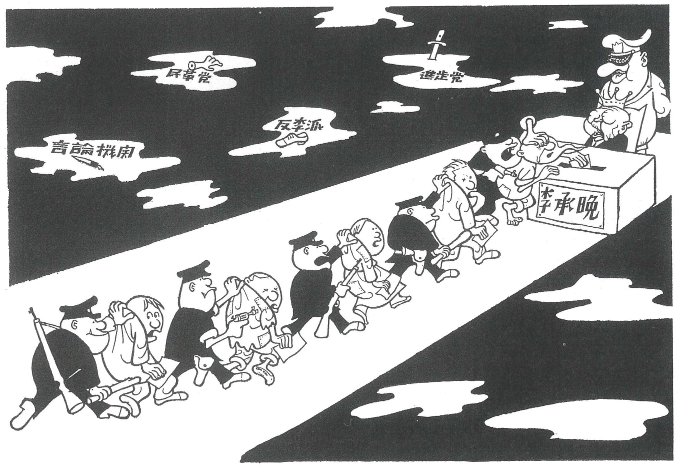


ここでは太陽が北から昇る

1955.夏　　南朝鮮全域に大干ばつ
1955.5.31　「韓米剰余農産物協定」調印
1956.7月　　共和国赤十字会、南朝鮮水災民に対する救援物資を提起。



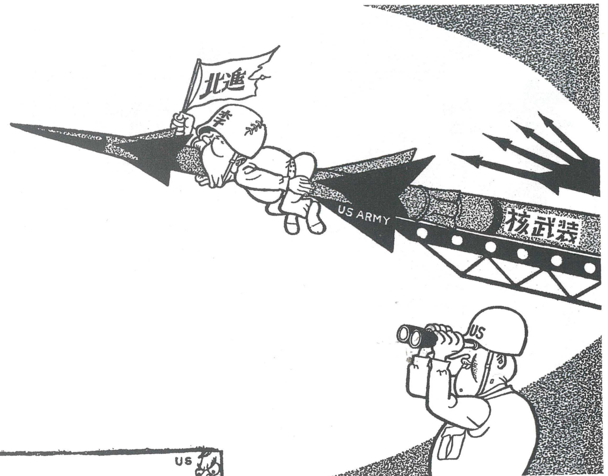
選挙看板のぬりかえ



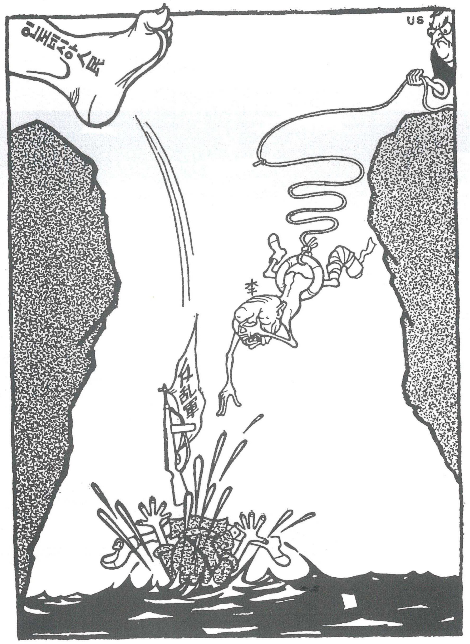
李承晩の支持者

1956.5.15　李承晩、「正副大統領」選挙を強行。

自殺装置

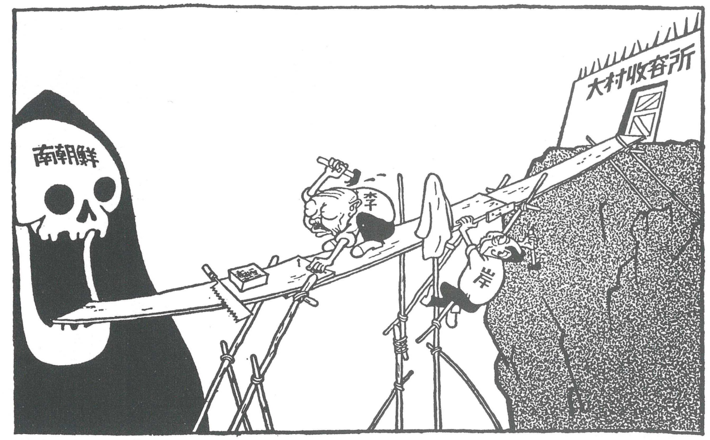


インドネシア人民



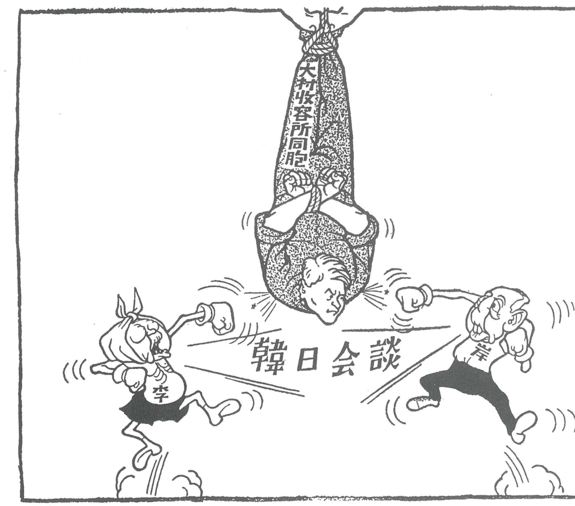
わしの仲間だ

1956.5.18　南朝鮮全域に「非常戒厳令」を公布。
1957.7.1　駐「韓」米軍、原子武装化着手を発表。
翌58年1月に原子核兵器導入。
5月　李承晩、インドネシア反乱軍支援を強調。



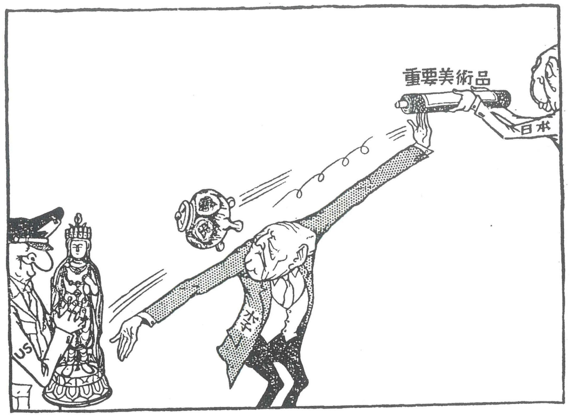
地獄がまってます

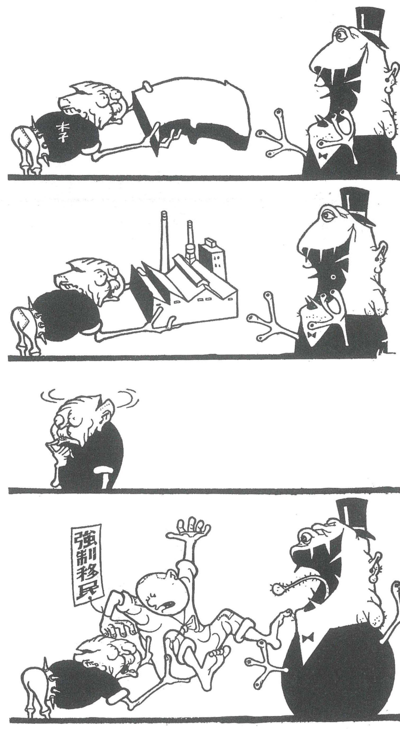
犠牲者



1958.1月　日本当局、「韓日会談」再開の駆け引きに大村収容所抑留在日僑胞69名の南朝鮮強制送還を企る。

橋わたし





祖国を売り…

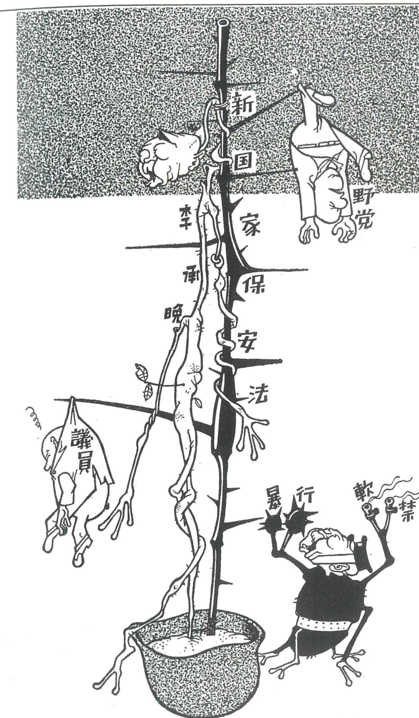
産業を売り…

さて今度は…

人民を…

1958. 1. 7　売国的「韓日文化財、財産権に関する秘密協定」調印。

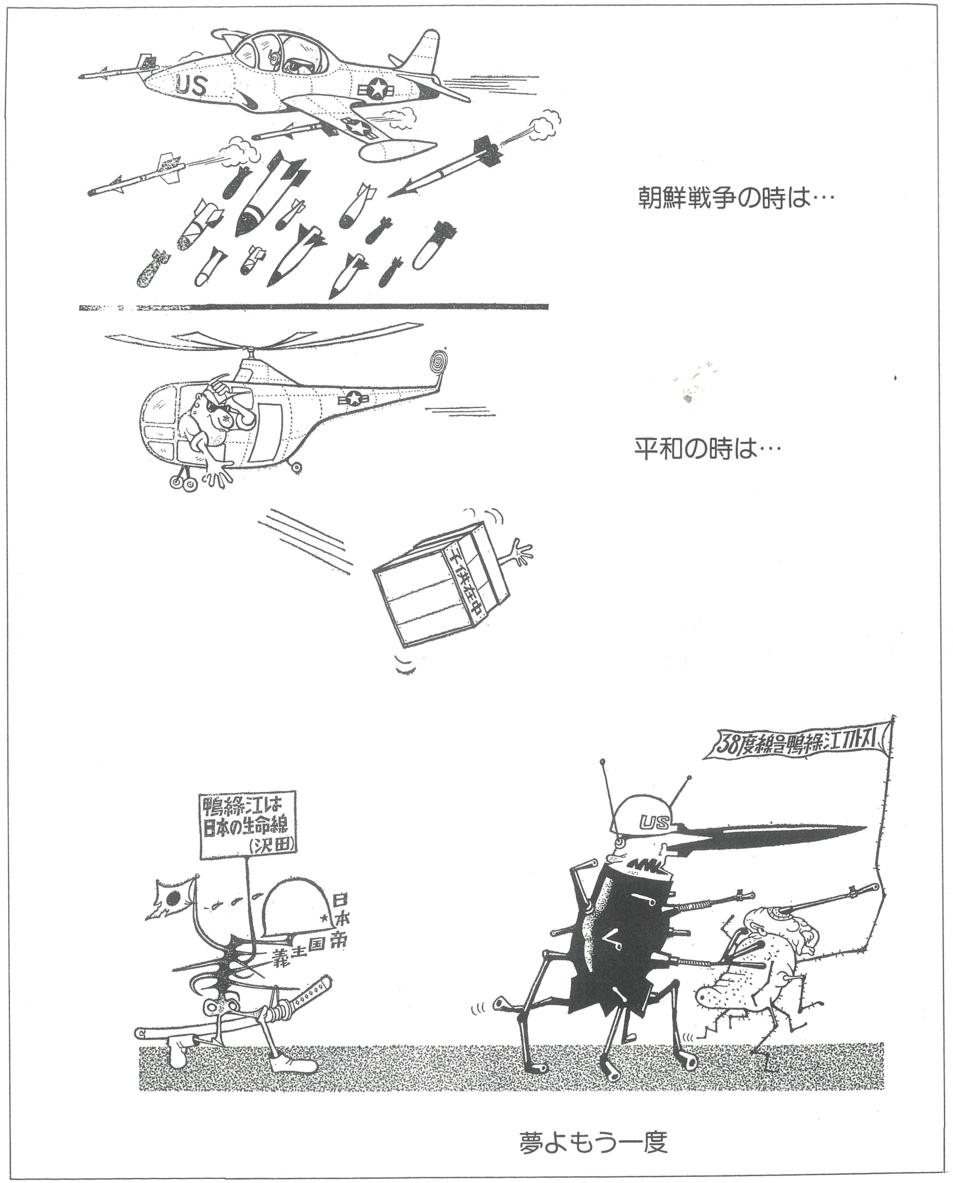
日かげの植物



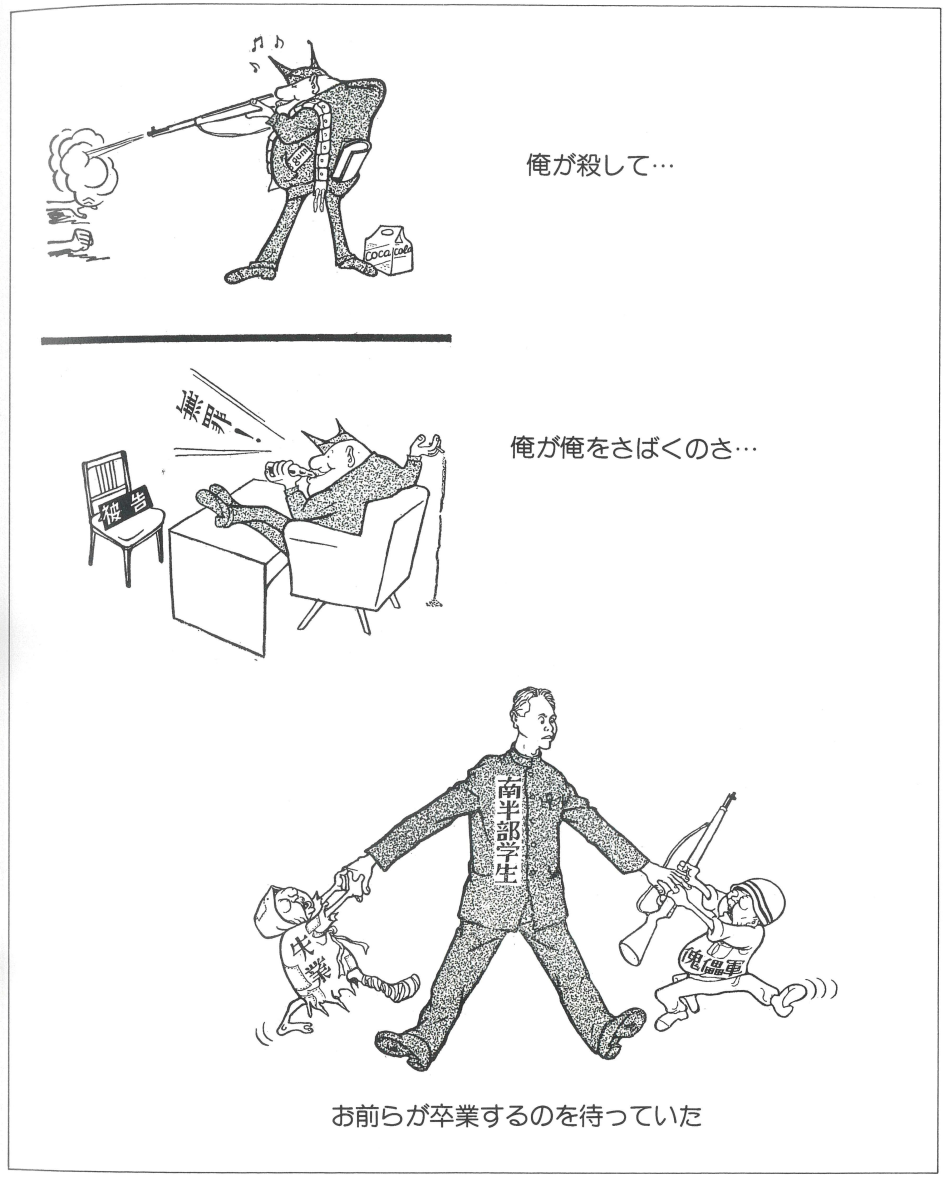
墓掘り人夫



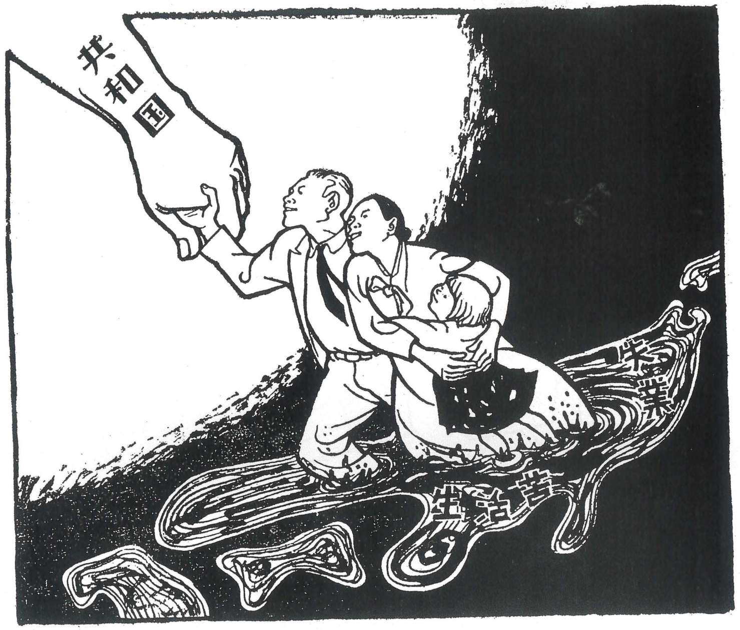
1958.11月　南朝鮮人民、「新国家保安法」反対国民大会を開き、各地でデモを行う。



1958. 8月　共和国政府、南朝鮮孤児救済対策を提示。
「韓日会談」日本側代表沢田が暴言。

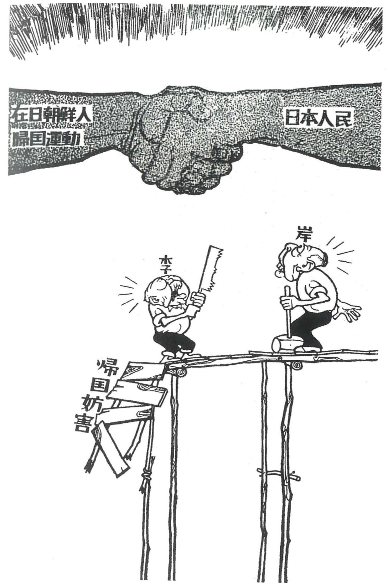


1958～　駐「韓」米軍、南朝鮮人民に対する暴行殺人事件頻発。
南朝鮮の大学卒業者、就職難続く。

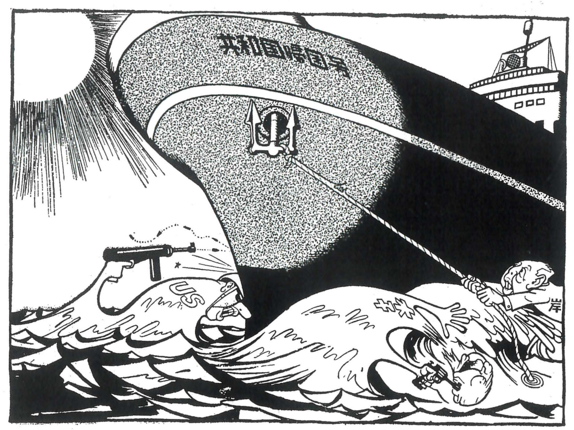


ドロ沼の日本から…

1958．9．8　金日成主席、朝鮮民主主義人民共和国創建10周年慶祝大会で在日同胞の帰国を歓迎すると言明。

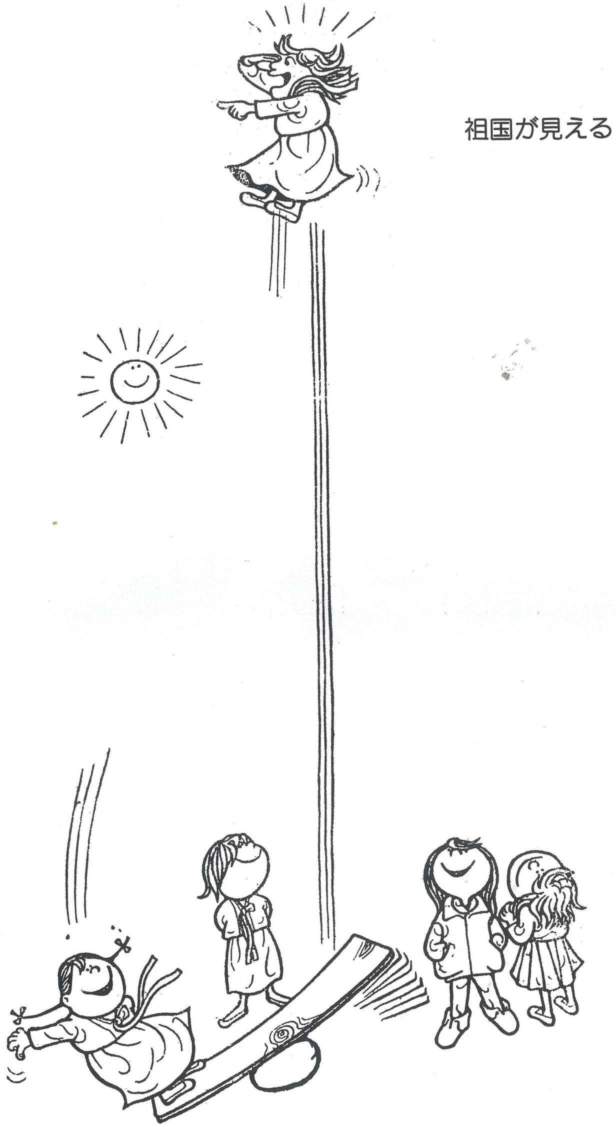


友好のかけ橋
—さあこの上をわたって—

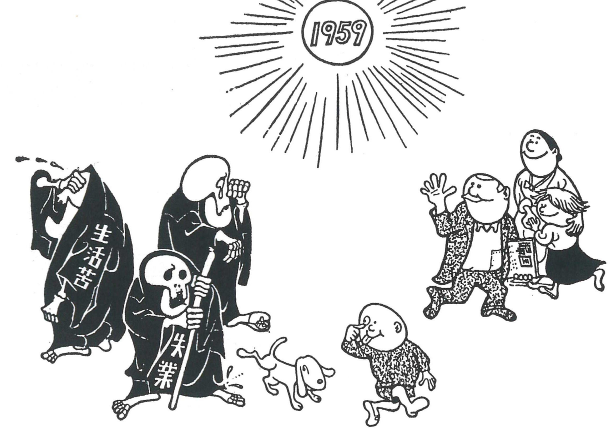


帰国の道は止められぬ

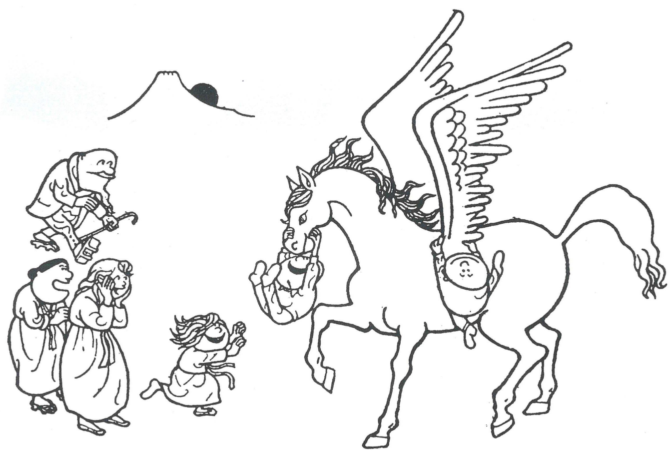
1959．8．13　朝・日赤十字、在日朝鮮公民の帰国に関する協定にカルカッタで調印。
1959．12．14　朝鮮民主主義人民共和国への第１次帰国船、新潟港を出港。



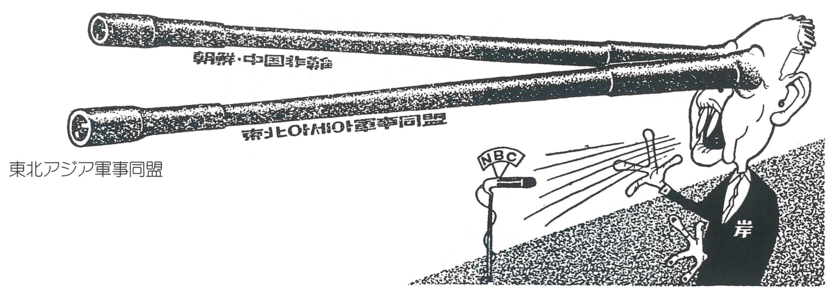
祖国が見える



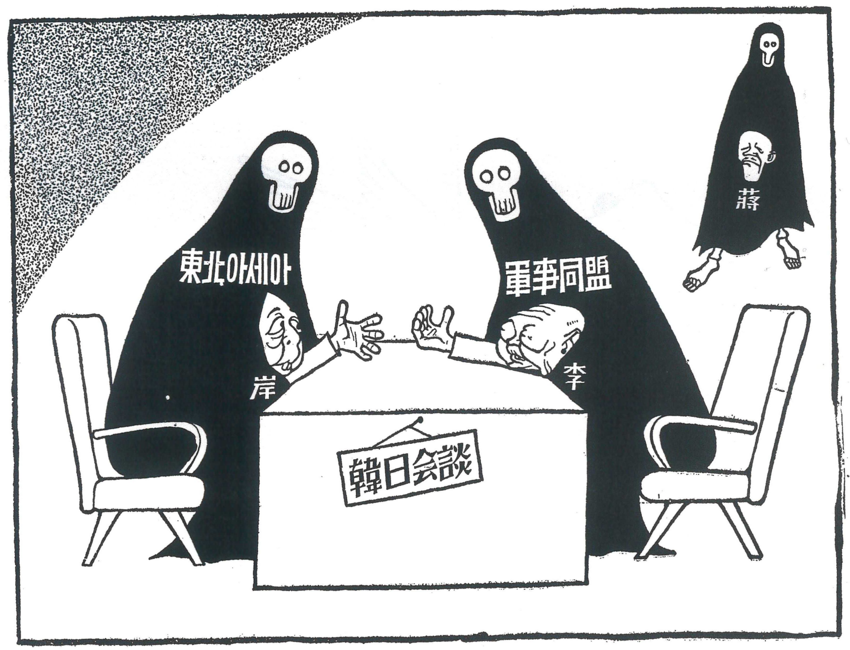
帰ったらもうあえませんね



私の初夢
―千里馬が私たちを迎えにきたわ―

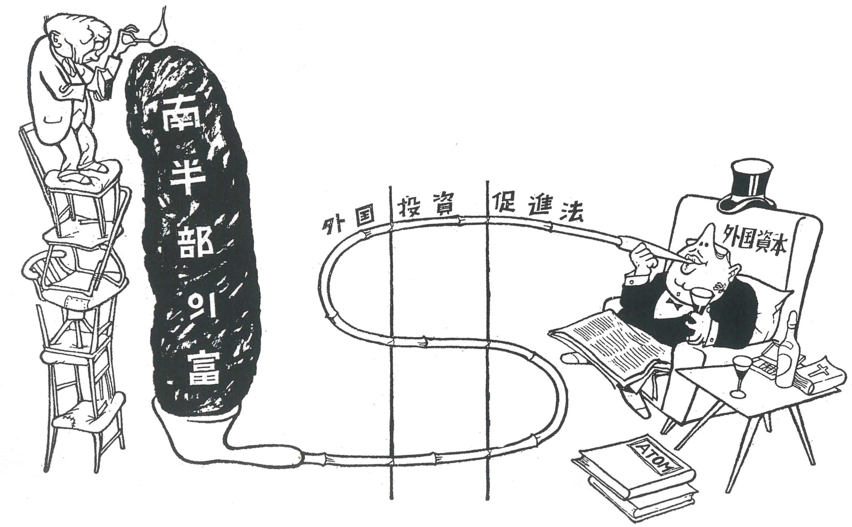


敵視政策



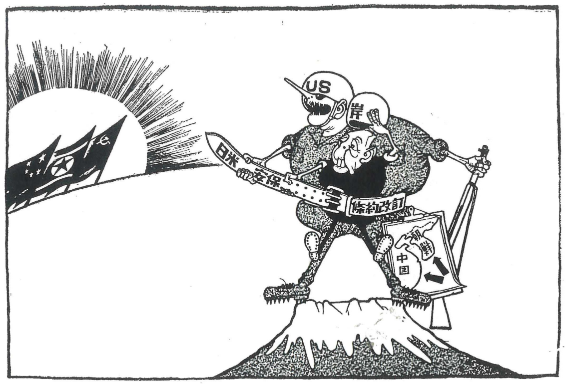
〃韓日怪談〃

1959．8．1　「韓日会談」続開。李承晩、東北アジア軍事同盟を強調。

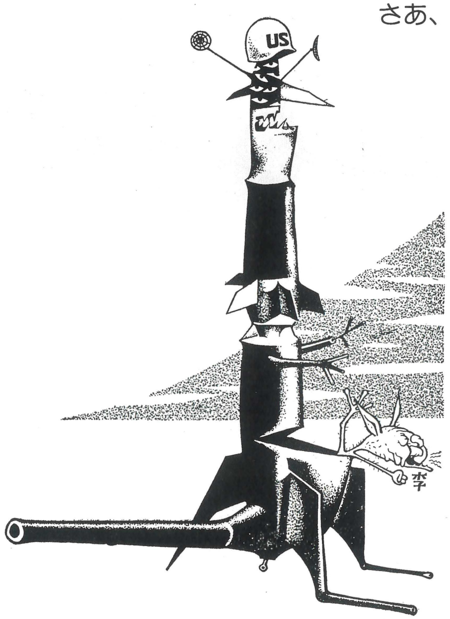


李承晩製特大朝鮮キセル

1960．1月　李承晩一味、「外国投資促進法」を公布。

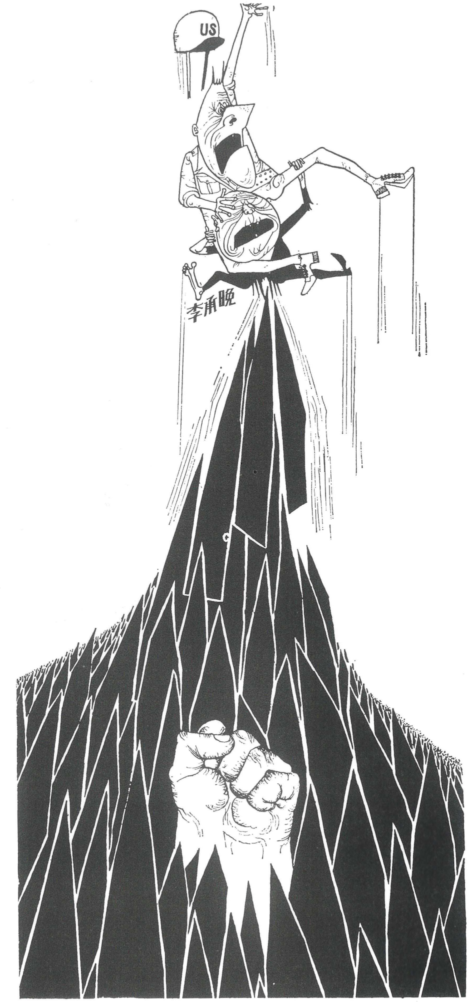


さあ、しっかりしめてかかろうぜ



親と子

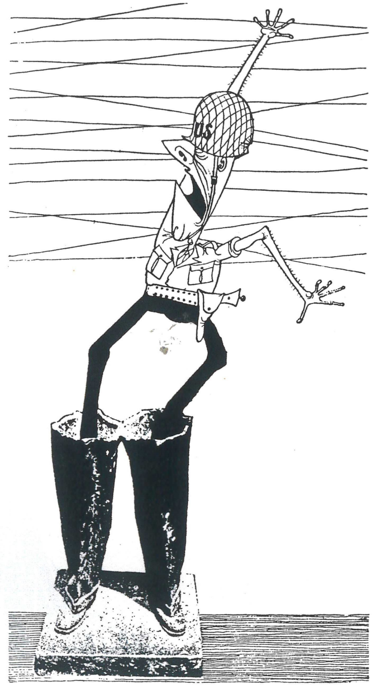
1960．1．19　日米「新安保条約」調印。

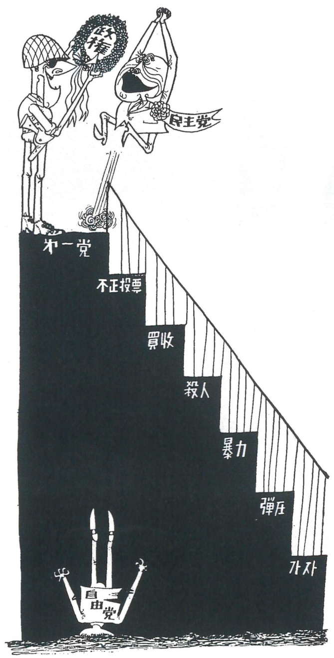


1960年4月

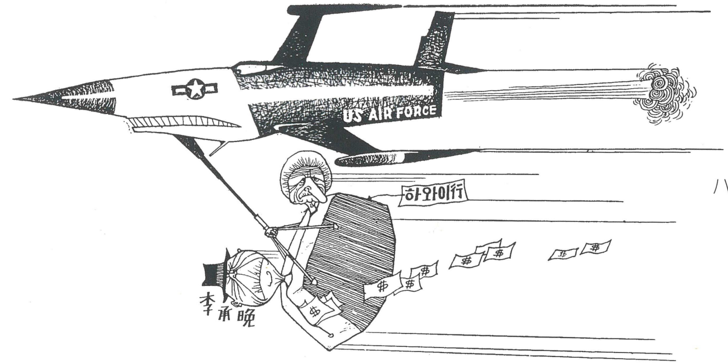
1960．4．19　南朝鮮青年学生と人民、全国的に一斉蜂起　（4．19人民蜂起）。

倒された李承晩の銅像の中から



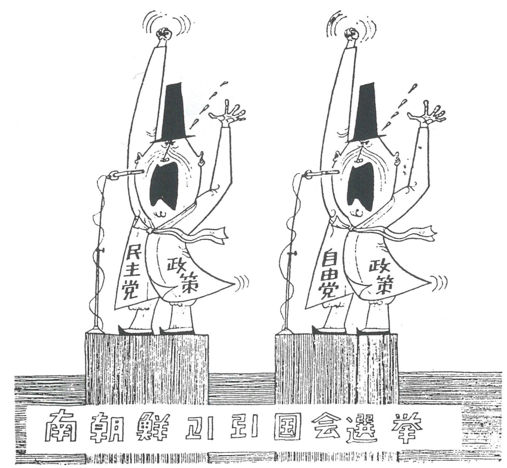


一段一段、そして…



ハワイ行

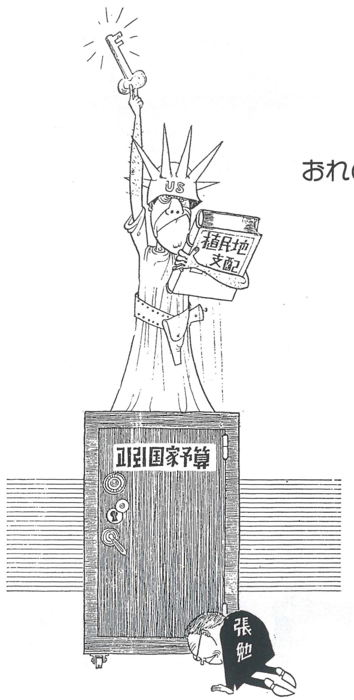
あこがれのハワイ航路

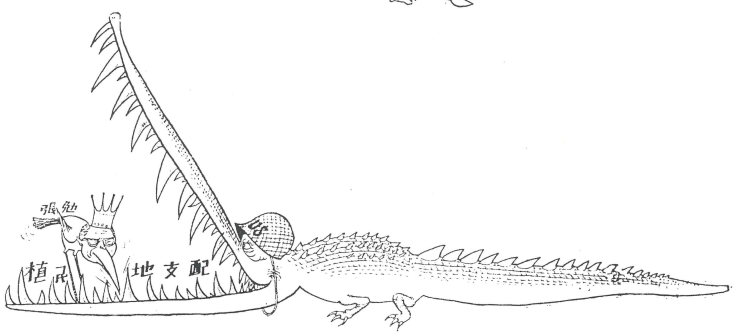


双生児

1960. 5.29　李承晩、ハワイに逃亡。
7.29　「第2共和国国会」議員選挙実施。
8.12　「韓国国会」、尹潽善を「大統領」に選出。

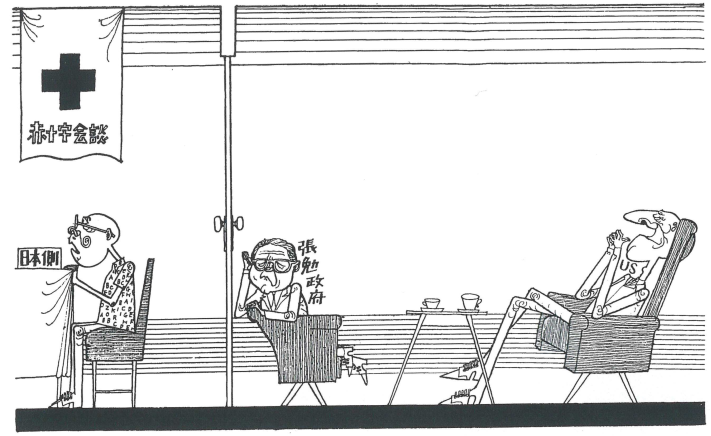
おれの自由





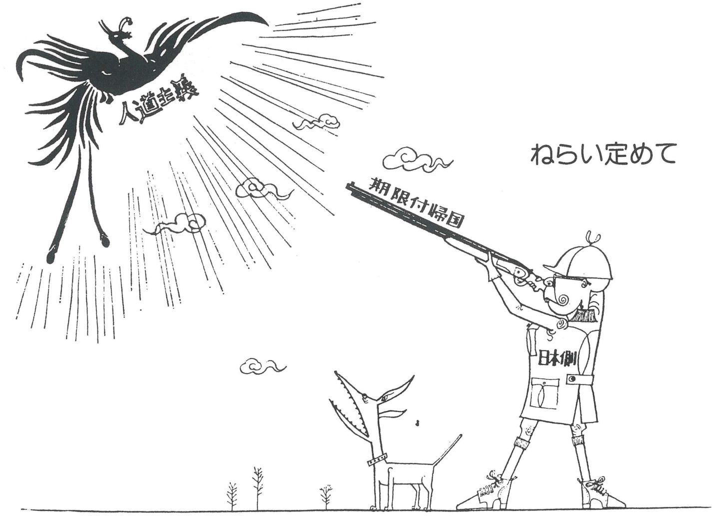
おこぼれ

1960. 8 .23　張勉「内閣」成立。

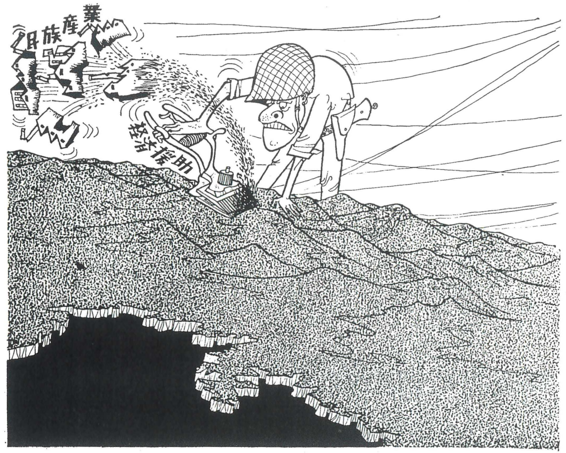


日本側顧問

ねらい定めて



1960.　　朝・日赤十字会談で日本側、期限付帰国問題を提議。

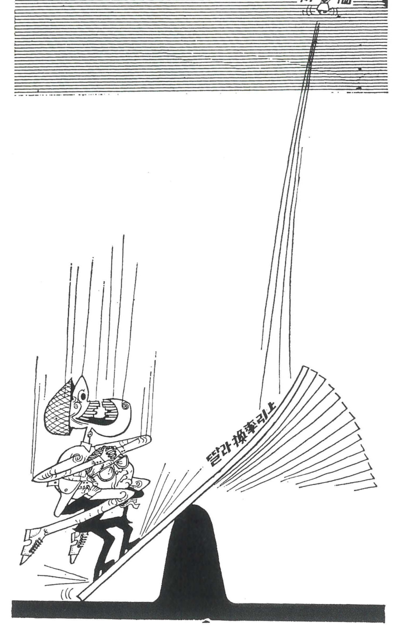


坊主刈り

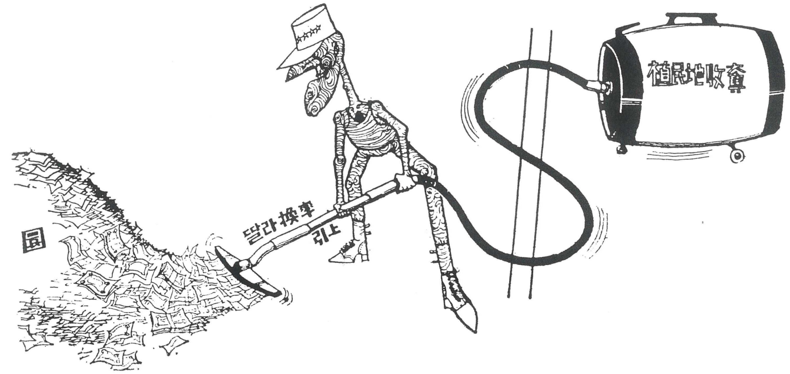


前線陣地

1961. 1 月　張勉「政権」南北交流反対、反共体制強化の反動的方針を発表。
1962. 2 . 8　米、南朝鮮における植民地支配を強化するための「韓米経済および技術援助協定」を締結。

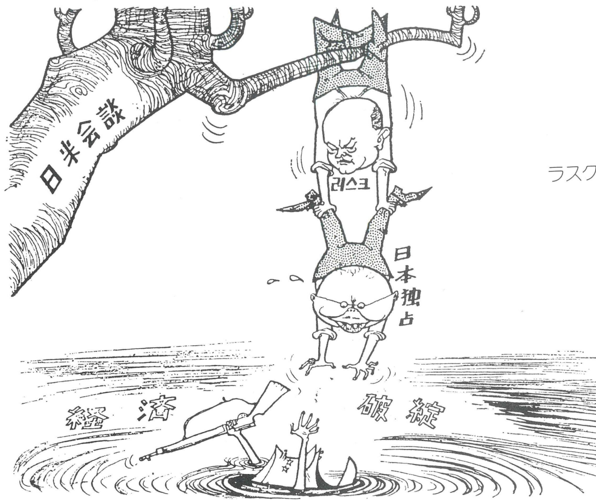


上がる上がる

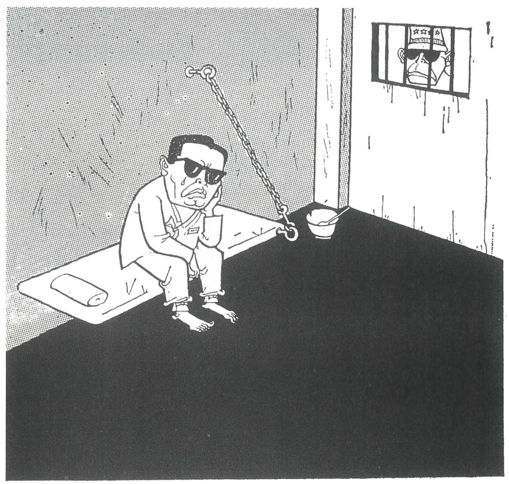


強力な吸い上げ

1961. 1 . 1　第1次通貨改革。ドル換率を1,000対1に引上。
1961. 4 .22　張勉「政権」売国的「韓日通産協定」締結。



助けてー



今日の運命

1961．7月　ラスク米国務長官、朴正熙軍事政権支持を表明。
朴正熙、「最高会議議長」に就任。張都暎を「反革命陰謀」で逮捕、62年1月死刑宣告。
8月　「民族日報」事件の趙鏞寿ら3名に死刑宣告。

5.16軍事クーデターから一人独裁の崩壊まで

(1961.5〜1979.10)

李承晩「政権」の崩壊と祖国統一運動の拡大は、アメリカの南朝鮮占領体制に深刻な危機をもたらさずにはおかなかった。だが民衆はいまだ十分に組織化されておらず、また民主政権の受け皿となるべき中核部隊は形成されていなかった。その間隙を縫って1961年5月16日、朴正熙が軍事クーデターを起こした。

二度の政変と一人独裁体制

クーデターに動員された兵力はわずか1600人程度。主力の第3軍が動けば間違いなく鎮圧されていた。だが第3軍は動かなかった。南朝鮮軍の作戦指揮権を握る米第8軍司令官(国連軍司令官)が抑えたのである。また当時の米ＣＩＡ長官アレン・ダレスは、ＢＢＣ放送での回顧談で「私が在任中のＣＩＡの海外活動で一番成功したのはこの革命(朴正熙のクーデター)であった」(大野達三「アメリカから来たスパイ達」)と語っている。

アメリカは李「政権」の崩壊後に登場した脆弱な張勉「政権」を、いっそう強力な反共政権にとって替えたのであった。

朴正熙は李承晩の反共は弱体であったとして反共を「国是」とし、クーデター後の「国家再建非常会議」で、アメリカ人学者の起草した「憲法」を採択。反共法を軸にしたファッショ体制を構築した。

朴正熙「政権」はその全存在期間を通じて、許し難い大罪を犯した。

第1に1965年の「韓日条約」によって、かつて朝鮮を植民地とした日本に、南朝鮮への再進出の道を開いた。朴正熙は満州軍官学校、日本陸軍士官学校を卒業し、教官らをして「半島出身ではあるが、精神において完全に日本人である」と言わしめ、自らも「王道楽土のために身を投げ出す」と公言してはばからないほどの親日売国奴だった。

アメリカの「韓国近代化政策」が実施に移されたのと時をあわせて締結された「韓日条約」によって、日本の資本が怒濤のように入り込んだ。民族資本がつぶされ、アメリカの余剰物資の援助を受けて肥え太ってきた財閥は日本との結託を強めた。経済構造が日本の下請け構造へと変質し、経済全般が日本に従属したばかりか、公害企業の逃げ場とさえなった。労働・農民運動は徹底的に弾圧され、低米価・低賃金と超時間労働、公害労働が民衆を虐げた。

「韓日条約」によって在日朝鮮人もまた朝鮮と「韓国」に「合法的」に分断された。朝鮮民主主義人民共和国に対する日本政府の敵視政策は、そのまま在日朝鮮人の民主主義的民族権利の擁護と、祖国統一運動に対する弾圧となって表れ、民族差別はより政治

的色彩を帯びていった。

第2にベトナムに派兵したことがあげられる。5千年の悠久な歴史をもつ朝鮮民族が他国を侵略したことは一度もない。

だが朴正煕はアメリカの要請を受けて、1965年の2月にハト部隊を派兵して以来、実に延べ30万人にいたる実戦部隊を派遣し、アメリカのベトナム侵略に加担した。真っ白な民族史は許し難い犯罪で汚された。

第3に、ファッショ独裁の極致と言われた「維新体制」を築き、一切の民主主義的要素を抹殺してきた。朴正煕は「反共法」と「国家保安法」を二大支柱に弾圧体制を強化したが、1972年10月には永久執権を狙って全土に戒厳令を布き、「大統領」権力を極大化させた「維新クーデター」を強行した。緊急措置という超法規的な弾圧措置が猛威をふるい、「維新体制」に反抗するあらゆる要素を積み取っていった。人々はこれを一人独裁体制だと呼んだ。

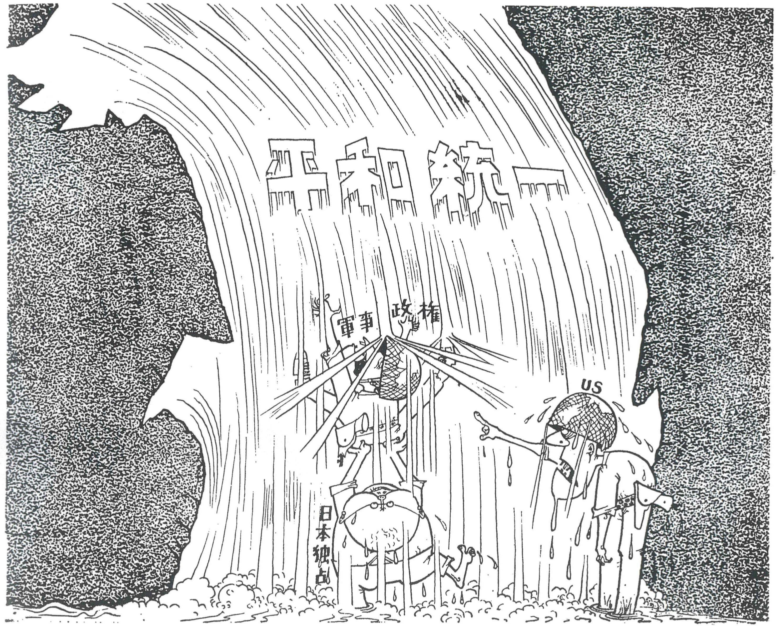
米ＣＩＡがつくり、民衆弾圧の総本山として君臨したＫＣＩＡによる「北のスパイ団」のでっちあげが続発した。1973年に金大中氏を日本で白昼にホテルから拉致し、殺害しようと企てたのもＫＣＩＡであった。

74年8月には在日「韓国」人を使った朴暗殺の 狂言を計画し彼の妻を殺害した。実に狂気に満ちた 統治であった。

そして第4に、朴正煕は民族統一の念願を踏み躙り、1974年6月23日には外交特別宣言を通じて、あの李承晩でさえはばかった「国連同時加盟」を骨子とする「二つの朝鮮」政策を公然と標榜した。永久分断を宣言したのである。

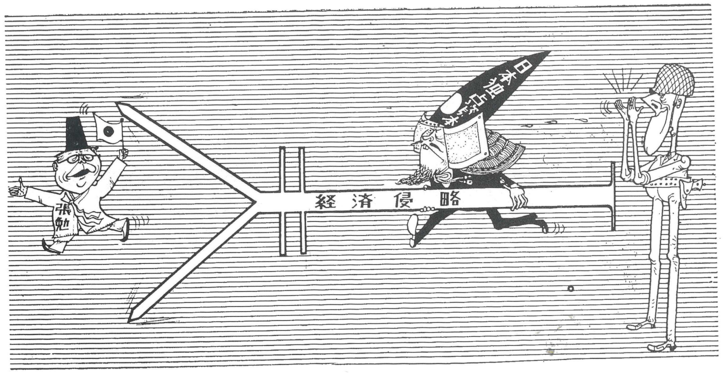
1972年7月4日、朴は自主、平和、民族大団結の朝鮮統一三大原則を謳った南北共同声明に調印した。だが、その2ヵ月後に維新クーデターを起こしてこれを反古にし、さらに2年後には分裂宣言を行ったのであった。朴「政権」の反民族的性質は李「政権」を凌駕していた。しかも6・23宣言は日本外務省の入れ知恵であった。水野清外務次官は「率直にいって日本外務省が説得したものだ。幸い韓国政府もよくわかってくれてあの声明になって出てきた」(毎日新聞1973年9月7日)と明かしている。

李承晩にかわって「永久大統領制」の道を歩んだ朴正煕は、横に女性を侍らせて腹心らと会食していた1979年10月26日、片腕とたのむＫＣＩＡ長官の金載圭によって射殺された。一人独裁体制下で横暴の極みをつくした朴正煕らしいみじめな最後であった。

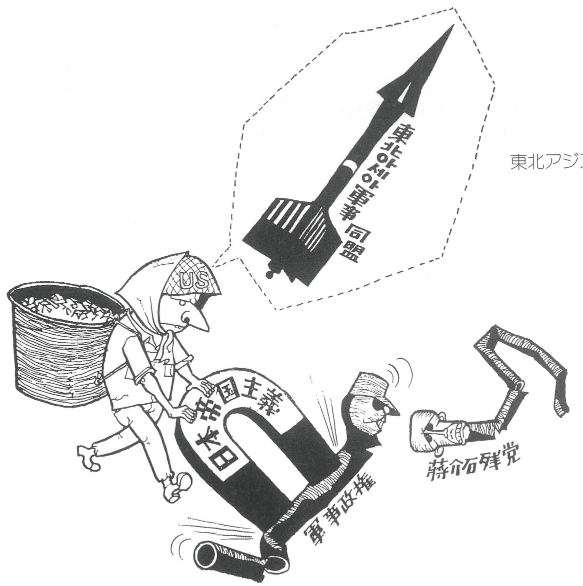


流れに逆らって

1961.5.6　平壌で南北学生会談準備委員会発足。
5.13　平壌で祖国平和統一委員会結成。ソウルで1万2千余名の学生、南北学生会談を要求してデモ。
5.16　朴正熙一味の軍事クーデターおこる。
「軍事革命委員会(議長張都暎)」を組織して立法、行政、司法の三権掌握。

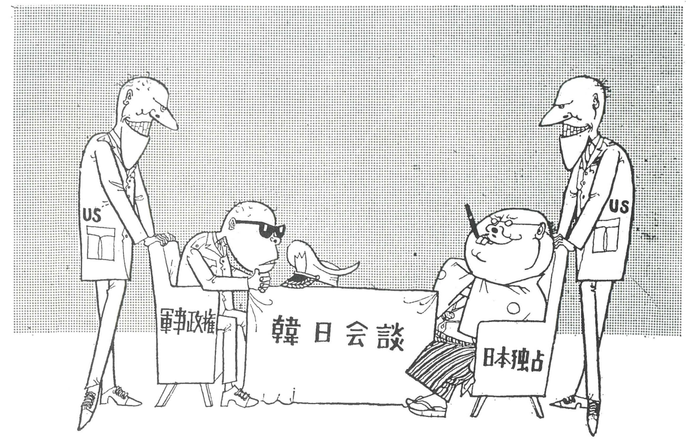


今様加藤清正

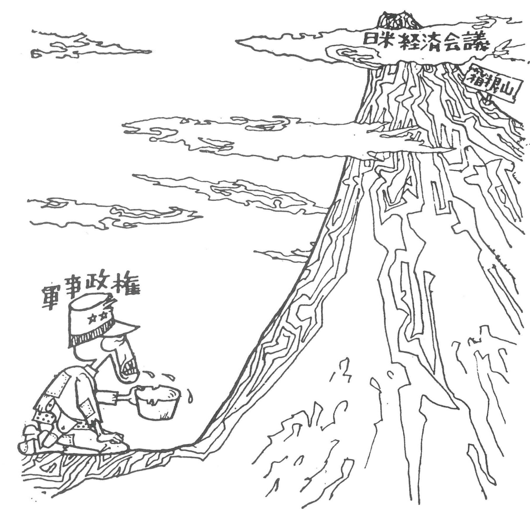


東北アジア軍事同盟

廃物利用

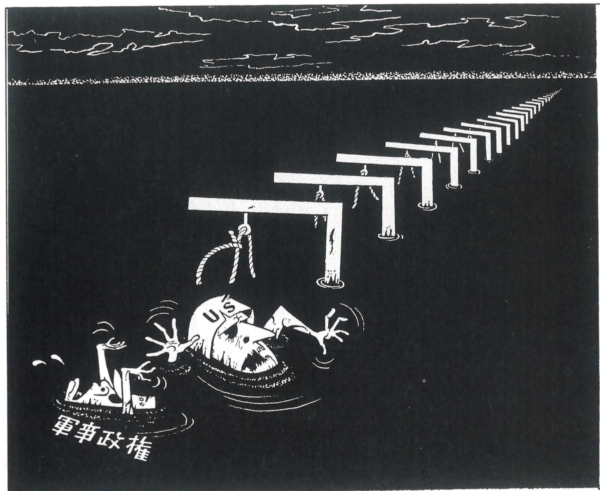


米米会談

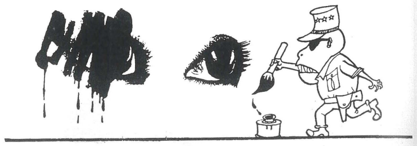


すそのにて

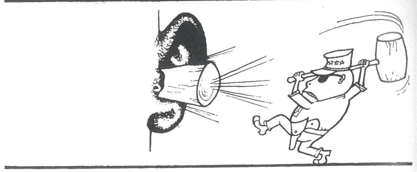
1961.8月　米軍、軍事的支配を強化するため「アメリカ顧問連絡局」を「韓国国防部」に設置。
10.20　第6次「韓日会談」開始。



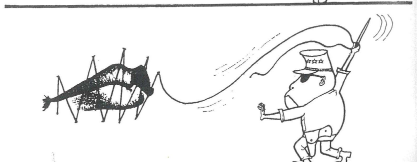
血の海



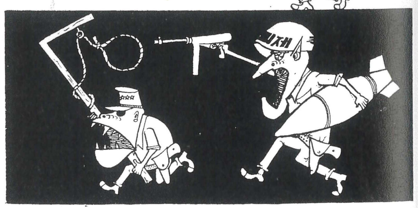
みるな



きくな

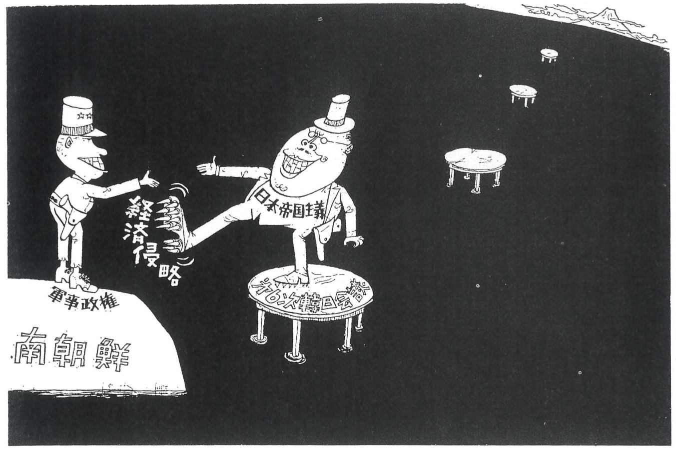


いうな

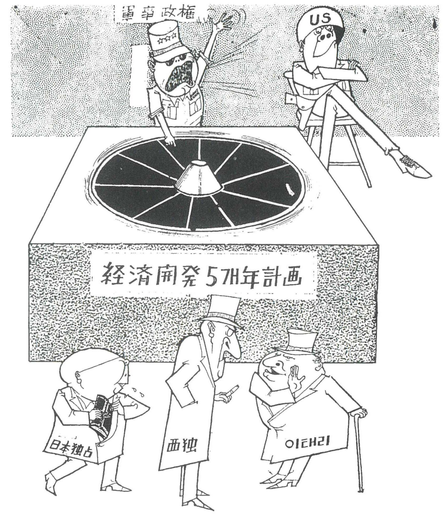


おれたちの正体を

1961.7.4　朴正煕、「反共法」公布。
1962.1月　朴正煕、反朴勢力を弾圧するための各里・洞・職場別「防犯委員会」設置。

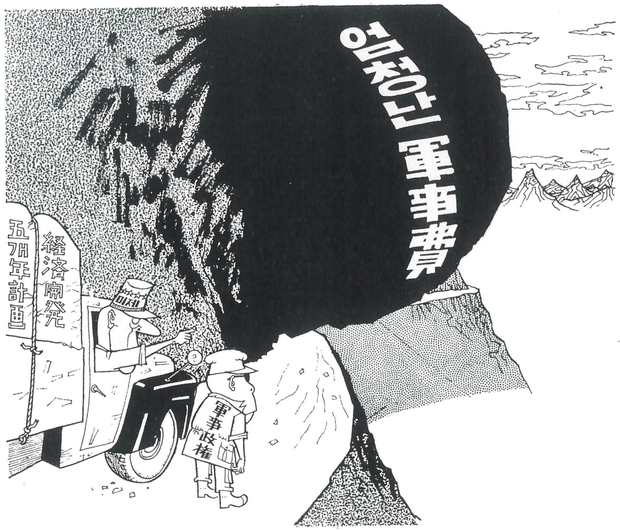


こんどこそは



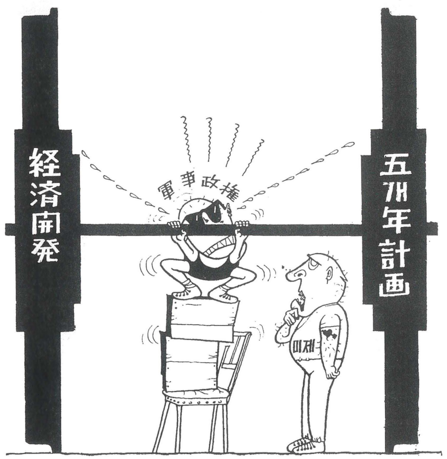
さあはったはった

1962.1月　「第1次経済開発5ヵ年計画」成案を発表。

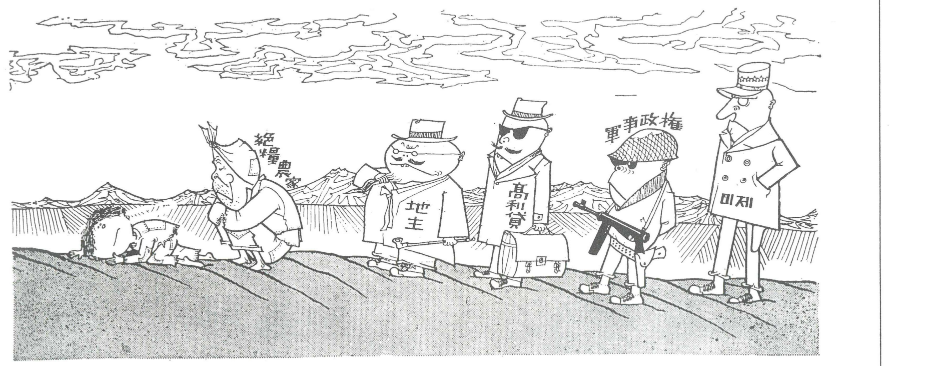


莫大な軍事費

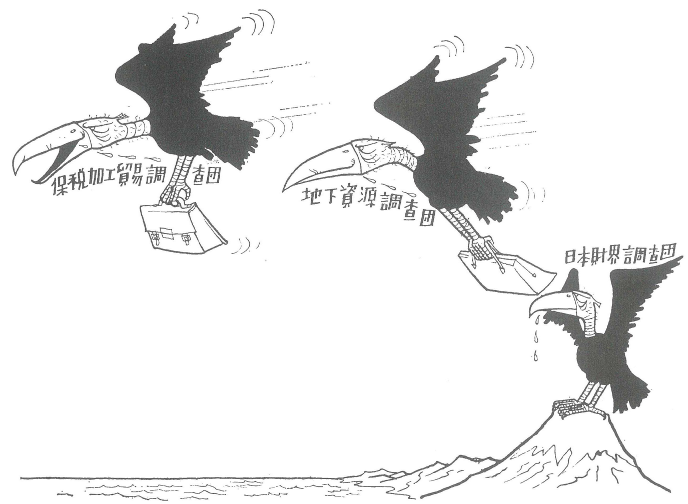
あれを削らずに通るんだ



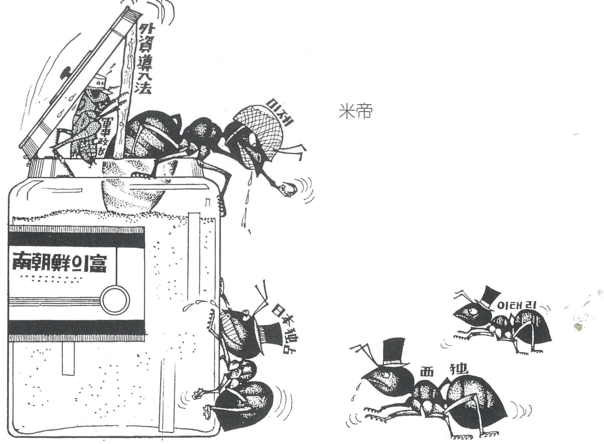
未練たらしく



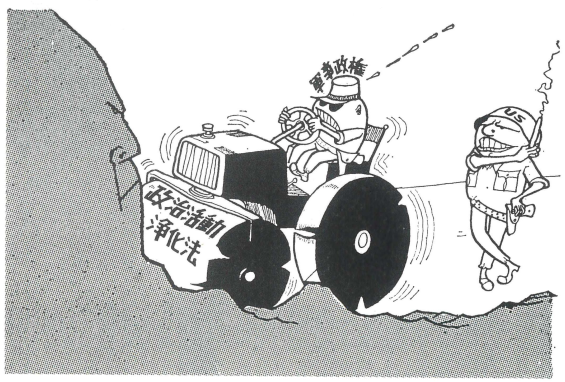
麦よ早く芽を出せ



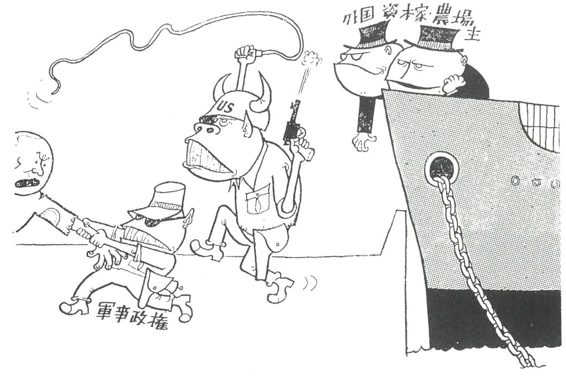
はげ鷹の群



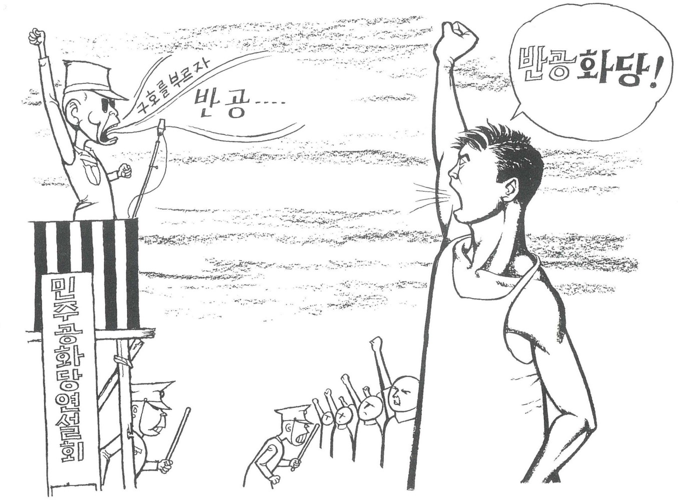
砂糖にむらがる



できもしないこと



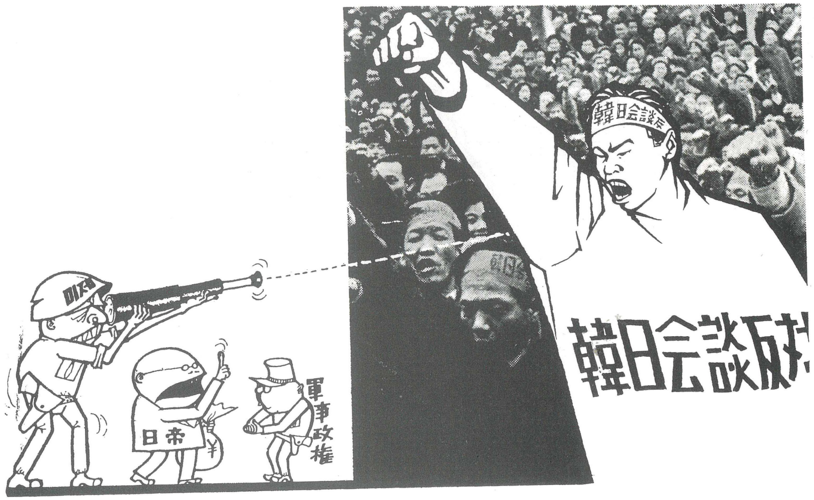
くちべらし



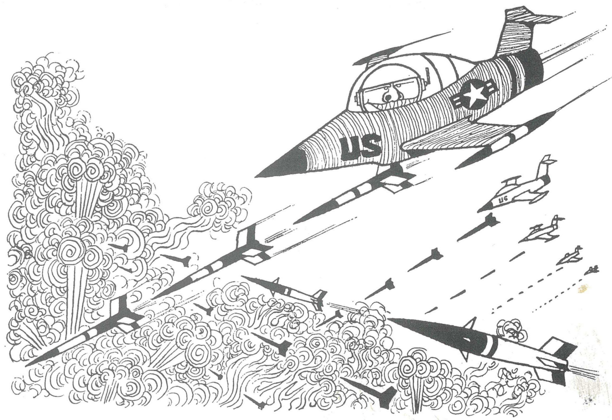
民の声

1961.12月　朴正熙一味、「外資導入法」公布。
1962. 3 .16　朴「政権」、民主的社会活動家を追放するための「政治活動浄化法」を公布。

1962. 9 .17　日本経済視察団（団長・植村甲午郎）南朝鮮入り。
1963. 3 . 1　朴正熙一味、民主共和党を結成。10月15日、「大統領選挙」を強行。

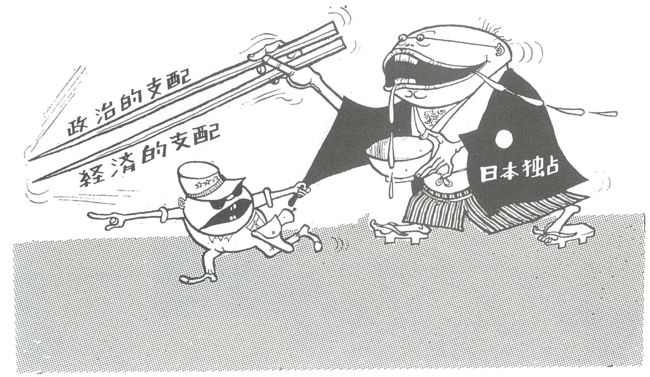


この力

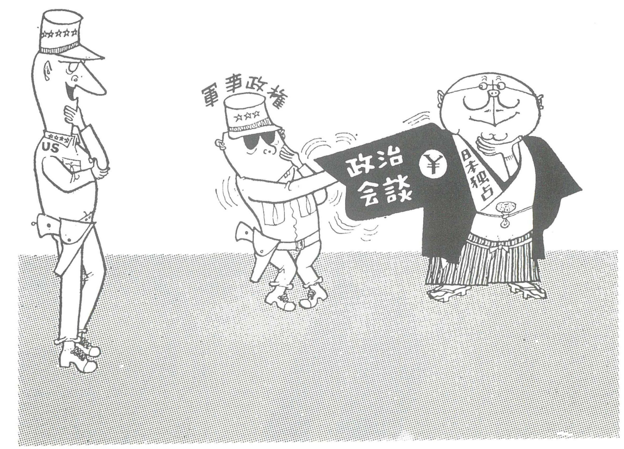


われわれはベトナムを守るためにきたんだ

1964.3.6　南朝鮮で「対日屈辱外交反対汎国民闘争委員会」結成。
6.3　ソウル大、高麗大生3万余名、「韓日会談」反対、朴「政権」打倒を叫んで決起。
10月　「ベトナム派兵協定」締結。

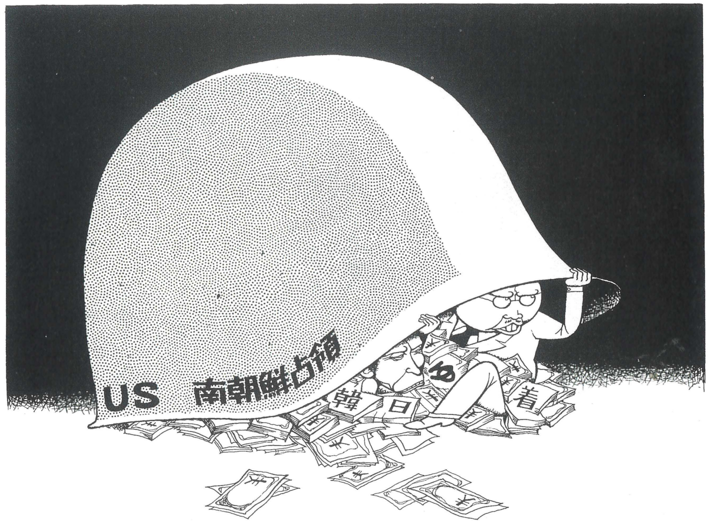


美食家



そでの仲

1964.9月　日本政府、2千万ドル対「韓」緊急援助を決定。
10.28　第2次日本「経済視察団(団長・安西正夫)」南朝鮮入り。
1965.6.22　朴正熙一味、売国的「韓日基本条約および諸協定」本調印を強行。



小人閑居して…

観光振興

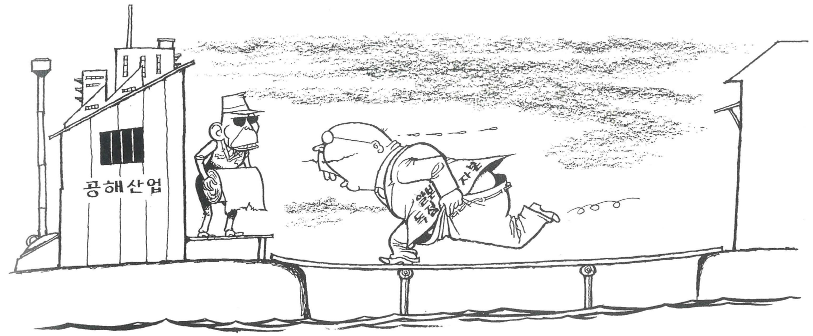
朴正熙



「観光事業がもっと発展するように奮発せよ！」朴正熙

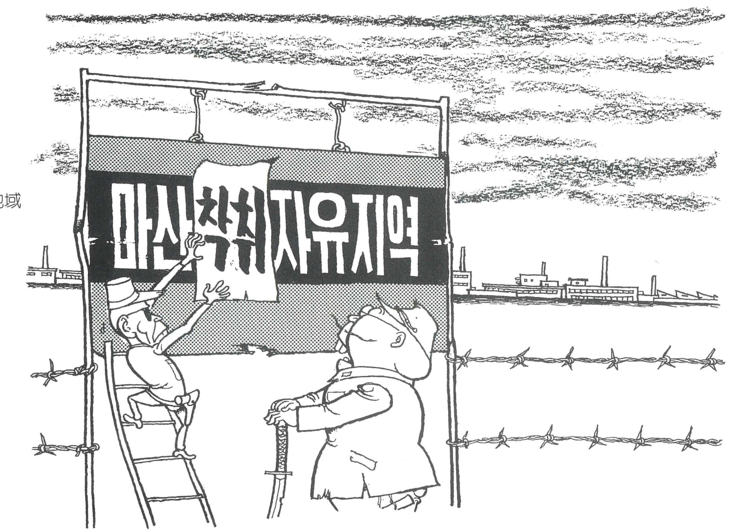
1967. 4 .14　朴「政権」南朝鮮経済を隷属させる日本商社の進出を「許可」。
この時期、妓生「観光」問題おこる。

公害産業　　日本独占資本



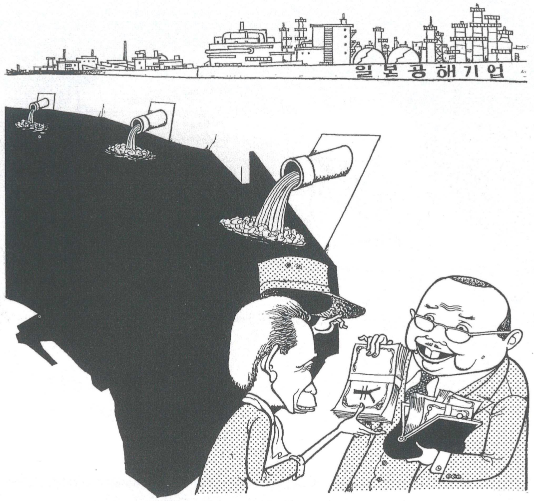
便所はお隣り…

馬山搾取自由地域



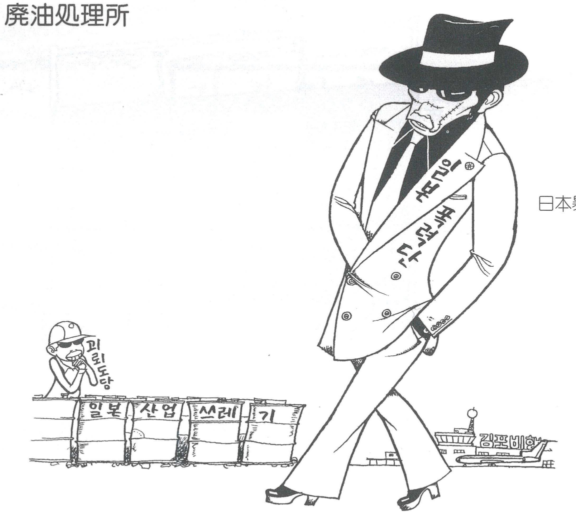
名称は正確に

1968. 8 . 2　「韓国民間合同経済委員会」設置
1969. 8 .26　第３次「韓日定期閣僚会談」開かる。日本企業の対南朝鮮進出本格化。
1970. 1 . 1　朴「政権」、「馬山輸出自由地域設置法」公布。



日本公害企業

廃油処理所



日本暴力団

当局

日本産業廃棄物

人間の屑まで

1970. 6 月　ソウル市衛生試験所、大気汚染と河川水質汚染が 5 年前に比べ10倍に達すると発表。

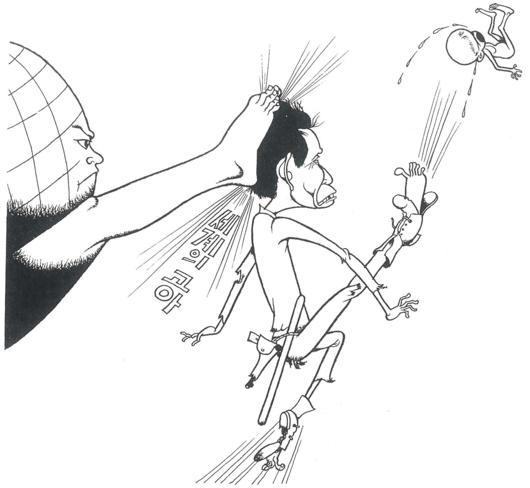


こなごなに



自作自演

1972. 7. 4　祖国統一の三大原則を基本内容とする南北共同声明、ピョンヤンとソウルで同時発表。
10.12　朴正熙一味、南朝鮮全域に「非常戒厳令」発動し「10月維新」を強行。
12.23　朴正熙、その御用機関である「統一主体国民会議」をつくり、「大統領選挙」を行う。
12.27　朴正熙、ファッショ的「維新憲法」を公布。



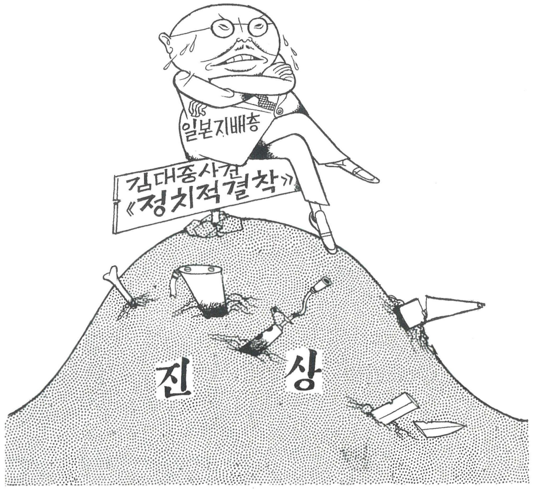
世界の孤児

孤児が孤児を

日本支配層

金大中事件
「政治的決着」

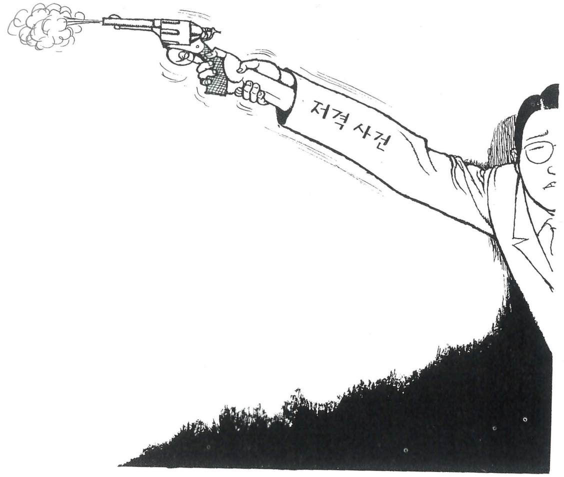
真相



はいこれまで

1973. 6 .23　朴正煕、「南北分断」を固定化し「二つの朝鮮」をもくろむ南北朝鮮の国連同盟加盟を主張。

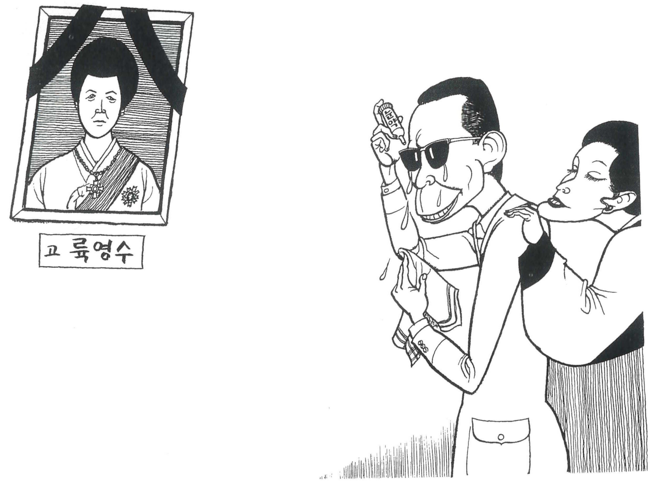
11. 1　1972年 8 月、KCIAが白昼、東京で金大中氏を拉致した「金大中事件」に関する政治的決着を「韓」日両政府が宣言。



狙撃事件

手は二つだった

故陸英修



空涙

1974. 8 .15　「朴正煕そ撃事件」おこる。陸英修が射殺され、犯人として文世光を逮捕。



世にも不思議な拘留



日本人が来たんだな

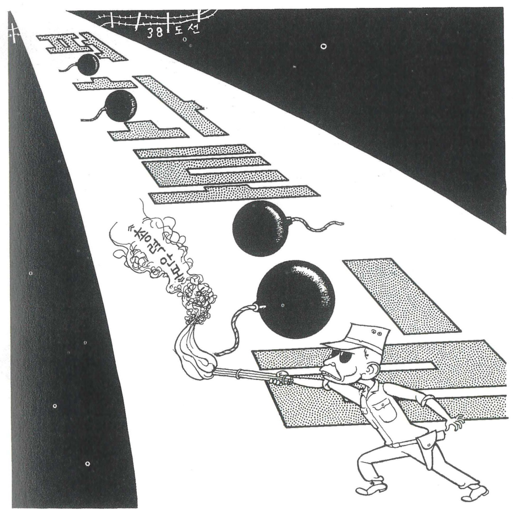
1975.4.1　KCIA、「スパイ事件」をでっち上げ、在日僑胞金達南ら8名を検挙。2日後、「大統領緊急措置第4号」を発動し、「民青学連事件」の名のもとに200余名を検挙。

アメリカは南朝鮮から出てゆけ！

（壁の字は世界各国の国名）



どこをまわしてもきこえてくるのは（反米闘争月間）

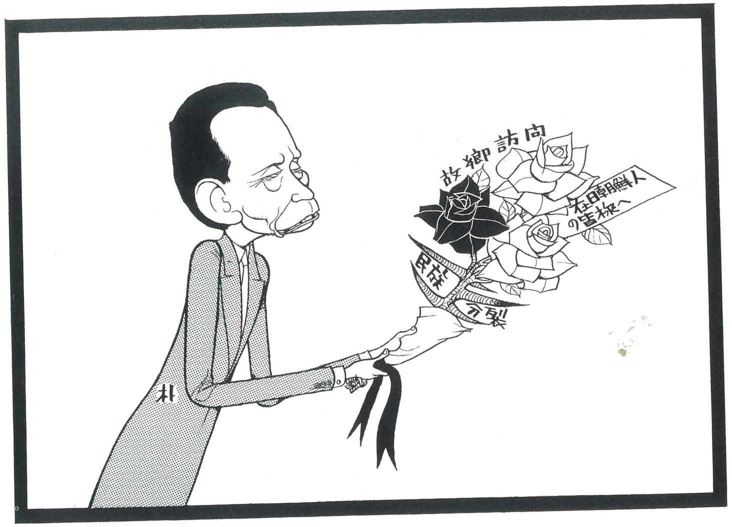


平和統一

総力安保

放火魔

1975.11月　第30回国連総会、朝鮮問題に関する決議案を採択。
1976.4.15　朴「政権」、民防衛訓練を全国的規模で強行。
8.18　板門店共同警備区域で米軍がポプラの木を強行伐採、共和国警備員と乱闘。(板門店事件)
10.4　朴正煕、「国民総和体制の強化」と駐「韓」米軍の継続駐屯を主張。



トゲある花



「お前も裸になったか」

1976. 4 .29　朴正熙一味「同胞母国訪問運動」をはじめる。



有能な第一線外交官



枯木に花を…



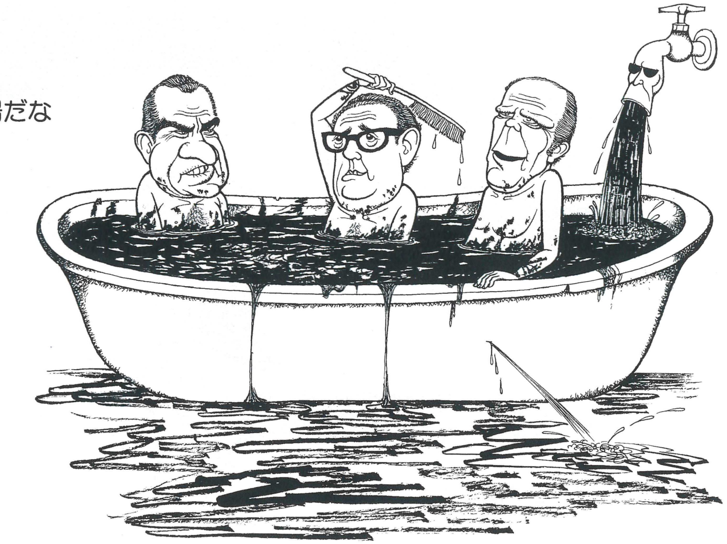
ワイロ事件

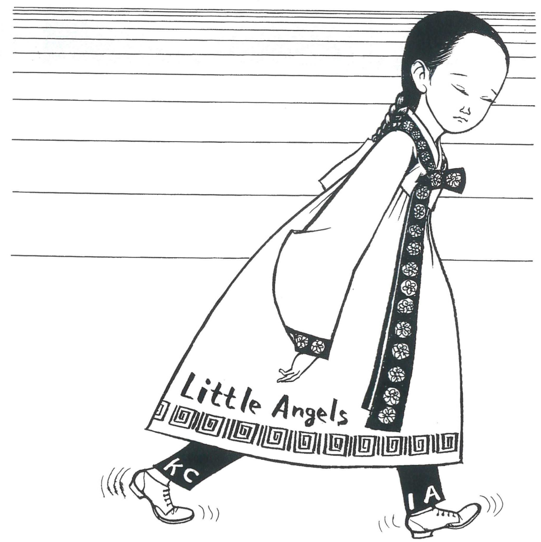
朴東宣

張本人

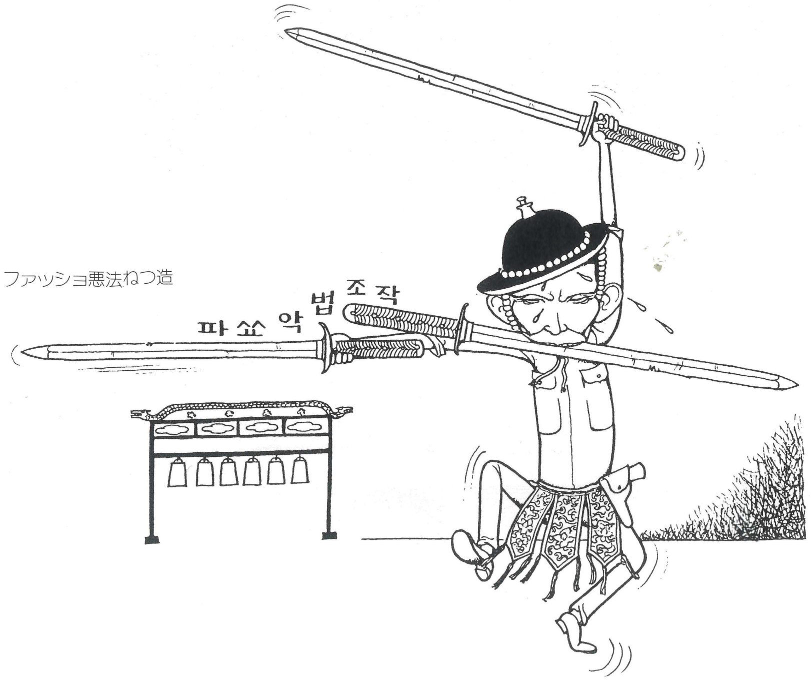
1976.10.24　米「ワシントンポスト」紙、朴東宣の米議会議員買収工作事件を暴露。
11.6　米連邦捜査局(FBI)が青瓦台を盗聴。そして米議会工作は朴正熙の直接指示、KCIA工作員が行なったと言明。

いい湯だな



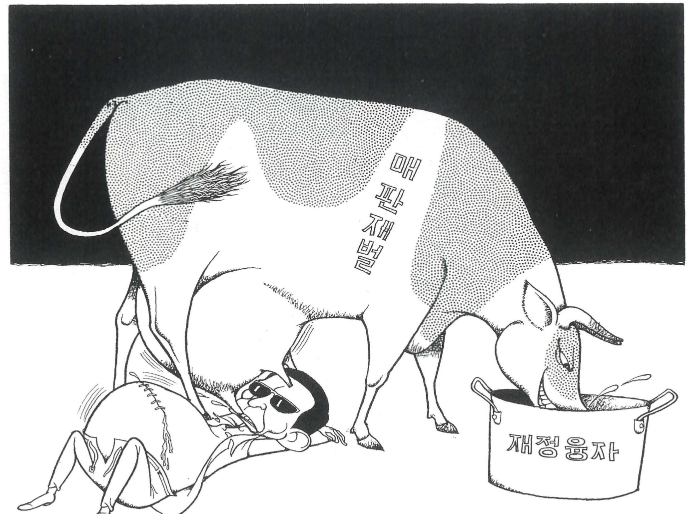


〝天使〟と悪魔

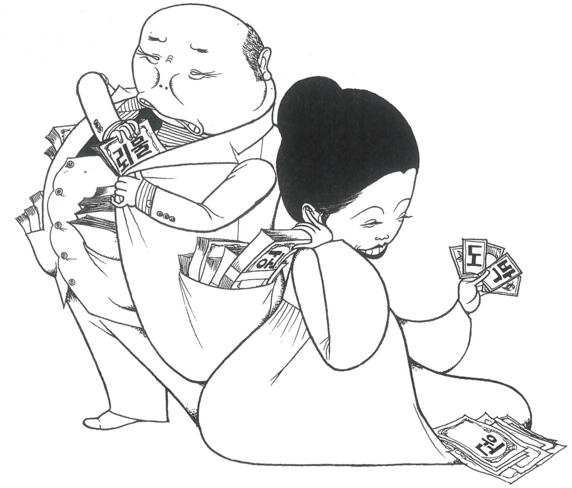


剣の舞

1976.11.30　朴「政権」、反動的「罰金等臨時措置改正案」等27法案を強行通過させる。

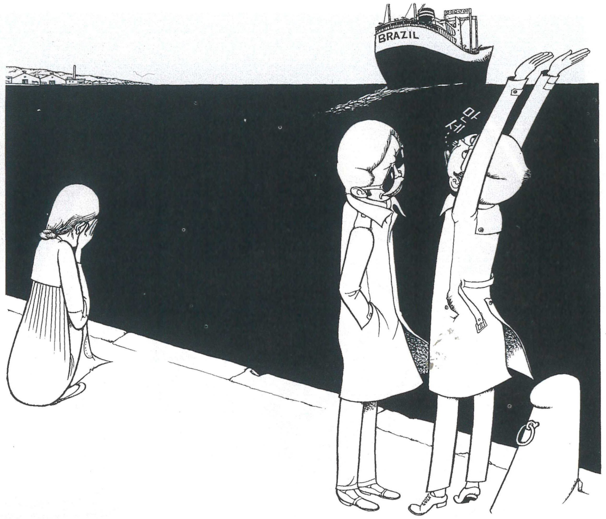


ごっくん、ごっくん

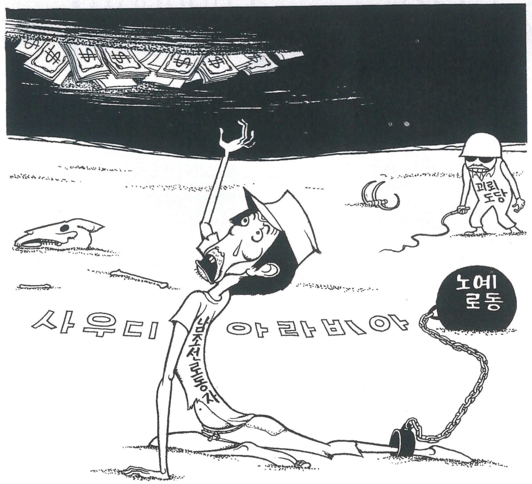


夫婦相和して

1977．1．18　米国務省元「韓国」部長レイナード、日「韓」の黒いゆ着関係を暴露。

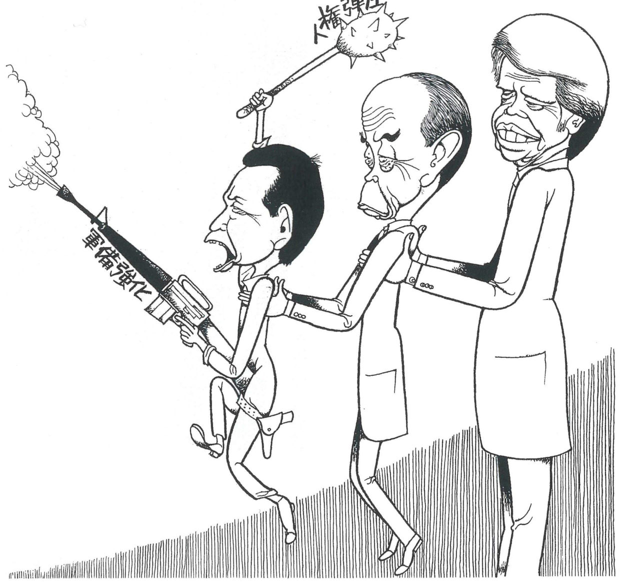


輸出目標達成ー移民どもも

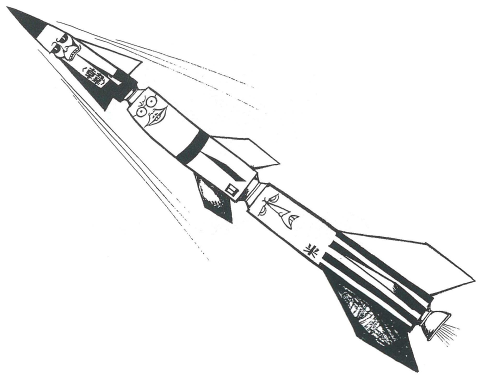


蜃気楼

1976.11月　「大韓商工会議所」、南朝鮮勤労者の平均賃金は先進国水準の10%と発表。



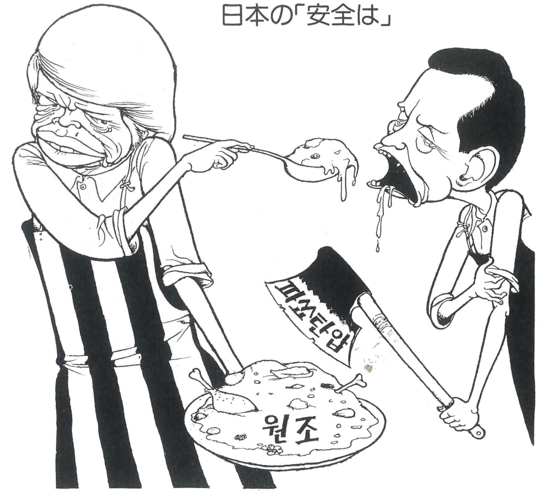
例外もある（人権外交）



新開発ロケット

1977.3.4　米カーター大統領、「駐韓米軍」の撤収計画を発表。
4.7　大規模な米「韓」合同軍事演習行う。
2.14　福田首相、在「韓」米軍の撤収反対を表明。

日本の「安全は」



ファッショ弾圧

援助

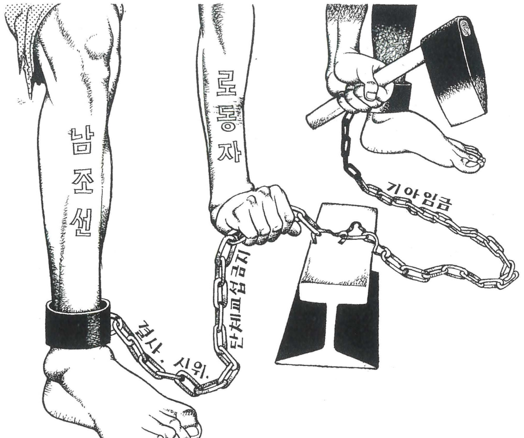


軍事境界線

かわいそうないざりです

「両足があるのになぜ帰らないんだ！」

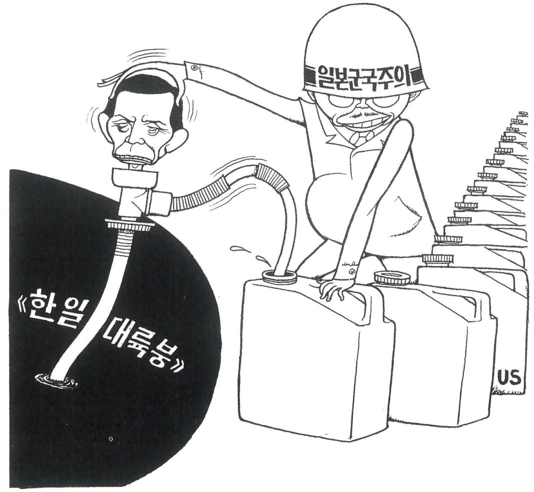
1977.7.25　第10回「韓米安保協議会」開かる。



「韓国」労働者

きが賃金
結社　示威　団体交渉禁止

ここはまだドレイ社会

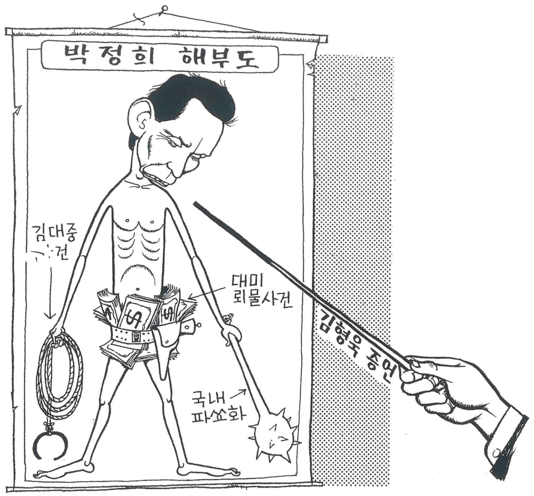


日本軍国主義

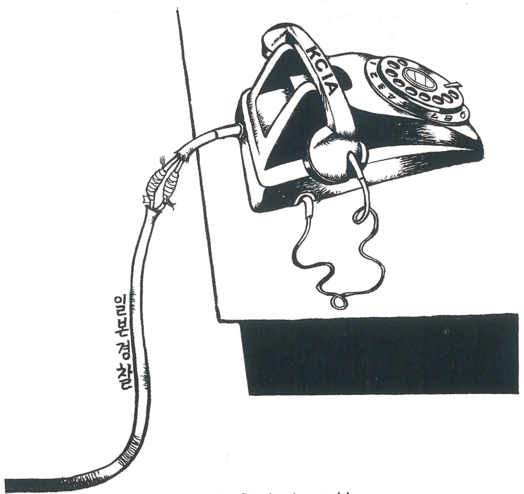
「韓日大陸棚」

〝共同開発〟とは

1977.3.1　ソウル明洞大聖堂で1,600余名、「3.1民主救国宣言1周年拘束者のための祈とう会」を開き、団体交渉権とスト権を要求する「労働者人権宣言」を発表。
6月　日本国会、「韓日大陸棚協定」自然成立が確定。



体のすみずみまで知っている奴の説明

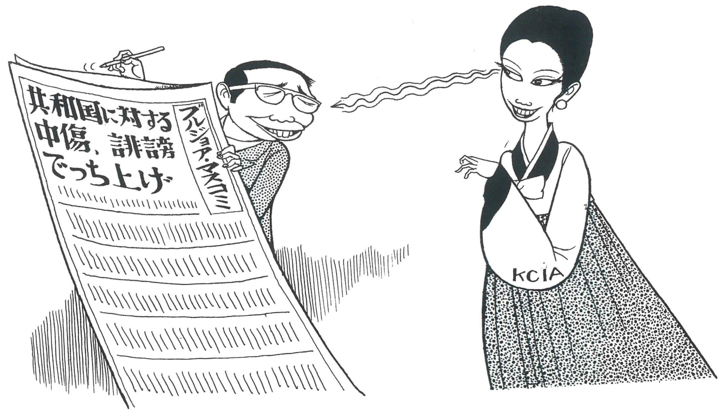


つうかあの仲

1977．6．22　元KCIA部長金炯旭、米下院国際小委員会で「韓国中央情報部」活動を証言。
1965年から、「韓」日間秘密協定を締結して緊密な協力関係にあると暴露。



ならぬ楽器



ゆれるまなざし

1977．10．19　朴正熙、「南北共存はドイツ方式で」と分裂主義的姿勢を再表明。



日本から輸入した産業廃棄物

当局　　日本軍国主義

くされ縁のくさった臭い

日本国土を愛そう
「育林の日」
朴正熙



公害

白々しいー！

1977.10.13　釜山市影島の住民、「大韓精油」が日本から輸入した廃油処理問題で抗議。
11. 1　「韓国国会」商工委員会で75年下半期から77年上半期に日本から26件、4,957トンに達する産業廃棄物輸入事実を発表。

公害



錦繍(禁水)江山



米価

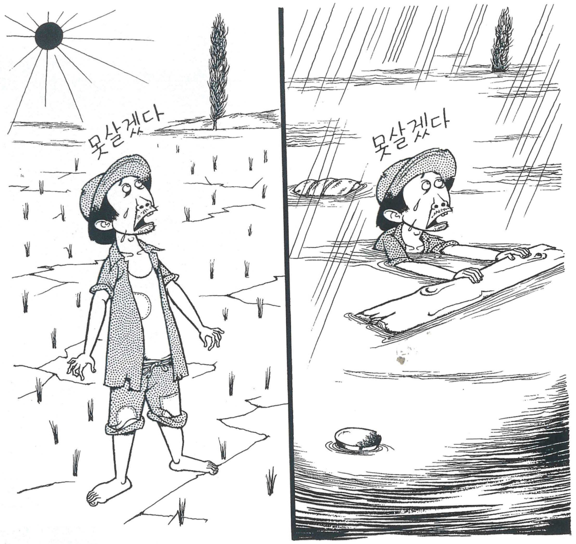
「韓国」農民

生産費

こんなばかな

1978. 3月　日本衆議院でも南朝鮮に廃油７万トンを売った「公害輸出」事件を暴露。
11.20　南朝鮮の農協流通情報センター、今年に入って、農産物価格が70%暴騰したと発表。

助けて　助けて



雨が降ろうが降るまいが



異常気候

麦大凶作

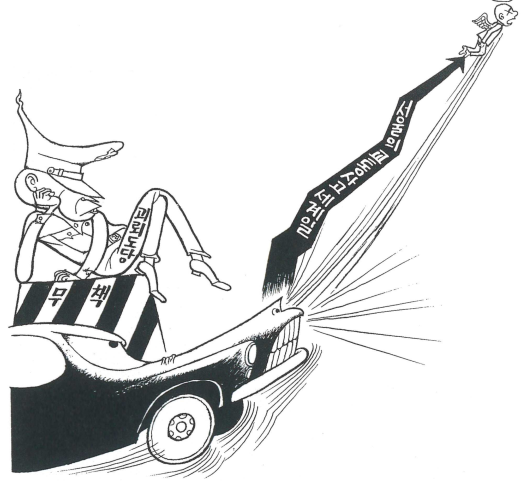
無策

自然に逆らうな

ソウルの交通事故世界一

当局

無策



高度成長



当局

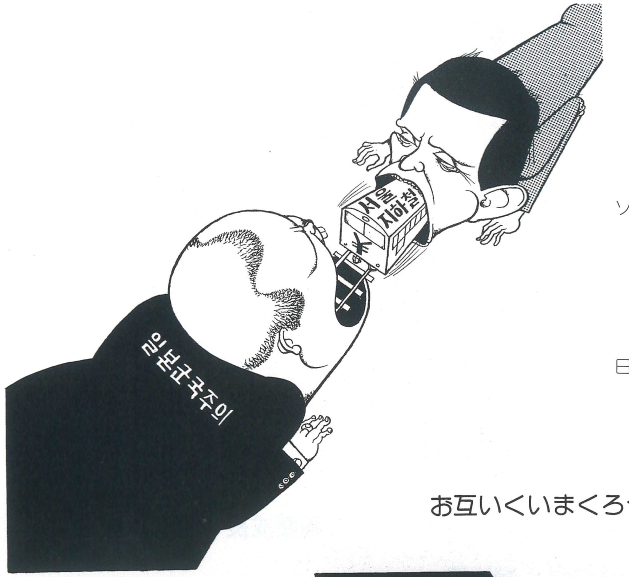
石油
米価
食料品
鉄道料金
医料品
電気料金
授業料
バス代
水産物

物価暴騰

国民生活

絨毯爆撃

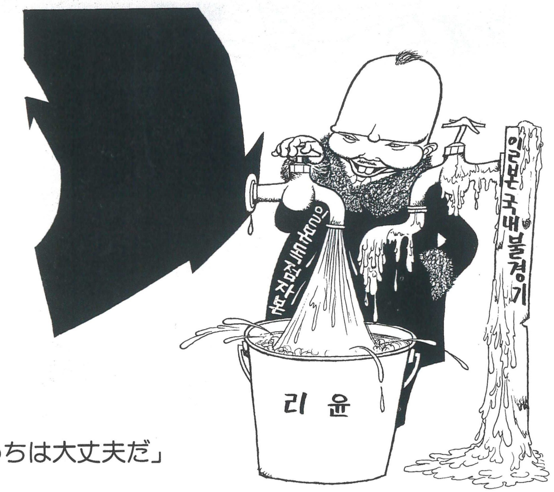
1979.6月　南朝鮮当局、1978年度自動車事故発生率15.8%(世界第1位)と発表。
6.13　朴「政権」、鉄道、バスなど公共料金を20%引上げ。



ソウル地下鉄

日本

お互いくいまくろう



日本国内不景気

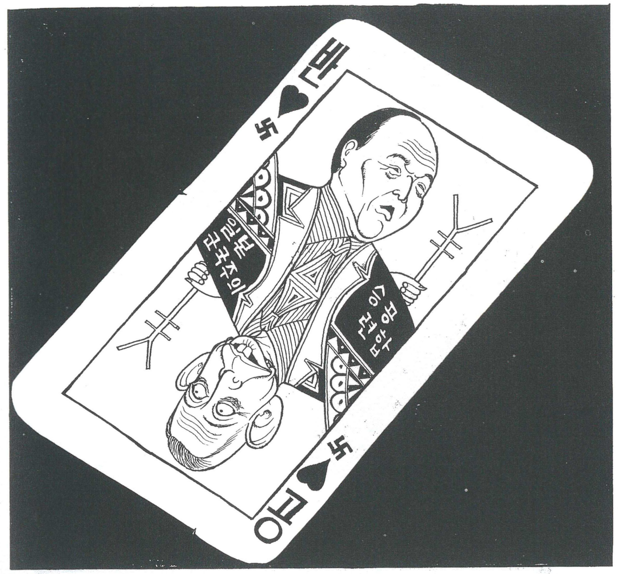
日本独占資本

利潤

「ヒヒヒこっちは大丈夫だ」

1977.12月　日本の衆議院予算委員会で三菱商事など商社幹部らがソウル地下鉄問題で南朝鮮政界に7億5,000万円の工作資金を支払った事実を認める。

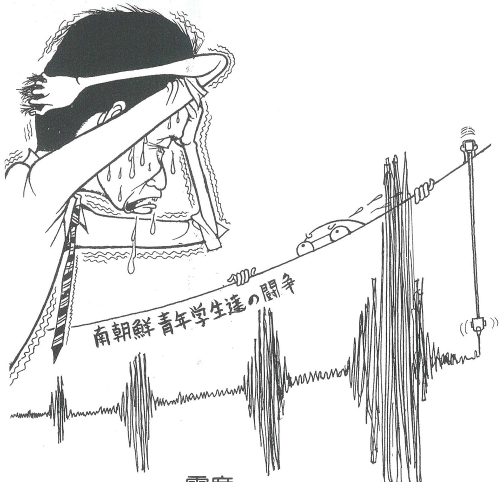
1978. 2 .18　「朝日新聞」、ソウル地下鉄建設問題と関連して日本商社連合が250万ドル(7億7,000万円)を71年「大統領選挙」資金として朴「政権」に支払われた事実を報道。



日本軍国主義

勝共連合

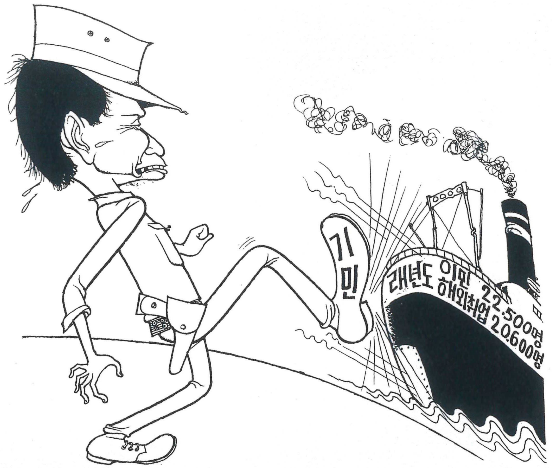
切れぬ関係



震度

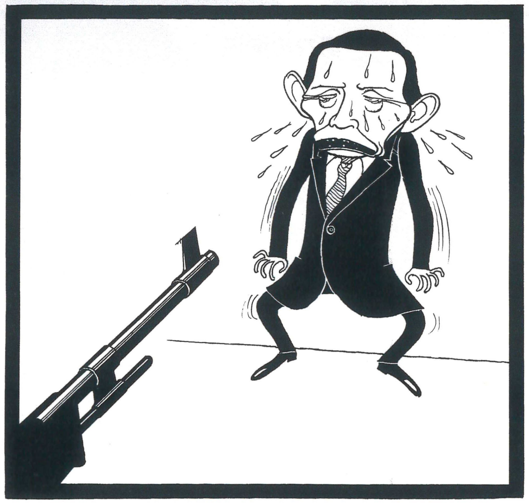
1978. 3月　米下院フレイザー委員会、「米韓関係調査」報告書のCIA資料で、統一教会は金鍾泌がKCIA時代に政治目的利用のため設立したことを明かす。

6 .12　ソウル大学生1千余名、反朴集会を開き「学園民主化宣言」発表。



棄民
来年度移民　22,500名
海外就業　20,600名

昔は日本のために今は…



「韓国」の民衆は（「韓国」で世界射撃大会）

1978. 9 .25　朴一味の「海外開発公社」は来年中に２万2,500名の海外移住、２万6,000名の海外就職方針を提示。

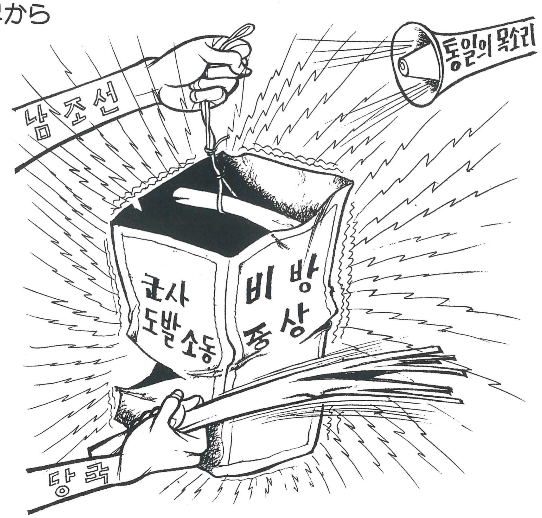
9 月　ソウルで世界射撃選手権大会開幕。



朝鮮の自主的平和統一支持

朝鮮の統一を支持する西ヨーロッパ地域連帯会議

パリから、全世界から



統一の声

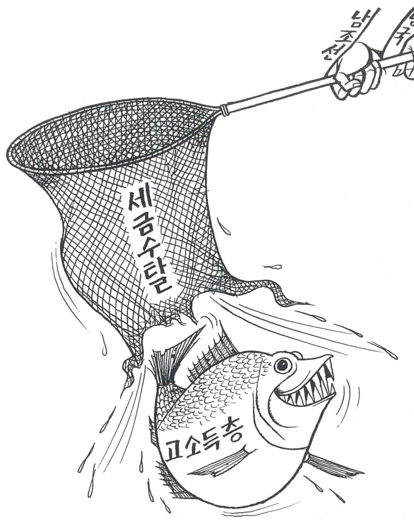
軍事挑発騒動

誹謗中傷

「韓国」当局

ヒステリー

1978. 4 .23　フランス・パリで「朝鮮の自主的平和統一を支持する西ヨーロッパ地域連帯会議」開かる。



当局

税金収奪

高所得者層

とれるならとってみろ

当局

50%引き上げ

5年延長

「防衛税」



しぼってしぼって

1979. 2 .13　南朝鮮「財務部」は78年度には１人当税負担額が10万9,000ウォンに達すると発表。

9 .13　朴「政権」、「韓米頂上会談」の合意で国防費をGNPの６%引き上げるため防衛税実施年限を５年間延長、防衛税率も来年からは50%引上げと決定。



「二つの朝鮮」

撤兵中止

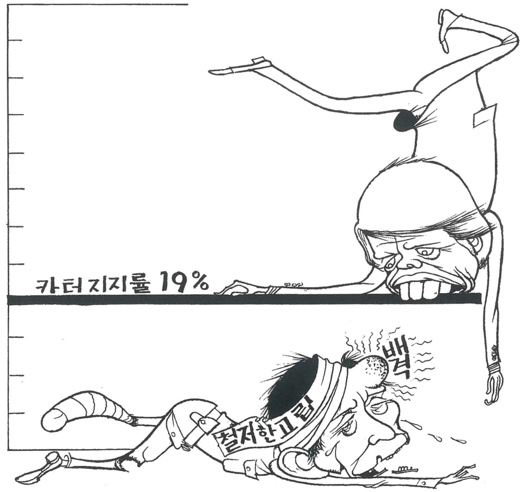
人権弾圧

礼砲

カーター支持率19%

排撃

徹底的孤立



「でもあなたはわたしよりいい」

1979. 6 .29　米カーター大統領訪「韓」



人間が一番信用できない



最後の瞬間まで

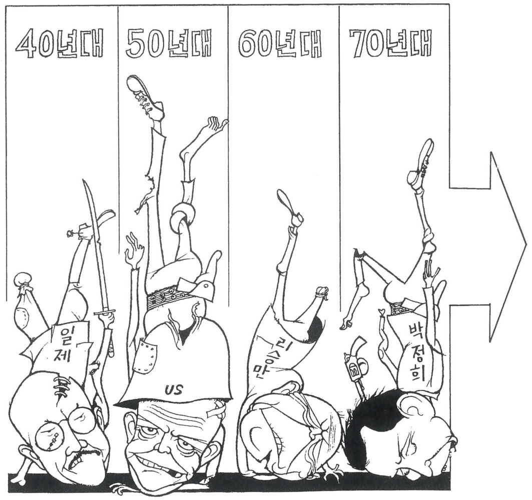
1979.10.16　釜山で学生市民5,000余名、反政府デモ。闘争は各地に波及、18日に非常戒厳令発布。
10.26　KCIA部長金載圭、朴正煕を宴席中殺害、同席の警護室長車智澈ら5名を同時に射殺。



ソモサ　ロメロ　パーレビ

世界の廃棄物

40年代　50年代　60年代　70年代

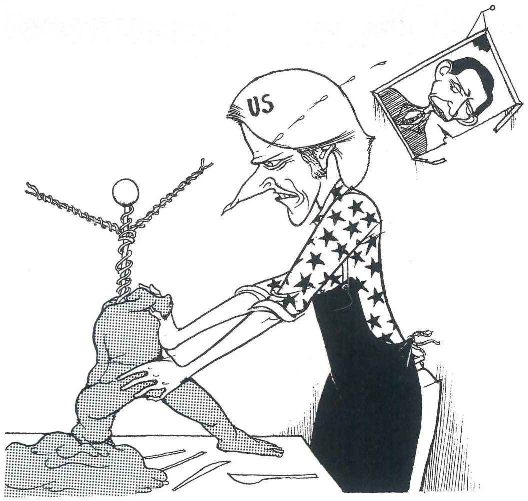


日帝　　李承晩　朴正熙

80年代は…



告別式にて



また新しいのを…

光州蜂起から六月抗争まで

(1979.11〜1987.10)

朴正熙の死後、民主化は当然の成り行きとして、社会的な合意を得ていた。軍部も時流に逆らうことの愚かさを感じていた。民衆の民主化への希望は沸き立っていた。だが朴射殺事件から二ヵ月後の12月12日、全斗煥・盧泰愚ら維新体制の残滓勢力が「朴正熙暗殺事件の調査」を口実に粛軍クーデターを強行した。

最大の虐殺者・全斗煥「政権」

軍上層部から反「維新」派を駆逐した全・盧勢力は朴正熙にならって「憲法」を停止して「国家保衛非常対策委員会」をつくりあげ、これを通じて「不正一掃」を看板に反体勢力の粛清をはじめた。そして「金大中等内乱陰謀事件」をでっちあげ、拡大一方の民主化闘争への大々的な攻撃を開始した。当時「ソウルの春」といわれた民主化の流れはついに押し止められた。

1980年5月17日、全斗煥は戒厳令を全土に拡大し、光州で起きた民衆蜂起に虐殺を加えた。兵士らは妊婦の腹を刺し、女性の乳房をえぐり、学生の頭を銃の台尻でうち割り、武装ヘリからデモ隊に向けて、機関銃を無差別に乱射した。こうして10日余りの間に2千人ともいわれる市民が虐殺され、光州は血の海と化した。それは民族史上最大の民衆虐殺であった。

虐殺には南朝鮮占領米軍指揮下の軍部隊も動員された。アメリカは戒厳令の全土拡大を了承し、全斗煥の権力掌握と虐殺に手を貸したのである。当時、カーター米大統領は人権外交を唱えてたが、ワシントン・ポストの記者は、米政府高官の発言にもとづいて、光州虐殺事件に関する米政府の基本的姿勢を、次のように表現した。「これは人権問題などではない。…アメリカの国益の問題である」(ワシントン・ポスト80・6・1)。

また光州虐殺を目撃した米平和部隊の隊員スチーブン・ハンジャーは、虐殺から2ヵ月後の7月に米大使館政治部一等書記官に、全斗煥に対してアメリカはどんな行動(懲罰的な)をとれるかと質問し、つぎのような答えを受けた。「もちろんアメリカ政府は、この韓国でやろうとすればどんなことでもできる。問題はアメリカ政府がその影響力を行使するかどうかである。そしてその答えは〝NO〟だ」。全斗煥はアメリカの完全な保護下にあったと言っている。

全斗煥はアメリカの全面的な支持のもとで1980年8月、「大統領」に就任した。だが民衆虐殺の上に成立した全「政権」に正統性は微塵もなく、反「政府」闘争は質的な拡大を見せはじめた。

全斗煥は日本の強力な援護を受けた。全斗煥は「日本の安全は韓国が対共前線でがんばっているか

ら」だと臆面もなくいってのけ、いわゆる「100億ドル政経援助」を持ち出した。これは日本国内で物議をかもしたが、結局日本が40億ドルの「援助」を与えることで決着した。日「韓」に新人脈が生まれた。

全斗煥の時代になって米・日・南朝鮮の三角軍事同盟体制もいっそう強化された。1976年から始まったチーム・スピリット米・南朝鮮合同軍事演習は、1983年から完全に対ソ核先制攻撃演習としての性格を見せた。演習の動員規模も20万人を超える史上最大規模にまで拡大し、在日米軍の機能が飛躍的に強化された。こうして朝鮮半島は偶発的な事件が即刻全面核戦争に拡大しうる、一触即発の危険に覆われた。また当時の中曽根日本首相の「四海峡封鎖論」にもとづき、朝鮮海峡の封鎖を進んで買って出たりもした。

分断後、全斗煥時代ほど「謀略・工作政治」が氾濫したことはなかった。それも大規模かつ危険きわまりないものであった。かつて朴正煕も夫人を殺害し、金大中を暗殺しようとしたが、全斗煥には比べようもない。1983年、全斗煥はミャンマーのヤンゴンを訪問した際に、自分を除く代表団全員をアウンサン廟で爆死させ、これを「北のスパイ」の仕業に仕立て上げた。また1983年にはアメリカの指図を受けて、大韓航空の旅客機をソ連領空に侵犯させ、ソ連のミサイルで撃墜させられるという事件を引き起こした。

民主化運動家に対する拷問も日常茶飯事となった。1987年1月には治安当局ぐるみで、ソウル大の学生朴鍾哲君を拷問のすえに虐殺したばかりかそれを隠蔽し、明るみに出たときでさえも真実をねじ曲げ、拷問を加えた当事者らをかばうのにやっきとなった。まさに全「政権」は血塗られていたのだ。

全斗煥の時代は特別な意味をもっている。第一に解放後、脈々と続いた民衆闘争が一大転換を迎えた。光州闘争は多大な犠牲者を出したが、「韓国」民衆の真の敵がアメリカであることを教えた。

「世界で唯一反米闘争がない国」といわれてきた「韓国」に反米の時代が訪れた。アメリカを直接、ターゲットにしたのである。

1982年には釜山の米文化院が学生らによって放火された。翌年には光州と釜山の米文化院が狙われた。1985年にはソウル米文化院が学生組織の代表らによって占拠された。そして同年11月にソウルにある米商工会議所が学生に占拠された。1987年5月には仁川の労働者らが、公然と反米を叫んで強力な街頭デモを展開した。デモでは必ずと言っていいほど星条旗や「アンクル・サム」の人形が燃やされた。反米が民衆闘争の中心軸となった。

つぎに民衆闘争の理念と戦略戦術を確立するための内的努力が、目的意識的かつ大衆的に展開された。大学生や民主運動家、労働者らの間では1985年の秋以来、真剣な論争がつづき、そのなかで民族統一・民主化実現・民衆解放の三大理念が生まれ、それが反米自主化運動を軸に具体的な運動路線として確立されはじめた。

全斗煥「政権」は延べ5百万人が参加した1987年の6月民衆闘争によって倒された。それは4.19人民蜂起以来のことであった。全「政権」退陣の最大の理由は、かつての独裁者のように全が永久執権の野望を露骨に現したことにある。

1986年以来、「韓国」民衆の民主化闘争は、全斗煥軍部勢力がクーデター後につくりあげた独裁「憲法」の改正要求闘争となって、広範な政治的中間層(中産層)を網羅した市民的広がりを見せた。

1987年には朴鍾哲君拷問致死事件が契機となって、民衆闘争が急速に拡大していった。にもかかわらず全斗煥勢力はこうした民衆の反独裁闘争を力でねじふせようと「護憲」の立場に固執した。またそれが民衆のげきりんにふれるや、永久執権の実現を準備するために朴正煕の隠し財産などを使って設立した「一会研究所」を本拠地にして、かねてから準備してきたいわゆる「権力委譲準備研究」を実施に移そうとした。それは「大統領」を辞任しても、引き続き権力を掌握するために院政を実施しようとするものであった。

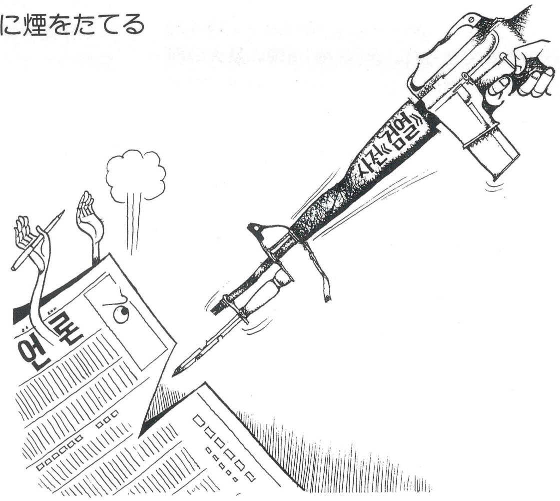
こうした準備にもとづき1987年6月、全斗煥は盧泰愚を後継者に指名した。だが結局、それが全斗煥の命を縮めたのである。



水のない所に煙をたてる

事前検閲

言論



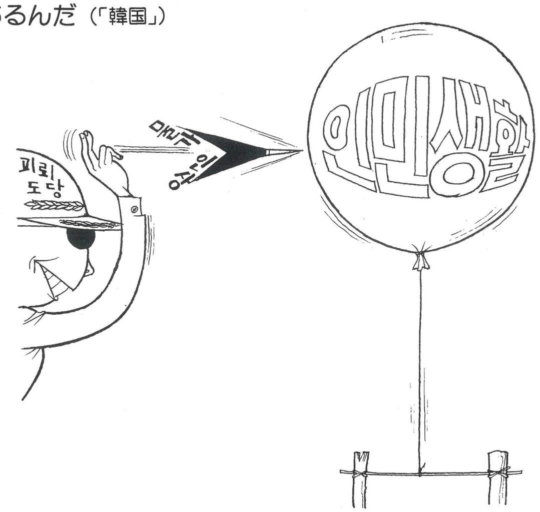
手をあげろ！



秋…落ちるのもあるんだ（「韓国」）

物価引き上げ　国民生活

当局



命中

1979.11月　維新残党、戒厳司令部を構成して「南朝鮮民族解放戦線」事件をねつ造。
11.5　戒厳司令部、報道に関する検閲基準を発表。

1980.2.25　「韓国経済企画院」、今年に入り2月15日までに卸売物価17.5%、消費者物価8.1%上昇と発表。

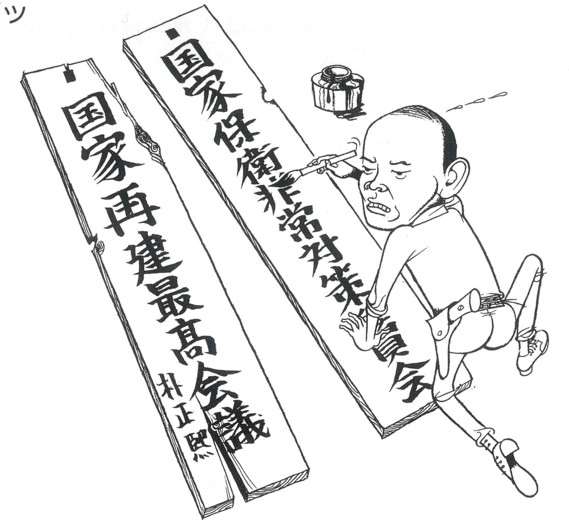


当局

力の政策
チーム・スピリット'80

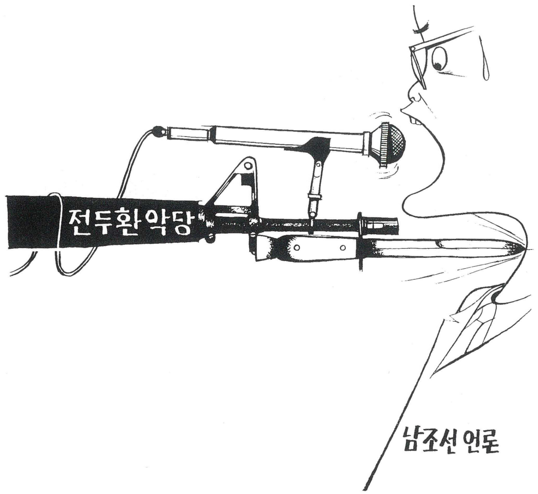
南北接触

エーイッ



お手本

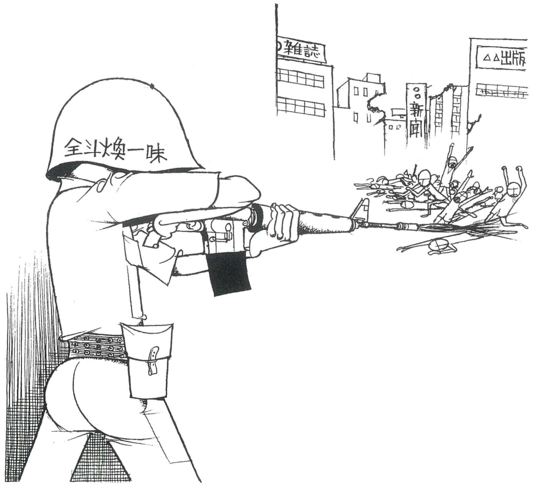
1980. 3 月　進行中の南北高位級接触実務者会談、「チームスピリット80」軍事演習で中断。
4 .14　全斗煥「国軍保安司令官」、中央情報部部長を兼任。
5 .31　全斗煥一味、「国家保衛非常対策委員会」設置。「同常任委員会」委員長に全斗煥就任。



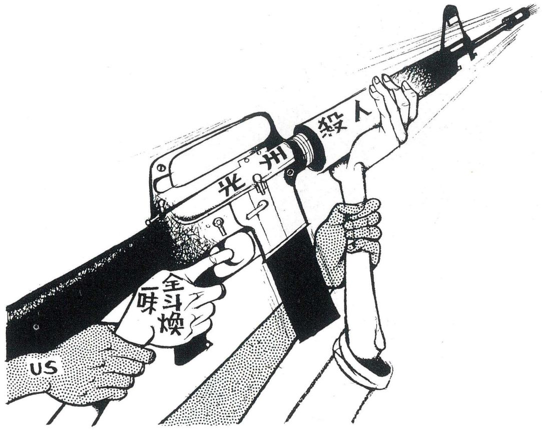
全斗煥一派

「韓国」 言論

言ってみな



言論街の大虐殺



共謀



この傷が俺の一生を…

1980. 5 .19　光州市の学生市民5万余名、非常戒厳令撤廃、全斗煥退陣を要求して一斉蜂起。
22日、光州市を占拠。
5 .27　戒厳軍、光州市を武力制圧。



未払い賃金出せ！

「仕事をやったのに金まで出せだと」（大失業の時代）

全斗煥一派



金大中　「軍事裁判」

結論はもうきまっている

1980. 6 .28　京畿道安養市の通信機材工場労働者3,000余名、35％賃金引上げ要求で籠城斗争
8 .14　陸軍本部戒厳普通軍法会議大法廷で「金大中等内乱陰謀事件」の初公判開かる。

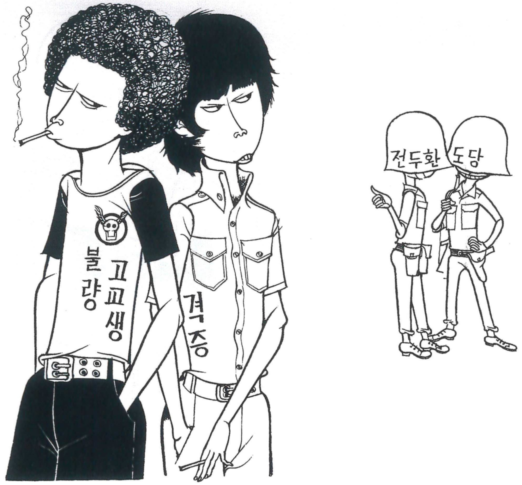


不正蓄財一掃

全斗煥一派

権力型不正蓄財

19年前も

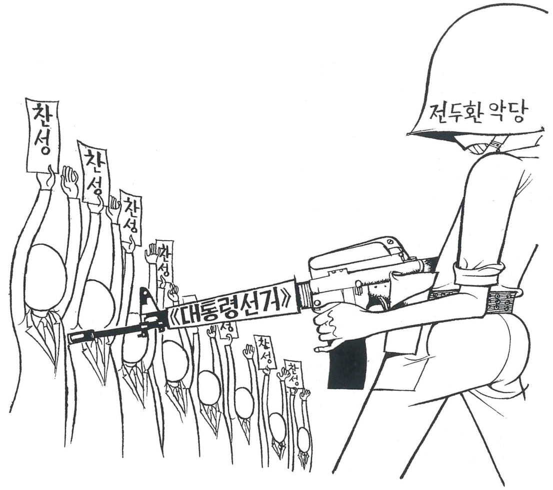


全斗煥一派

不良高校生激増

たのもしい後輩たち

1980．8．19　戒厳令捜査当局、政治的非理および腐敗行為など容疑者に対する不正財産の「国家献納」を条件に刑事処罰保留を発表。

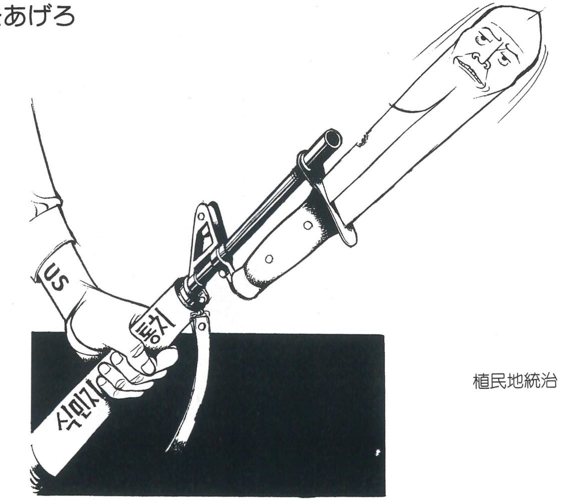


全斗煥一派

賛成

「大統領選挙」

手をあげろ



植民地統治

つけ剣！

1980．8．27　「統一主体国民会議」、全斗煥を第11代「大統領」に選出。

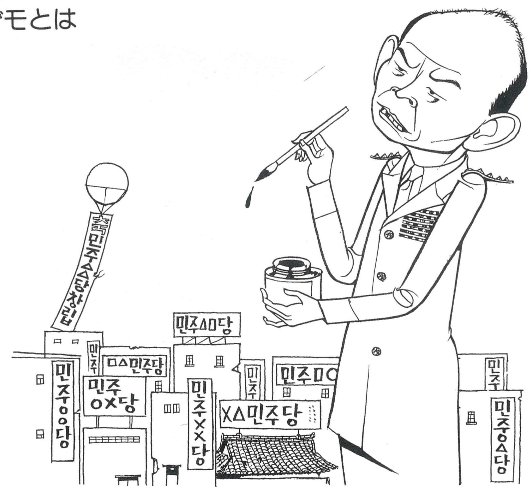


官製デモとは

祝民主△△党創立

民主○○党

□△民主党などなど



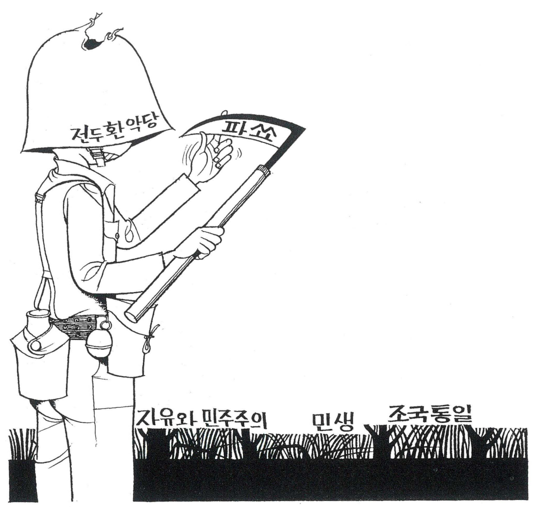
名前だけでも〝民主〟

1980.11.3　全斗煥、戒厳高等軍法会議で金大中ら各界人士、青年学生に死刑など重刑を宣告。
11.7　「政治刷新委員会」発足後、御用政党乱立。

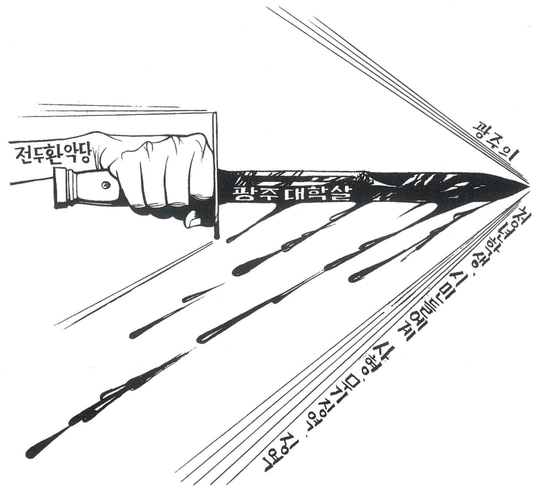
全斗煥一派

ファッショ

自由と民主主義　民生　祖国統一



よく切れるね



全斗煥一派

光州大虐殺

光州の青年学生、市民たちに
死刑、無期懲役、懲役

あゝ「荒」州よ！



「大統領」

朴正熙のようには死なないぞ



日本支配層

民主主義

祝賀会パーティーにて

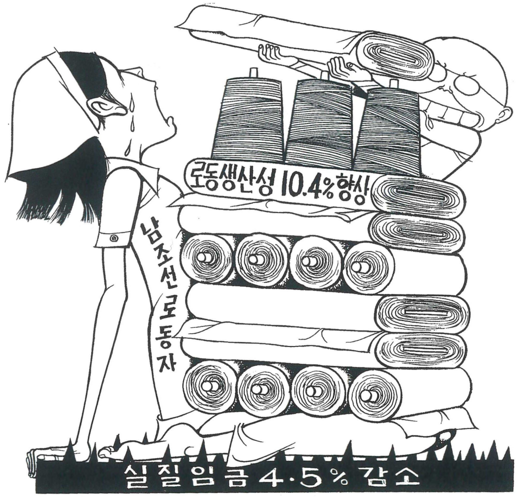
1981. 2 .25　全斗煥自作自演の選挙で「大統領」に当選。



万才

買収　強迫　不正

支持者たち(「韓国」選挙)



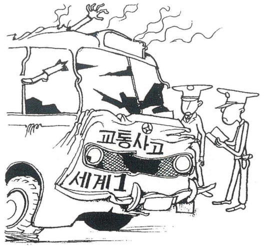
労働生産性10.4%向上

「韓国」労働者

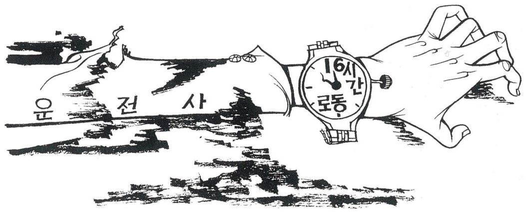
実質賃金4.5%減少

拷問

1981. 4 .21　「大韓商議」、今年度製造業の平均賃金上昇率17.1%、実質賃金は 4.5 %減少と発表。



交通事故世界一

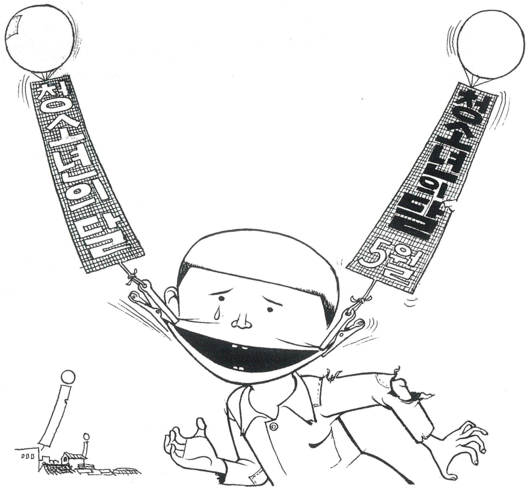


運転手 16時間労働

事故当時の時間

青少年の月

5月

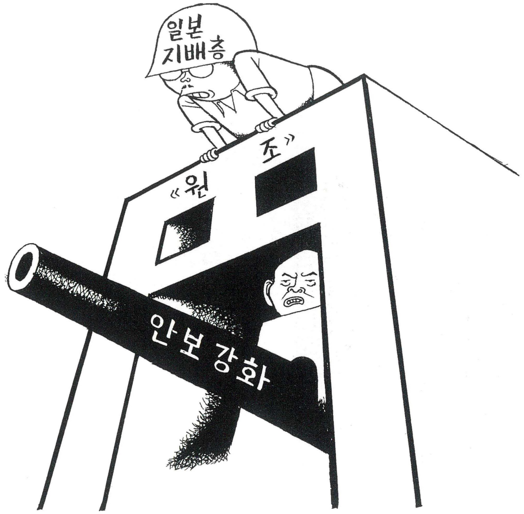


子供らよ笑いな

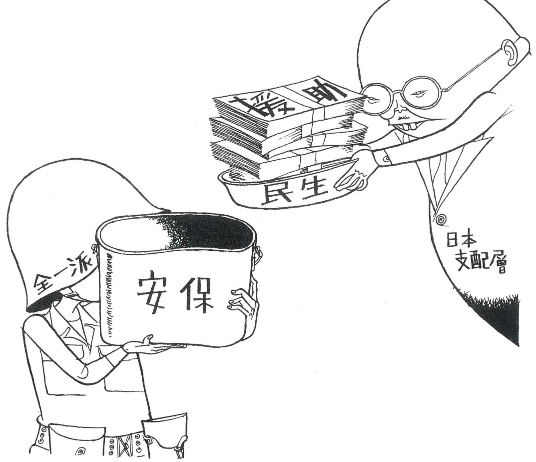
日本

「援助」

安保強化

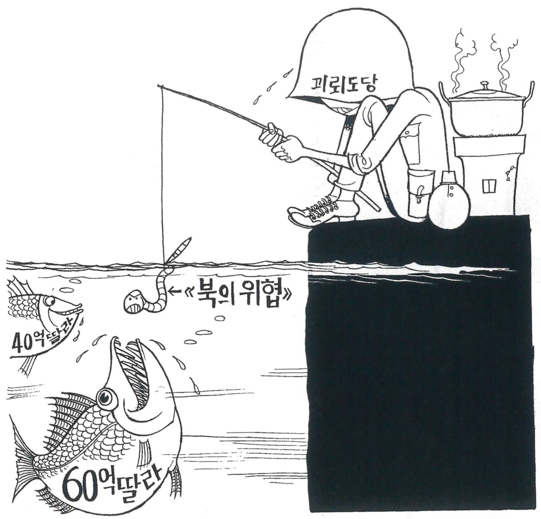


「円」助強化



言葉の違いだけさ

1981. 7 .22　日本の衆議院運営委員長山下元利、「朝鮮半島の安定は日本の安定に直結」するため「軍事的支援は難しいが経済協力を通して間接的な支援をすることができる」と発言。



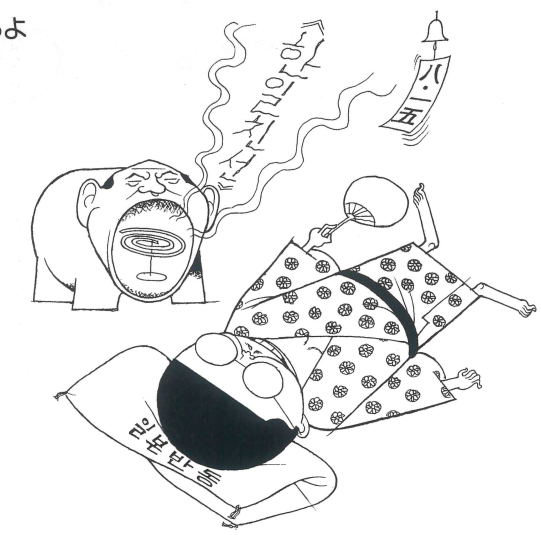
当局

「北の脅威」

40億ドル

60億ドル

よくかかるよ

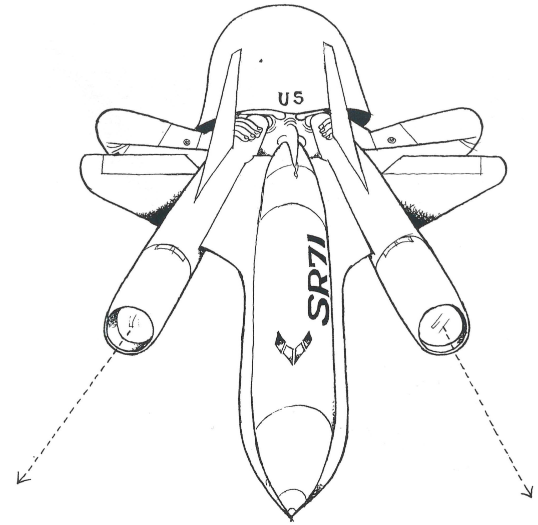


「韓日親善」

日本反動

今年の夏は涼しいな

1981.8.12　全斗煥、「日韓議連」代表団と会談。席上で「安全保障面からみれば日本は韓国と同じ領土」と発言。



1年365日



「祝韓米修好100年」

星条旗よ永遠…

1982.1月　米偵察機SR71、共和国領空をまたも再侵犯。

4.21　釜山米文化センター放火事件発生。

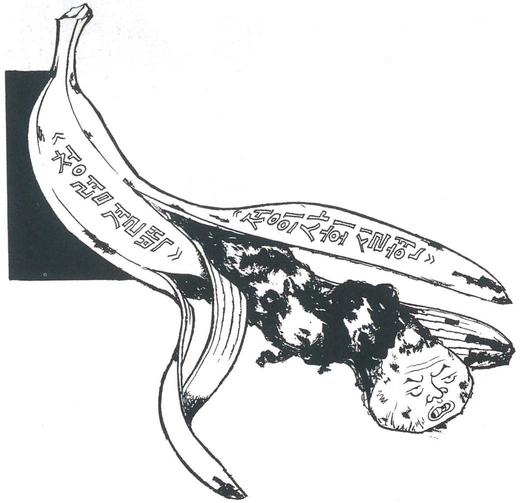
「韓国」経済

金融不正事件



どいてどいて

「清廉潔白」「正義社会実現」



くさってるーッ

1982.5.7　「大検察庁」中央捜査部は全斗煥の親類にあたる李哲熙(元KCIA次長)と張玲子を巨額手形詐欺事件容疑で拘束。

6.1　「韓国臨時国会」では、手形詐欺事件を調査する国政調査特別委員会設置案を与党民正党の反対で否決。事件の背後関係が解明されないまま閉幕。

当局

失業者調査



収入があるから失業者ではない…

通貨乱発　景気活性化

全斗煥一派

インフレ



一粒のめば…

1982.6.19　「韓国経済企画院」、3月現在失業者数5.6%と発表。昨年末より24万2千名増加。

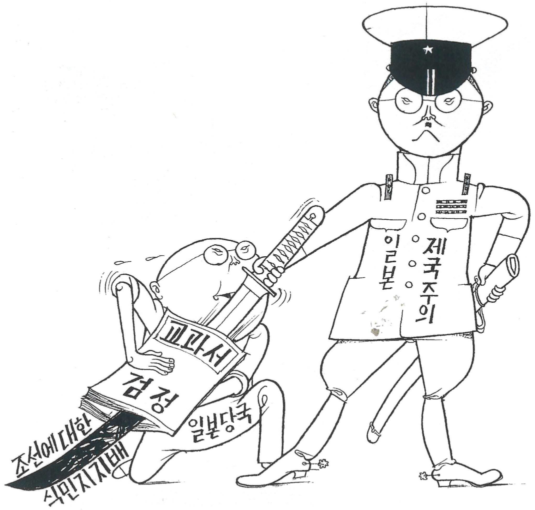
6.28　「韓国政府」、当面経済活性化対策として銀行預金金利8%の大幅引上げを発表。

日本軍国主義

教科書検定

日本当局

朝鮮における植民地支配



お拭きいたします

親米親日

「国語純化運動」



あたまが一杯！

1982.5.25　「労働新聞」、「何の目的で歴史を偽造するのか」と題す論評を掲載し、歴史を歪曲する日本当局者の教科書改訂を糾弾。

8月　全斗煥の「国語純化運動」

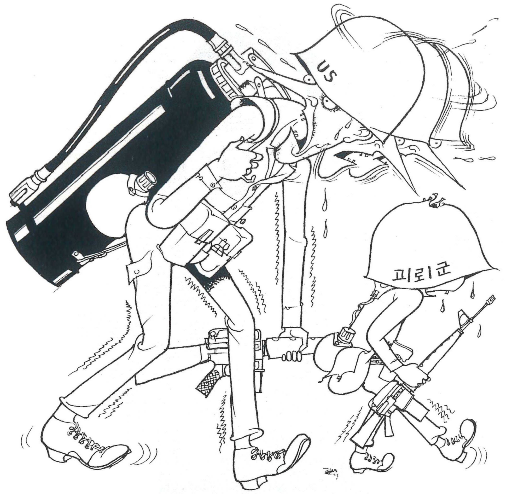
反米



夢じゃないんだ！



核のないエンプラなんて…考えられますか



「国軍」

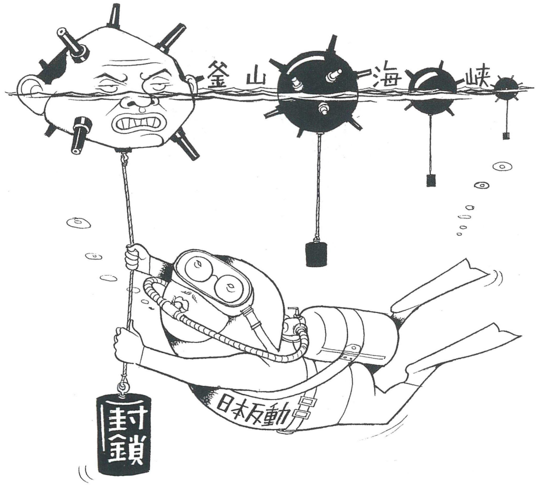
背嚢のかわりに（放火事件しきり）



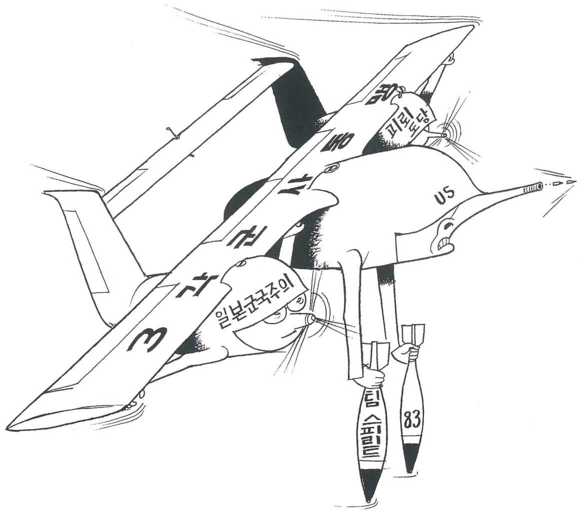
患者名　ヤンキー
病名　　放火事件によるやけど

日は沈む

1982.11.20　光州米文化センターの屋上に火炎ビン投火さる。



共同作戦海域



三角軍事同盟

日本　　「韓国」

チーム・スピリット

ブーン

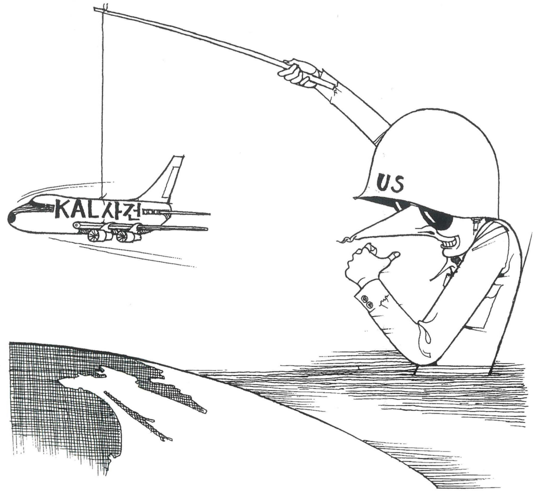
1983.1 .18　中曽根首相、米「ワシントンポスト」紙との単独記者会見で「日本を不沈空母にする…日本の四海峡を封鎖する能力をもつ必要がある」と発言。

2 . 1　米「韓」合同軍事演習（チーム・スピリット）史上最大規模で行われる。



美しいチマ・チョゴリ

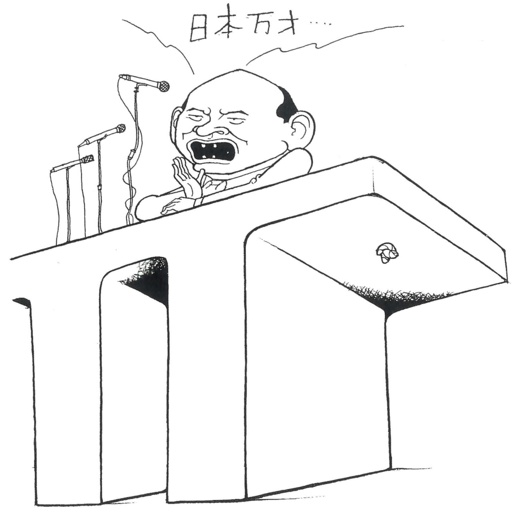
KAL機事件



やっぱり…

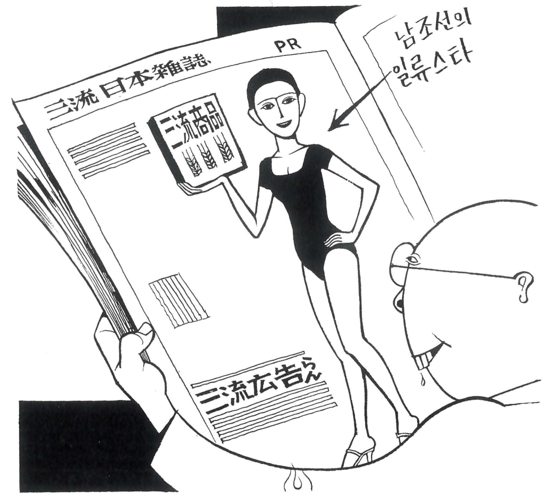
1983.3月　海外僑胞新聞(米州)、李順子が安企部と財閥企業の海外駐在員を動員して1億ドルにのぼる宝石類を密輸した、と権力形不正蓄財を暴露。

1983.9.1　「大韓航空」ボーイング747、ソ連領空を侵犯し撃墜さる。16日ソ連国防省、KAL機が米中央情報局(CIA)との秘密契約にもとづいてソ連領に対するスパイ飛行を続けていたと報道。



8·15演壇

「韓国」の一流スター



妓生の次は

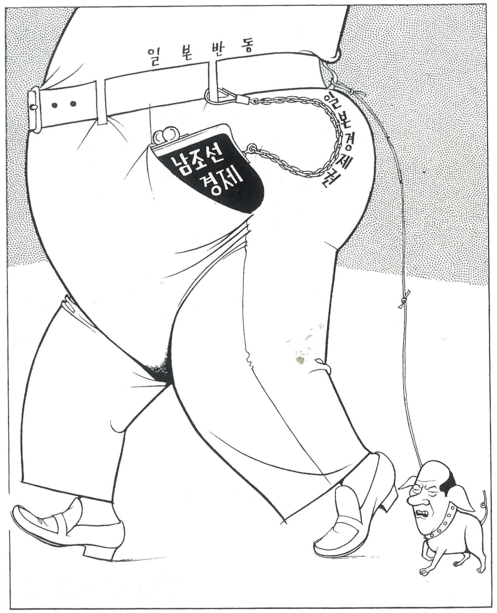
1984.8.18　民主化運動青年連合、「大韓独立万才！喊声よ！民族解放の真の意味よ！」と題する声明発表。

8.31　「韓日ホットライン」正式に開通。

日本反動

日本経済圏

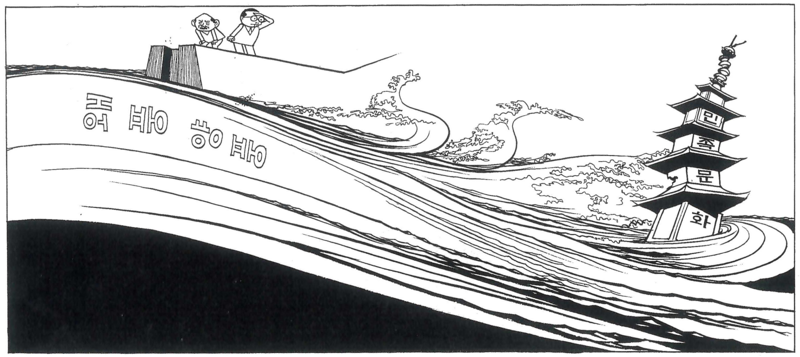
「韓国」経済



無題

倭風洋風

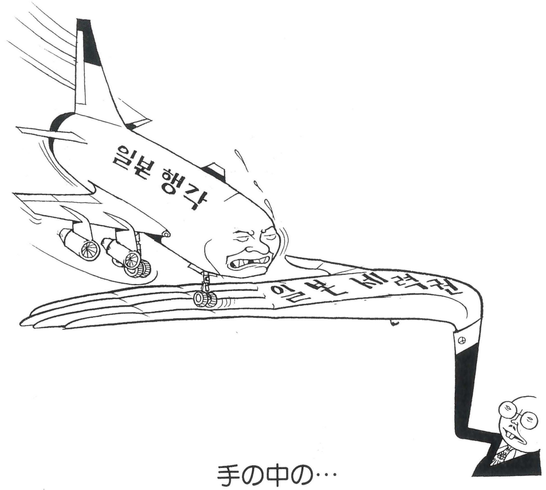
民族文化



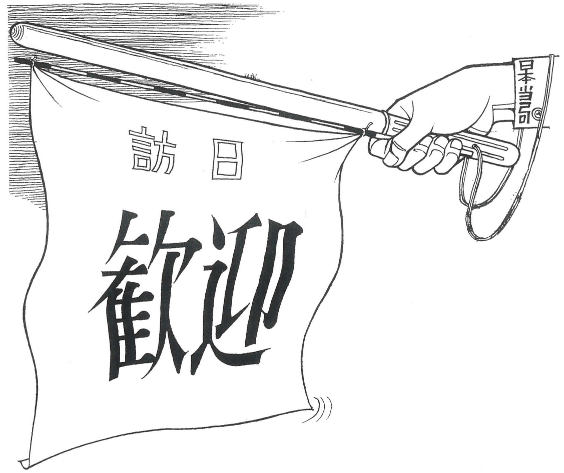
洪水の如く

日本行

日本勢力圏

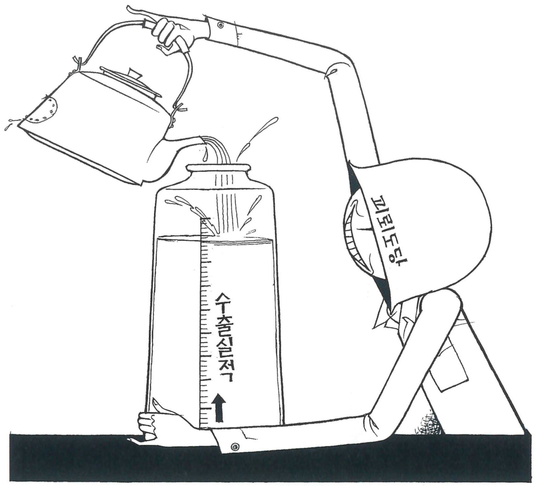


手の中の…



心から…

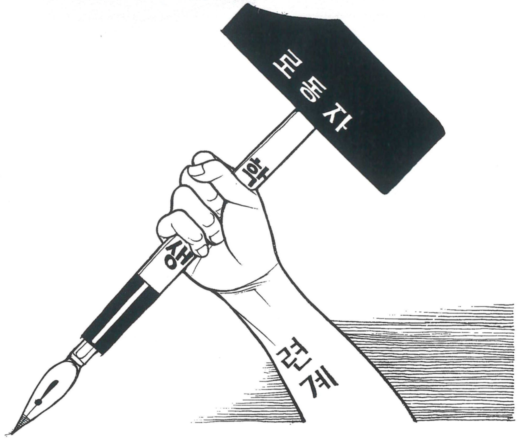
1984．9．6　全斗煥訪日。



当局

輸出実績

水まし



労働者

学生

連携

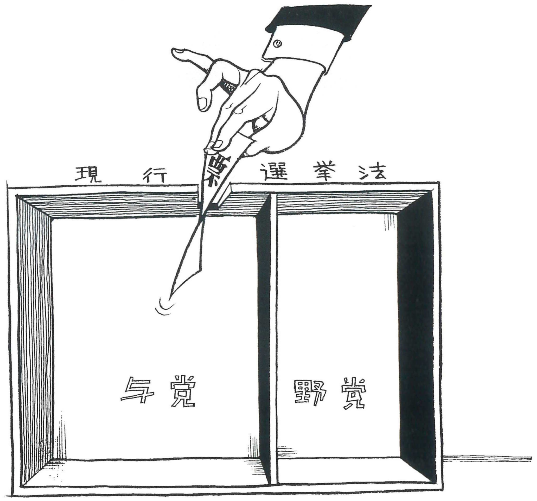
百人力

1984.10.11　籠城中のソウル大生、「労働者権益守護闘争委員会」結成。



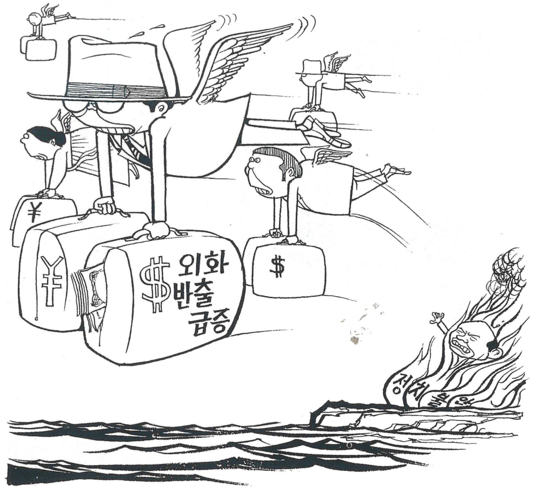
民正党

国土清掃週間



自然に…

1985. 1 .14　ソウル大生、「民主総選挙争取学生連合」創立大会開催。
2 .12　第12代「総選挙」で新野党の新韓民主党67議席獲得。



外貨搬出急増

政治不安

36計逃げるにしかず



どう似合うでしょう

1985．3．29　ソウル大、高麗大生200余名、ソウル江西区木洞「新市街地開発計画」反対集会を開き、木洞地区住民強制撤去は全斗煥の妻、李順子とその一家による直接土地投機の不正蓄財のもくろみと暴露。

改憲闘争

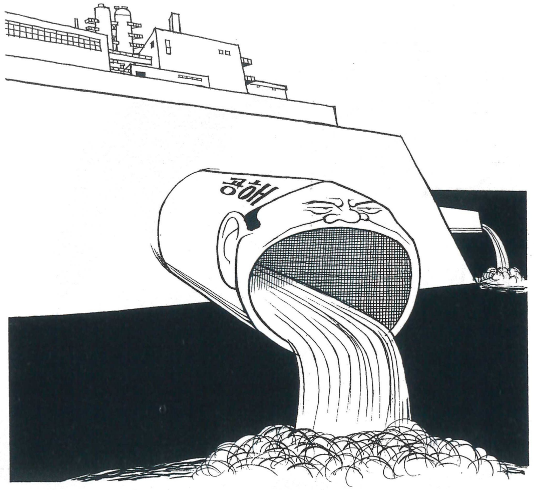


頭が痛い



あちちち…

1985．3．3　ソウル大、成均館大など各大学入学式場で「改憲」デモ。
ソウル大生は現行憲法撤廃と憲法制定国民会議招集のための汎国民署名運動大会。



公害

夜となく昼となく

ソウル大学生たちの意識調査

反米反政府

「韓国」占領



だんだん座りごこちが悪くなる

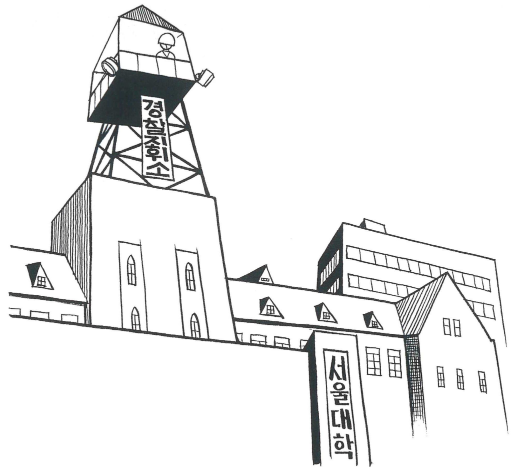
1985. 6 . 7　「韓国公害問題研究所」、慶尚南道蔚州郡の公団住民500余名が集団神経痛に。イタイイタイ病が「韓国」に上陸と暴露。

11月　ソウル大生の意識調査結果。60%以上の学生が反米感情をもつと発表。

政治犯…
拷問…
軟禁…
族閥政治…
不正蓄財…



マルコスと同じだ



警察指揮所

ソウル大学

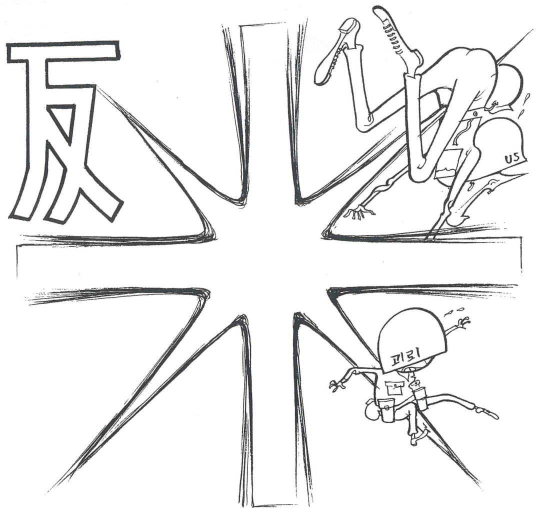
高層建築

1986. 2 .25　フィリピンマルコス大統領崩壊。

3 .26　警察当局、学生デモ対策としてソウル大学本部内に指揮所設置。



返事



米の字の由来

1986.4.22　成均館大生、「前方入所訓練」を途中放棄した学生らに発行された「徴集令状」の撤回を要求して校内デモ。
4.29　「全国反帝反ファッショ民族民主闘争学生連盟(民闘連)」結成。



連打



仏の顔も三度！

1986.5.9　全斗煥一味の治安本部、5月7日現在学生デモ510件が発生と発表。
8.13　「民衆仏教運動連合会」など在野仏教七団体で構成された「仏教弾圧共同対策委」の僧侶100余名、ソウル曹渓寺大雄殿で「性然師僧、民主人士釈放を求める祈禱法会」開催。

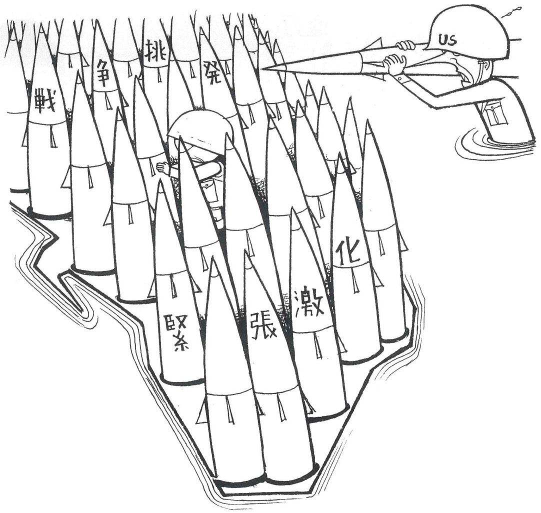


朝鮮半島の非核地帯化

平和地帯化

核

入るな！



アジア大会の会場はどこ？

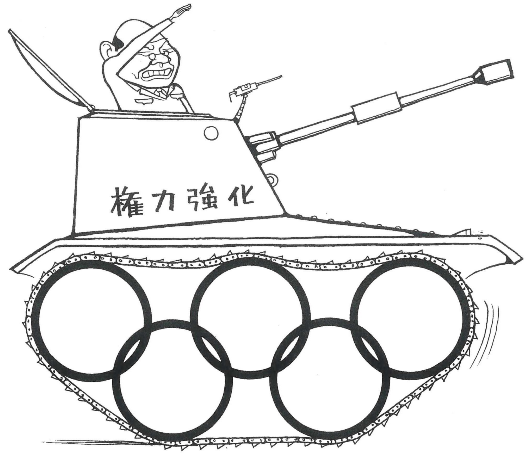
1986. 6 .10　朝鮮半島での非核平和のための国際会議(平壌・9月6日)開催が決定。



海外移民200万突破

送金約5億5千万ドル

あーん



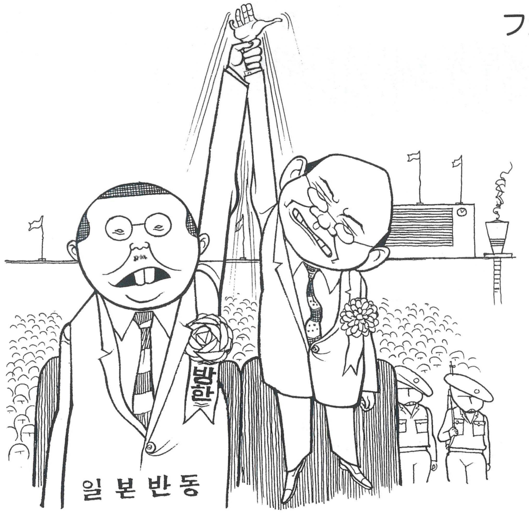
ヒトラーもこうやった！

「二つの朝鮮」

アジア競技大会



ファンファーレ



「訪韓」

日本反動

おめでとう

1986.9.20　ソウル・アジア競技大会開幕。中曽根日本首相が開幕式に参加、翌日全斗煥と会談。

当局

労働組合解散

「韓国」労働者



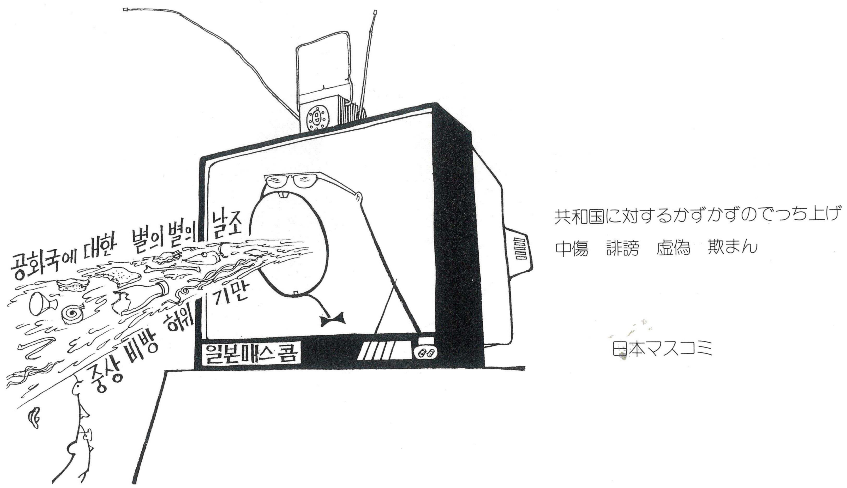
どちらの鉄が…



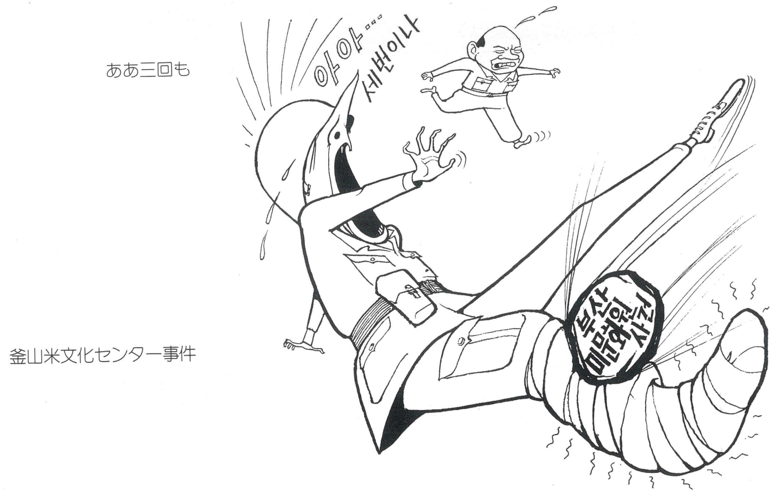
ファッショ政権

時間の問題…

1986.11月　「韓国労働部」がソウル学連、仁学連に解散命令。

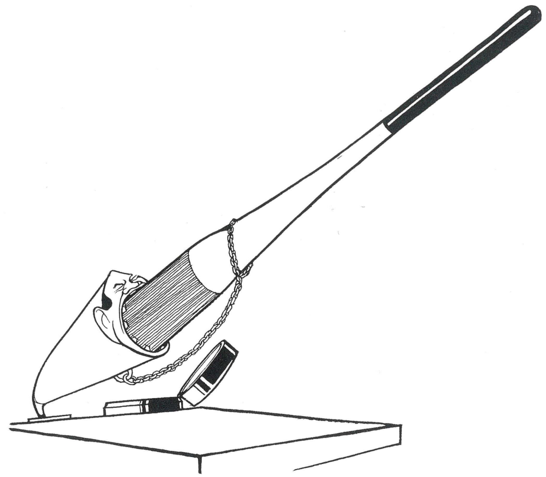


こんなにきたない日本語があるとは知らなかった

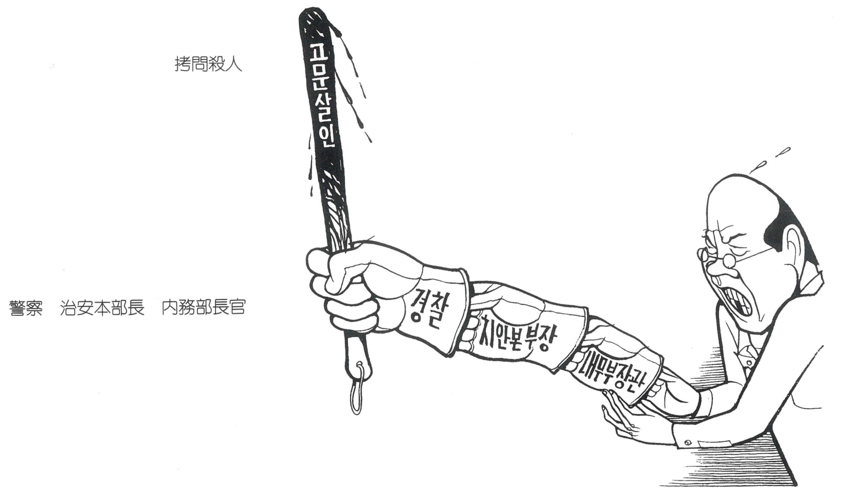


釜山で無残

1986.12.15　釜山大学「自民闘」の学生、釜山米文化センターで籠城。



言論の自由（東亜日報世論調査）



最後の手

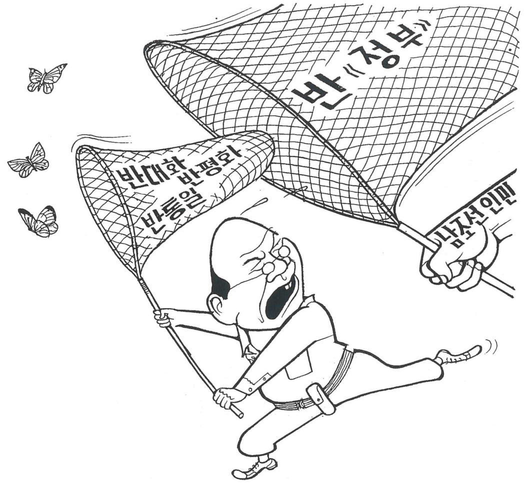
1987．6．10　「朴鍾哲拷問殺人隠蔽糾弾汎国民大会」、ソウルはじめ全域で同時に行われる。

民主勢力



力の違いがだんだん大きくなる

1987.6.1　「韓国治安本部」、年初から5月22日までに発生した学生デモは1,370件と発表。
6.26　午後6時、南朝鮮全域で一斉に民主憲法争取のための国民平和大行進実施。



反「政府」

反対話　反平和　反統一

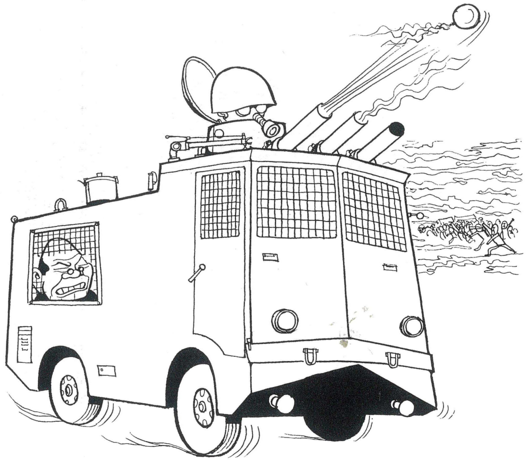
「韓国」人民

はんたーい

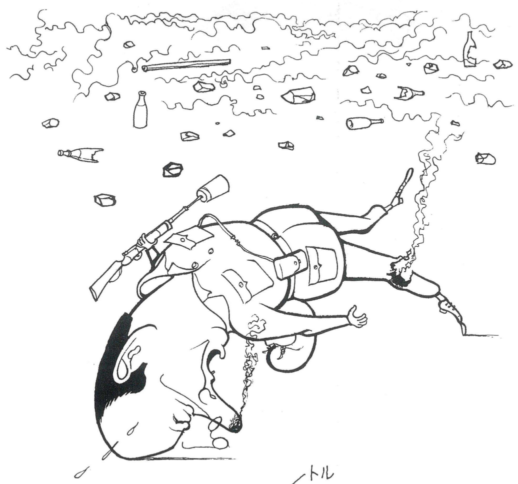


学生闘争

アキレス腱

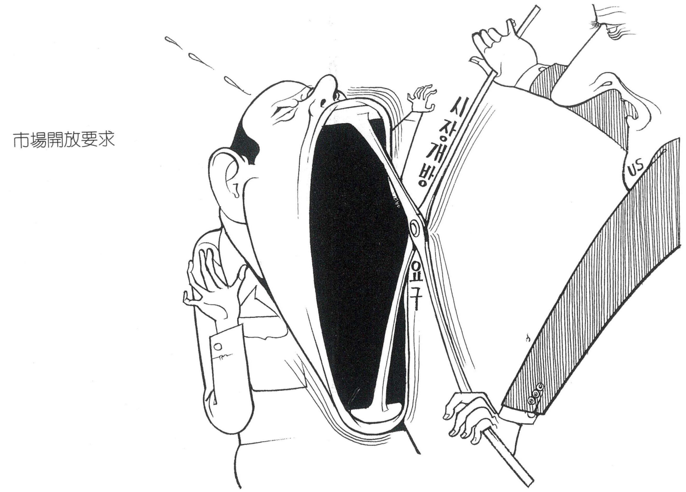


自家用車

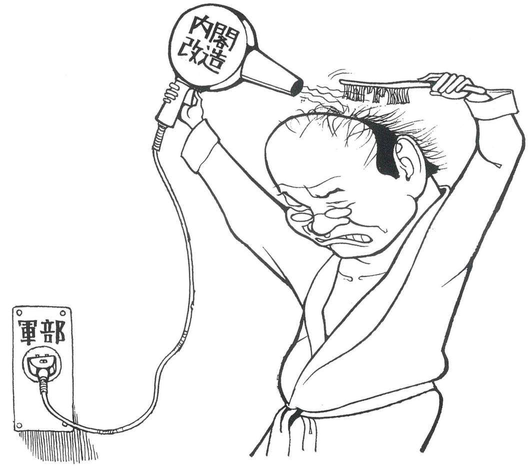


死に体（に：トル）

1987. 6.29　盧泰愚、「大統領直選制」改憲、金大中赦免復権、時局関連事犯の釈放など８項目を盛った特別宣言を発表。



もっとあけろ！



おしゃれしゃれても

1987. 7.10　全斗煥、「民正党総裁」を「辞退」。

ＫＡＬ機不明事件から統一元年に向かって

（1987.10～）

全斗煥の永久執権の野望を打ち砕いた1987年の６月民衆抗争が、全面的な反米・民主化運動に拡大しようとするなかで、全が次期「大統領」に指名した盧泰愚は６月29日、「大統領」直選制の導入などの「民主化措置」を宣言した。だが宣言はアメリカ産であった。1987年初めからアメリカの高級官僚があいついでソウル入りしたが、彼らは「政府」野党幹部、キリスト教指導者らと会い、政策転換の可能性を探った。その結果が６．29宣言であった。

前轍踏むか、盧泰愚「政権」

アメリカは軍部の露骨な独裁に対する民衆の反抗が生む政治の混乱が、アメリカの支配体制に動揺をもたらしているとし、民間保守勢力と既得権を握る軍部が「権力の分有」を実現し、軍部が背後に控えた制限的な「民主化」を実現することで中産層を権力の側に引きつけ、政治の安定化を図ろうとしたのだ。つまり「保守連合」を形成することで反米自主化・民主化運動を孤立させるという構図だ。フィリピンでのマルコス独裁の崩壊と、親米を軸にした軍部と民間保守勢力の妥協による新たな権力の創出はその成功例とされた。

こうして軍部ファシスト勢力は温存され、盧泰愚は1987年12月の「大統領」選挙で「当選」した。だが、得票率がわずか30％台の「三割大統領」にすぎなかった。また盧泰愚が全斗煥によって後任に指名されたばかりか、死人まで出た不正選挙によってかろうじて「当選」できたことから、盧もまた「正統性の不在」という宿命から逃れられなかった。

しかも選挙で盧の当選が危ぶまれていた11月29日、ファシストたちは中東への出稼ぎ労働者らを乗せた「大韓航空機」の不明事件という、かつてない一大謀略を実行した。彼らはＫＡＬ機が失踪するやいなやこれを「北の工作員による空中爆破」だと断定し、その実行犯として蜂谷真由美なる人物をでっちあげた。だが機体や死体がいっさい発見できず、たった一つの証拠物も示すことができなかった。後に機体の一部が出たというが、爆破の証拠はいまも発見されていない。この事件が盧に「当選」の決定的チャンスを与えたのは確かだ。盧「政権」もまた血塗られて登場したのである。

盧「政権」が登場してから、まだ、わずか３年半しかたっていない。だが民族自主と対米従属、ファッショと民主化の対立の中で、盧「政権」はすでに息切れの状態に陥っており、「韓国」民衆はいま新たな時代を迎えようとしている。

なによりも、民族統一と民主化の実現を目指す民衆運動が質的な転換期を迎えている。まず、かつて個人的な名望家や民主人士、野党政治家、宗教家、そして学生らを中心に展開されてきた民主化闘争が急速な組織的成長を果たし、民族民主運動勢力と呼ばれる一大社会勢力が姿を現した。70年代の民主闘争は前にあげた人々らを中心とする「在野勢力」を生み出し、これと学生勢力が主軸となってきた。だが「光州」の経験は労働者、農民、貧民らを主力とする闘争主体の存在を教え、これを軸にした強力な民族民主勢力を形成することが勝利に結びつく緊要な課題であることを示した。

そしてこの課題は、６月蜂起を機に労働運動や農民運動など、基層民衆運動が飛躍的に発展するなかで解決されていった。1990年代の闘争を主導する反米自主化・反ファッショ民主化運動の主力軍が形成されたのである。

また1988～９年のソウル五輪南北共催実現運動や核戦争演習反対闘争、南北学生会談実現闘争、汎民族大会参加闘争、林秀卿さん、文益煥牧師、文奎鉉神父らの平壌訪問など、祖国統一運動が戦後初めてと言っていいほどの急進展を見せ、歴史的転換期を迎えていることを示した。それは同時に「北を正しく知る運動」を伴ったことから、権力によって強要され、民衆の中で歴史的に形成されてきた北に対する不信の解消を早めた。民衆は「北は和解しあえる同族」であり、同じく統一祖国の主人であることを確信した。

他方、盧「政権」の政治的地盤は絶えず動揺を続けている。盧泰愚の支持率は急激な下降線をたどり、1990年１月、ついには保守野党との合党に走る以外になかった。だが、その結果産まれた民主自由党に対する民衆の嫌悪感は拡大するばかりである。盧の支持率が一時は８．８％にまで落ち込んだことがそれを示した。また民自党内部の勢力争いも熾烈になるばかりであった。盧「政権」は自らが「総体的危機」と呼んだ深刻な状態に直面している。

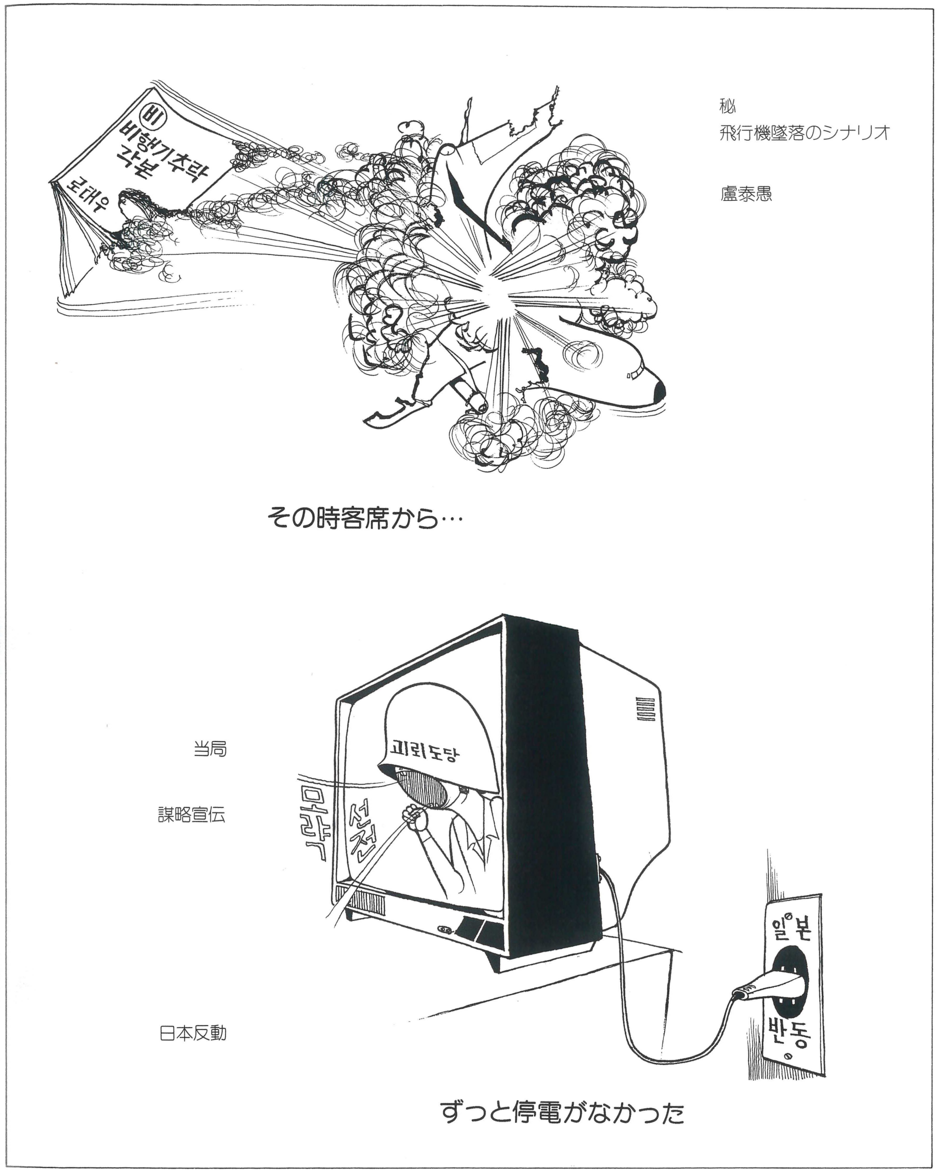
「総体的危機」は経済にも現れた。国際経済の好要因に乗った全斗煥時代の成長はもろくも崩れ去り、輸出不振、インフレと物価高、失業、不景気など「韓国」経済が抱えている構造的な問題がいっきに吹き出し始めた。東亜日報の今年の世論調査では93．9％が物価を、92．5％が貧富の格差を、90.8％が土地住宅問題を極めて深刻だと答えた。対日貿易赤字は急速に拡大しており、アメリカの対米輸入圧力は「韓国」経済をいっそういびつにしている。1989年度の企業の休・廃業は80年代最悪を記録、新たに５万人以上の失業者が産まれたが、その原因の96％は経済自体の持つ構造的要因であった。非民衆的買弁経済の宿命的な結果だと言えよう。

盧「政権」は、南北関係でもその欺瞞的本性を露にしている。盧泰愚は1988年の７．７宣言、1990年の７．20宣言などで北を「民族共同体」と呼び、南北関係の改善に意欲的な姿勢をアピールした。だがその

実、民衆レベルでの南北交流の実現と統一促進を願って、公然と北を訪問した文益煥牧師や女子大学生の林秀卿嬢、文奎鉉神父を投獄し、自主的な祖国統一運動を展開した民族民主勢力を「国家保安法」で弾圧した。1990年１～７月の間に逮捕投獄された民主人士は1253人。一日平均６人の割合だ。全斗煥時代には一日平均１.61人だった。数字は「民主化」と「統一」を叫びながら登場した盧「政権」の本性をはっきりと示した。

盧泰愚はいま内閣責任制への改憲を企むなど、長期執権への野望を見せ始めている。だが時代が変わり民衆の自主意識、統一意識はかつての次元をこえている。盧泰愚の任期末は1992年。はたして任期をまっとうできるのか…。「韓国」の巷ではすでに、盧「政権」がレーム・ダックに陥りつつあるという、否定的なささやきが流れている。

1990年８月15日。祖国解放45周年のこの日、分断の象徴である板門店で汎民族大会が開かれ、南北と海外在住同胞の全代表が結集した祖国統一汎民族連合(祖統連)が結成された。祖国統一の巨大なうねりが始まったのだ。盧泰愚が歩もうとする道は、歴代の独裁者の前轍を踏むことでしかない。



1987.11.30　盧泰愚一派のでっち上げによるKAL機事件おこる。

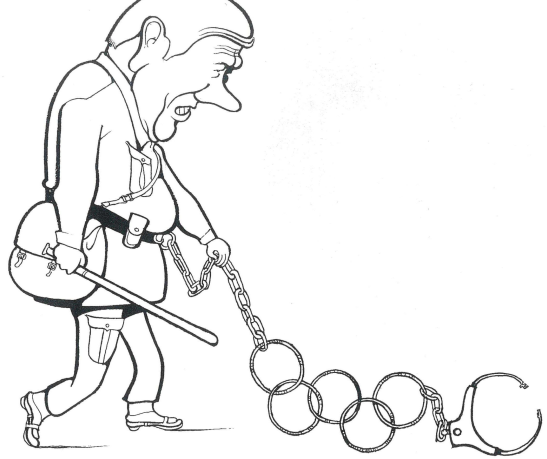


1987.12.17　盧泰愚、「第13代大統領」に「当選」。在野勢力はただちに同選挙を「史上類例のない不正堕落選挙」と告発。

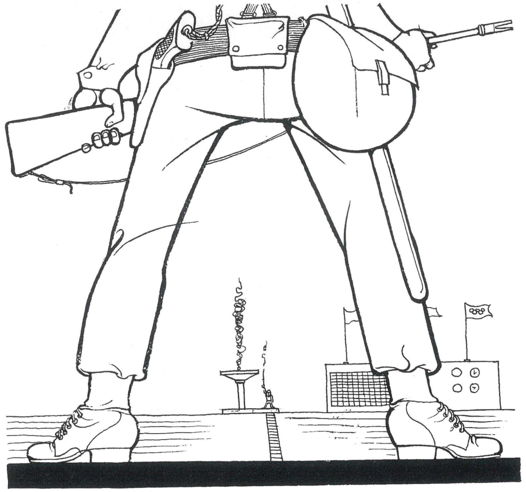


1988. 1 .15　「安全企画部」、KAL旅客機不明事件の「捜査結果」なるものを発表。金賢姫といわれる「真由美」の記者会見をくり広げ、物的証拠の全くない「北工作員の犯行」説を宣伝。

4 .26　「第13代国会議員選挙」で民正党過半数割る。



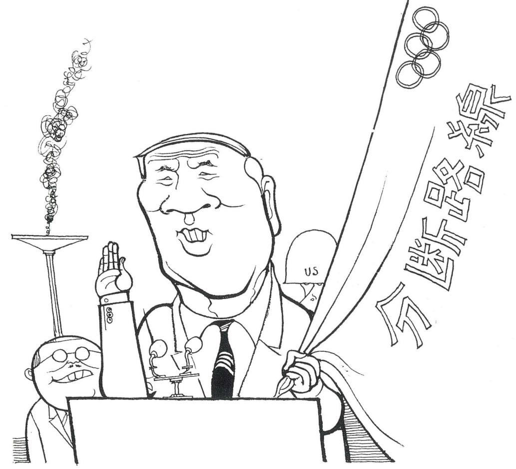
オリンピック警備



「開会式」

1988. 9. 8　「韓国治安本部」、オリンピックと関連し、同日9時より10月5日まで全国警察に「甲号非常警戒勤務令」を下す。

9 .17　第24回オリンピック開幕(ソウル)。

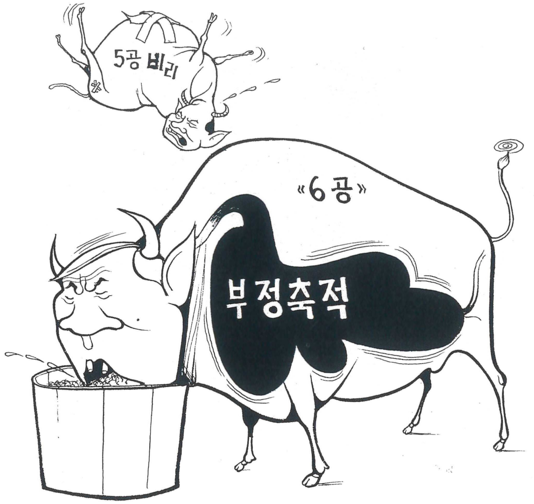


宣誓



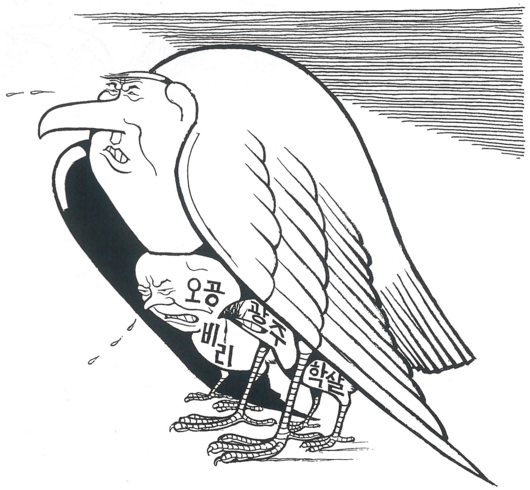
高い所をかりまして

1988.10.18　盧泰愚、国連で演説。



五共非理
「六共」
不正蓄財

俺もお前も



五共非理　光州虐殺

窮鳥ふところに

1988. 7 .28　民正、平民、民主の三党、「国会第五共和国非理(5共非理)調査特別委」に提出する一次調査対象項目を各々確定。



被告席

「あゝ、ここは国民共の席だった」



真相を話さぬ話をする記者会見

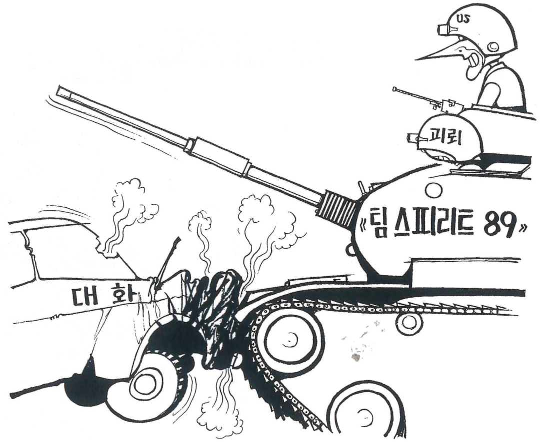
1988.11. 3　「国会第五共和国非理調査特別委」、全斗煥の政治資金との関連でその私物化が物議をかもしている日海財団公聴会を開く。

11.23　全斗煥、テレビ通して「謝罪」談話発表。

当局

「チーム・スピリット'89」

対話



どけ！



アメリア農産物

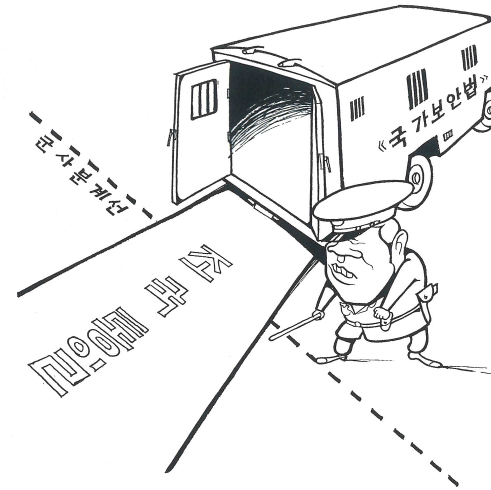
「韓国」農民

ゴンベが種まきゃ

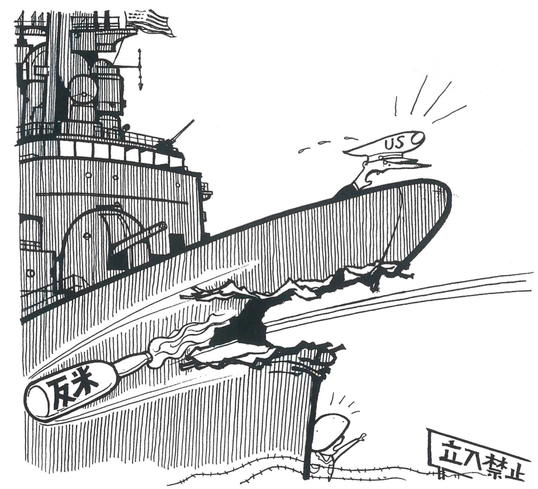
「国家保安法」

「軍事境界線」

祖国統一



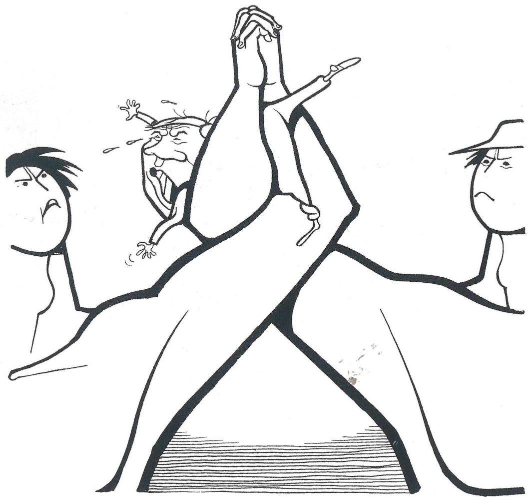
お帰りなさい



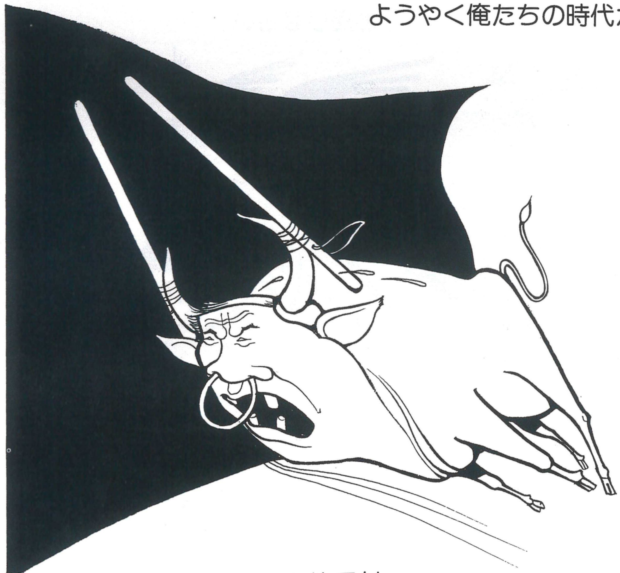
〝聖域〟はない！

1989.2.10　『労働新聞』、「北南対話に影を落とすチームスピリット」と題する論説掲載。
2月　「韓国商工部」、1月中の貿易収支3,300万ドルの赤字を記録と発表。

1989.3.9　釜山市の青年学生、チームスピリット軍事演習に参加した米航空鑑ミッドウェイに催涙弾と火炎瓶など投げ、演習反対を表明。



ようやく俺たちの時代が…（「韓国」労働者）



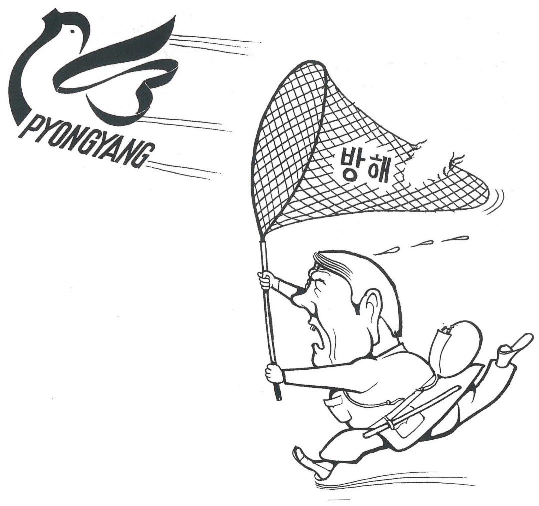
条件反射

1989．3．15　京畿道城南地域の60企業の労働者5千余人、韓国労総と民主労組による「城南地区労働組合連合会準備委員会」を結成。

4．30　ソウル市警、賃闘本部主催で開催が予定された「メーデー100周年韓国労働者大会」を源泉封鎖。



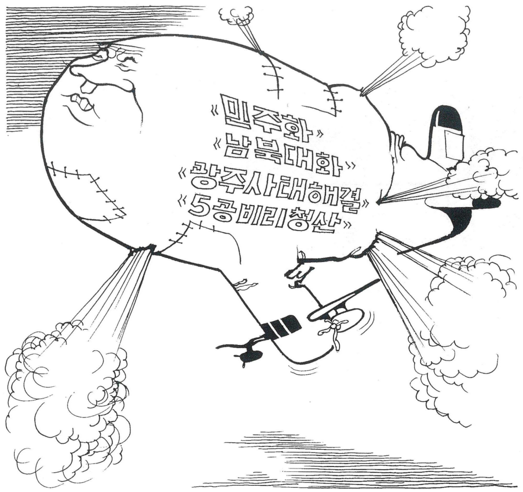
おちないね



まてーっ

1989．5．30　光州地検、朝鮮大生李哲揆学生の変死（拷問による）事件を、溺死であるとその「最終結果」を発表。

6．6　「韓国文教部」、平壌祝典参加の「不許可方針」を公式表明。同問題を「国家安保を危険にさらす不法行為」として厳重に対処していくと強調。



「民主化」「南北対話」
「光州問題解決」「五共非理清算」

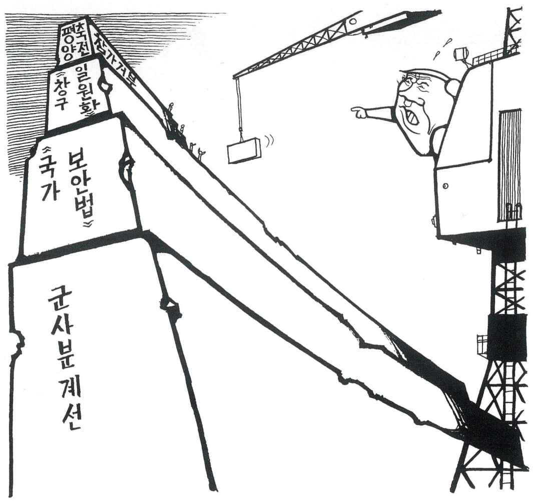
公約とは空約なり

平壌祝典参加拒否

「窓口一本化」

「国家保安法」

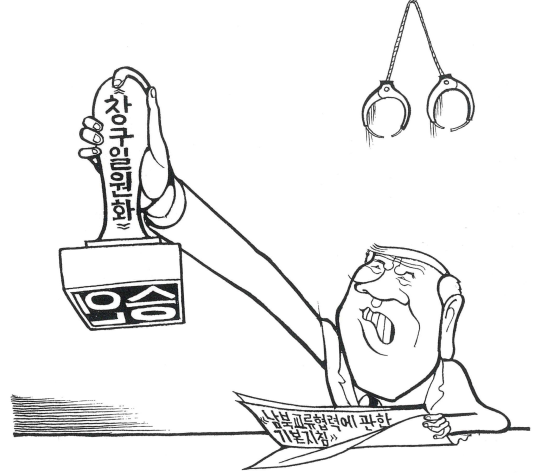
軍事境界線



屋上屋作り

1989.5.13　全国70余大学生と市民1万5,000余名、全南大「光州民衆抗争継承、虐殺元凶処断および民衆運動弾圧粉砕のための第1次国民大会」を開催。市内をデモ。

6.13　盧泰愚「政権」、「南北の人的交流協力推進協議会」の審議をへて「統一院長官」が承認する等を内容とする「南北交流協力に関する指針」を確定発表(窓口一本化)

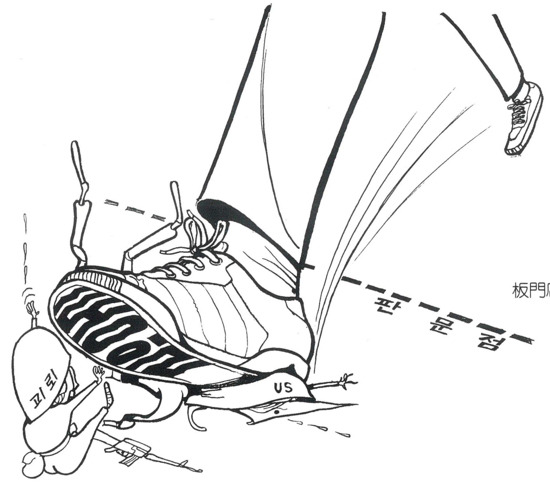


窓口一本化

承認

「南北交流協力に関する基本指針」

判このないものは…



統一

当局

板門店

どけ！

1989.7.1　平壌で開かれた第13回世界青年学生祭(平壌祭典)に全大協の代表として林秀卿学生が参加。

8.10　「大韓赤十字社」総裁、全大協林秀卿代表の板門店通過問題を討議するための実務者会談を開こうとの北側提議を拒否。

8.15　全大協代表林秀卿とカトリック正義具現全国司祭団の文奎鉉神父、板門店を通過。

「単独加入」



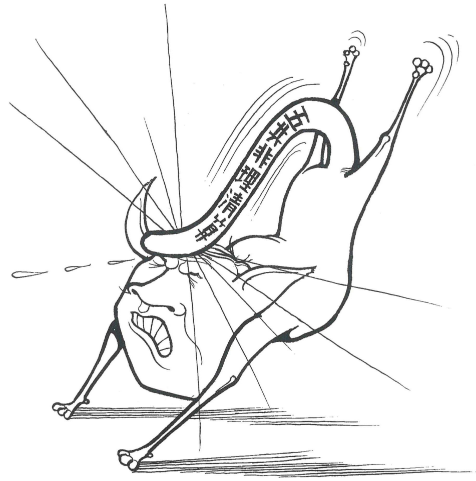
泥棒猫の如く



ボディガード



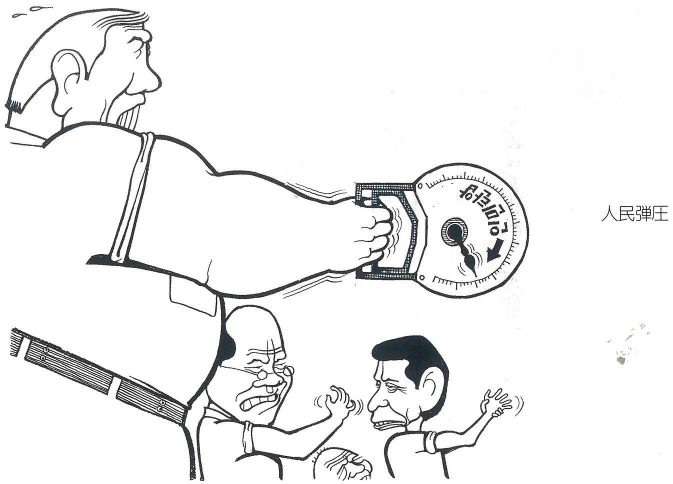
野蛮の時代



自分で自分をたたかない

1989. 8 .26　安企部、平壌祭典に送った絵を制作した全国学生民衆美術連合準備委員長の全承道、平壌祭典ポスターをハガキにして販売した「韓国キリスト青年協議会」前会長尹光基を「国家保安法」違反容疑で拘束。

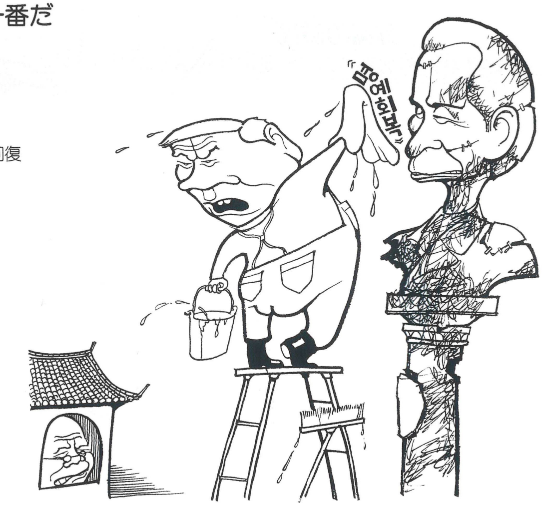
9 .12　盧泰愚、緊急党役員会議で「第五共和国非理」の年内終結を強調。



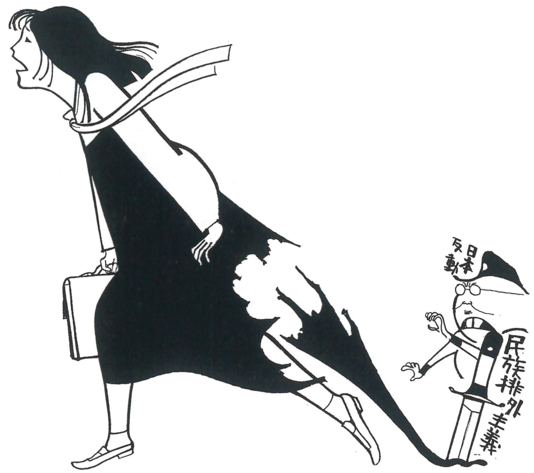
人民弾圧

俺が一番だ

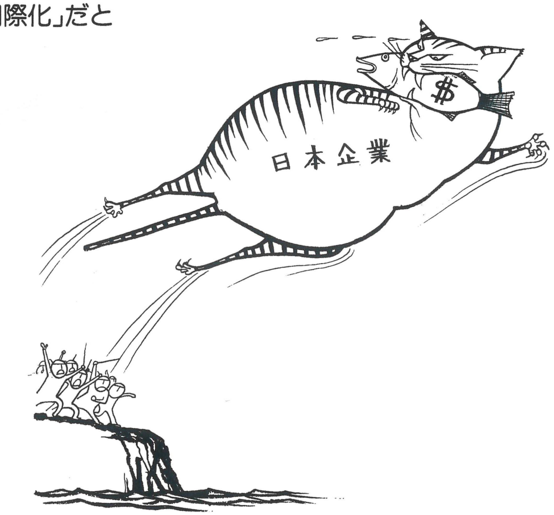
名誉回復



あんたももう少しまちな



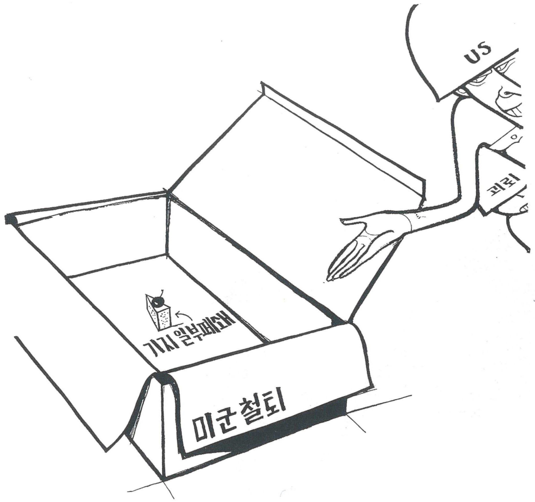
「国際化」だと



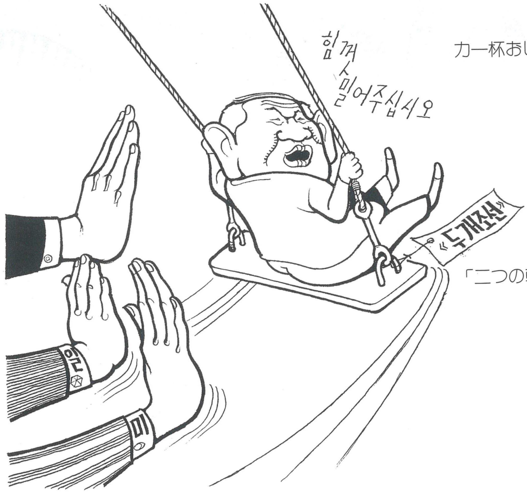
泥棒猫

1989.10.31　日本の衆議院予算委員会における「パチンコ疑惑」集中審議で在日朝鮮人に対する蔑視的発言が相次いで以来、各地で朝鮮人学生に対する暴言、暴行事件が頻発。

12.5　「韓国貿協」が発表した「主要競争国の輸出入実績」によれば、アジア「NIES」の中で南朝鮮が最低水準(貿易赤字6,000万ドル)。

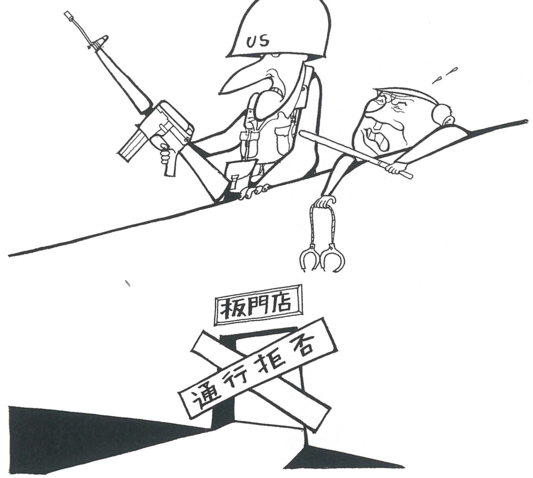


ふたを開ければ

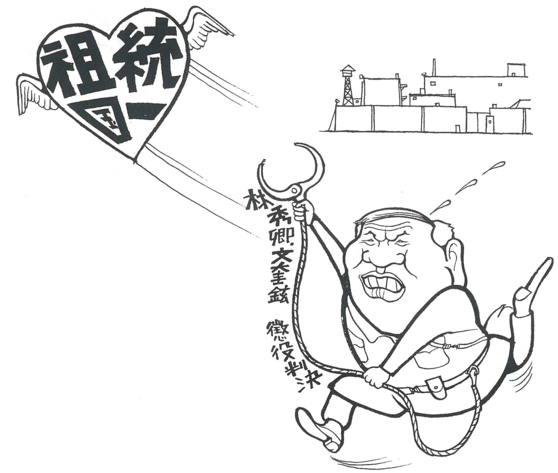


他力本願

1990．1．29　盧泰愚「政権」、米国との間で10月末から92年7月までに駐「韓」米軍削減の合意発表。



「門」のない板門店



魂はつかまえられぬ

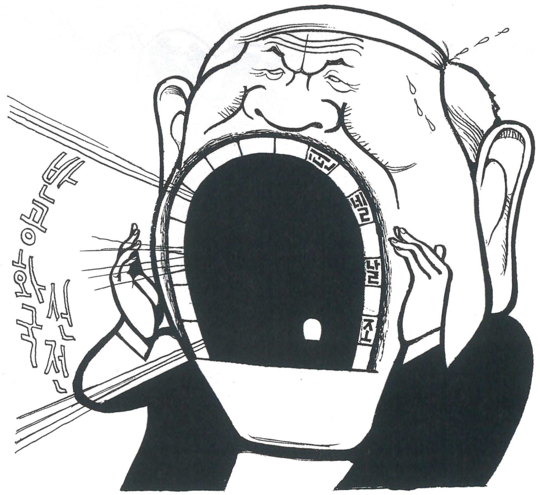
1990．2．5　「ソウル刑事法院」は林秀卿学生に懲役10年、文奎鉉神父に懲役8年を宣告。



コンクリート障壁

トンネル事件でっち上げ

洞(ほら)また…

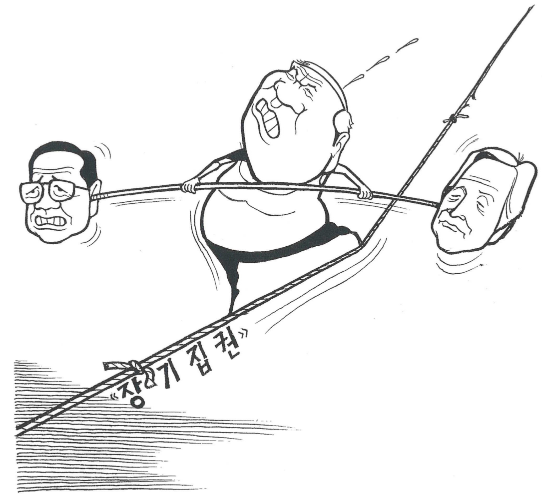


トンネルでっち上げ

反共和国宣伝

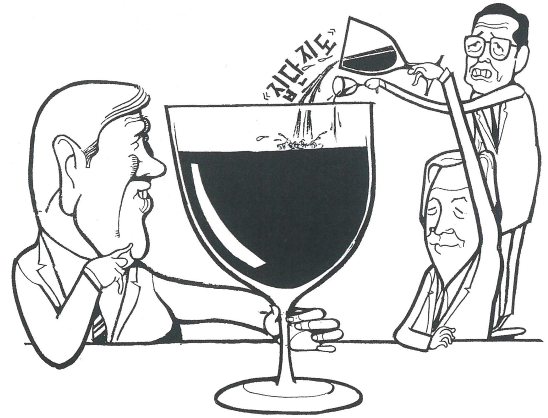
出口探し

1990. 3. 3　「韓国国防部」、非武装地帯内に「南侵用」の「第4トンネル」発見と発表。



「長期政権」

そろり…そろり…



集団指導

ありえないこと

1990. 1. 22　盧泰愚、金泳三、金鍾泌と青瓦台で会合し、民正・民主・共和の三党合党を宣言。

2. 9　民主自由党公式出帆。盧泰愚、金泳三、金鍾泌最高委員が共同で代表に。



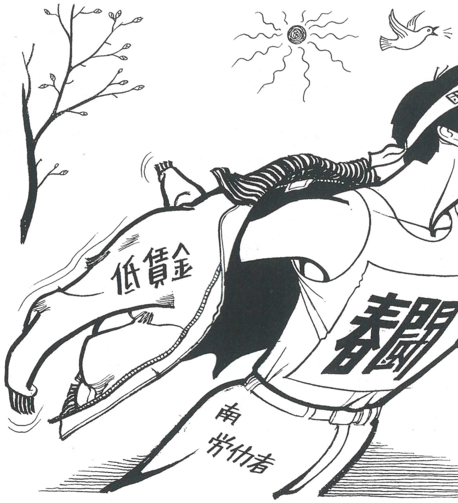
はいしどうどう…

「北方政策」



いってらっしゃいませ

1990.3.19　全泳三訪ソ。



春がきた

反民自党

「国会議員補欠選挙」

投票箱



ふたを開けたら

1990.3.18　全労協、6地域で6,000余人参加のもと、「労働運動弾圧粉砕、'90賃上げ闘争勝利をめざす前進大会」を開く。

4.3　「韓国国会」議員補欠選挙、忠北地区で民主党推薦無所属候補が当選。



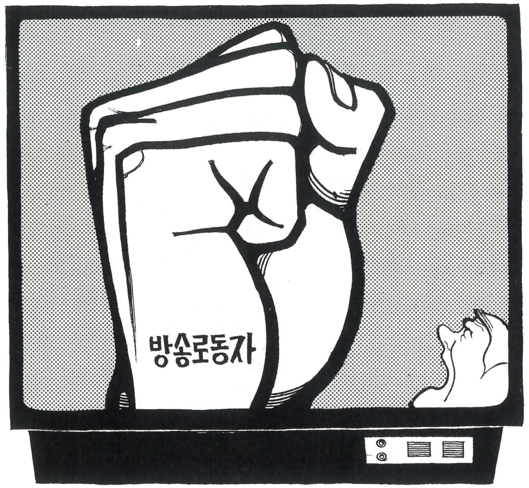
二足のわらじは無理

ホームレス



俺たちも一流国になった

1990. 4 .18 「韓国」住宅銀行の調査によれば、昨年1年間のソウル市の住宅伝貰価格上昇率は34.7%。



テレビ労働者

クローズ・アップ



言論操作

チャンネル権は俺が

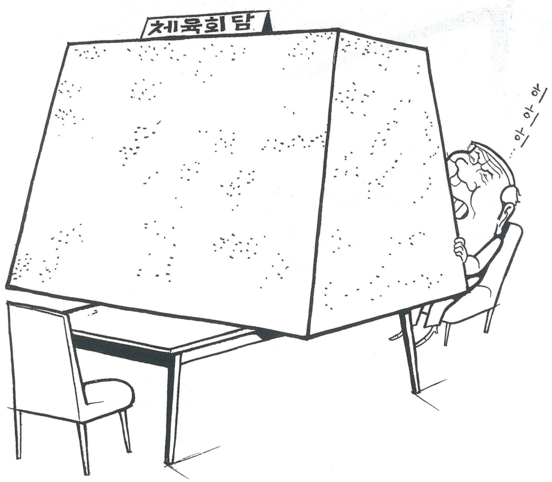
1990. 4 .12 「韓国」警察当局、労組の新任社長就任阻止行動を理由にKBSへ500余名の警察力を投入、労組員10名が負傷。

6 .14 「韓国弘報庁」長官、KBSの一部TVチャンネルを分離し、「民主化」することを基本内容とする「放送構造改編案」確定を発表。



文化財略奪

「コラッ こそ泥め」



体育会談

ヒヒヒ

ここにも障壁

1990．4 月　　日本で盗まれた高麗、李朝磁器強盗事件の犯人を釜山市警が逮捕。

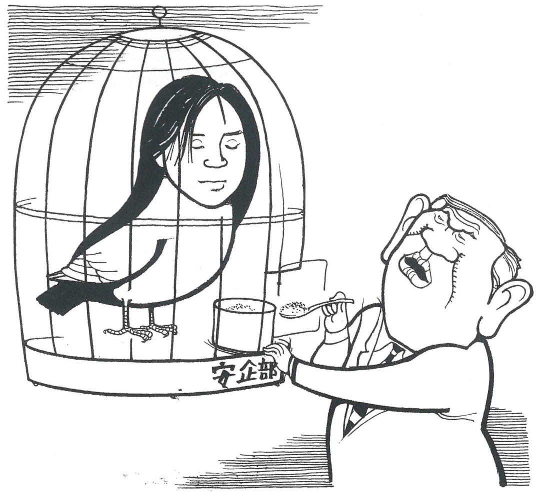


「安企部でっち上げ情報」

反共和国

日本言論機関行　国内言論行

注文別に



かごのとり

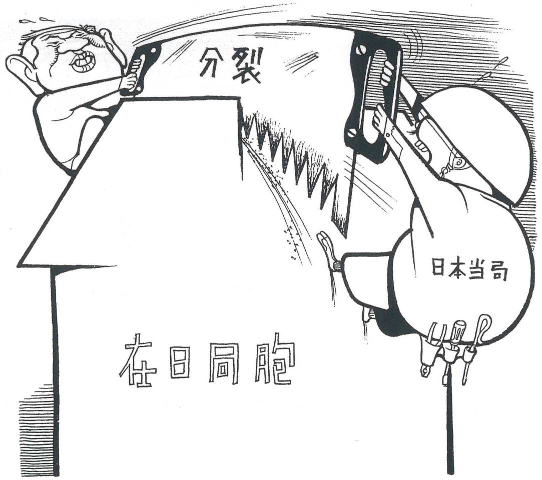
1990．5．17　KAL機行方不明事件の爆破犯人とされ、死刑が確定したばかりの「真由美」(金賢姫)の「社会復帰」を一斉に報道。



帰化

日本反動

きものが似合うよ



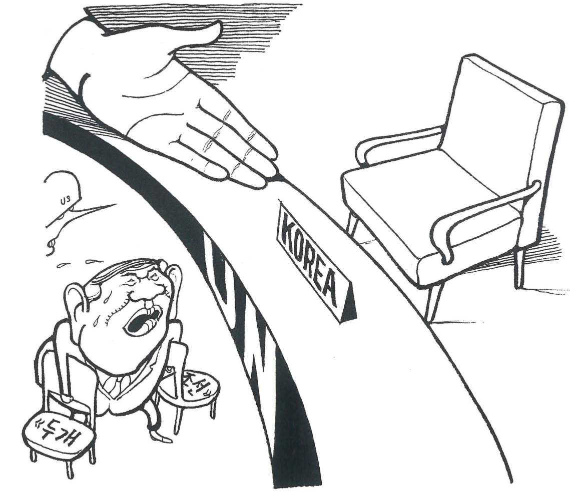
'91年問題

1990. 4 .12　日本の自民党治安対策特別委員会で「協定3世問題」を治安問題としてとり上げる。



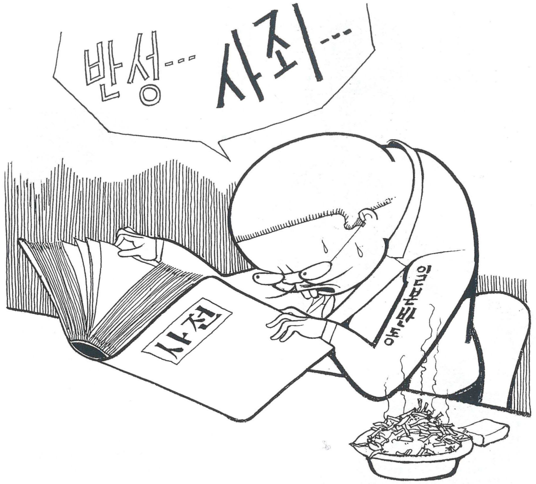
クロス承認

サインしてー



「二つの朝鮮」

一国家一議席！

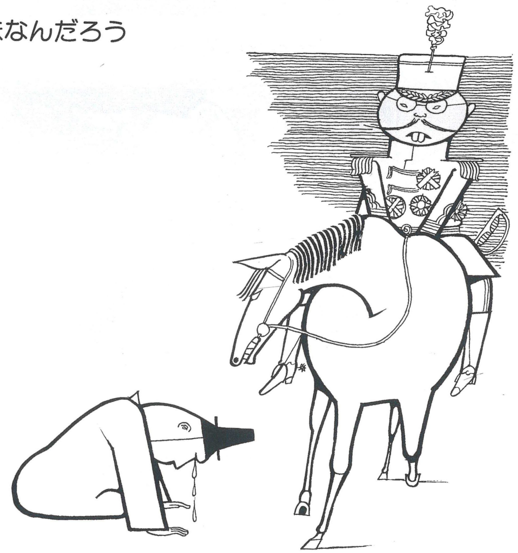


反省　謝罪

日本反動

辞典

どういう意味なんだろう



〝土下座〟は誰が—

1990.5月　盧泰愚訪日にともなう日本の明確な謝罪要求の世論に対し、自民党小沢幹事長が「(過去の歴史を)反省しているから協力している。地べたにはいつくばったり、これ以上土下座などする必要があるのか」と暴言。



「おことば」

この感激



クロス承認

ねえ—



朝鮮人強制連行記録
アメリカで発見

よくしらんよ

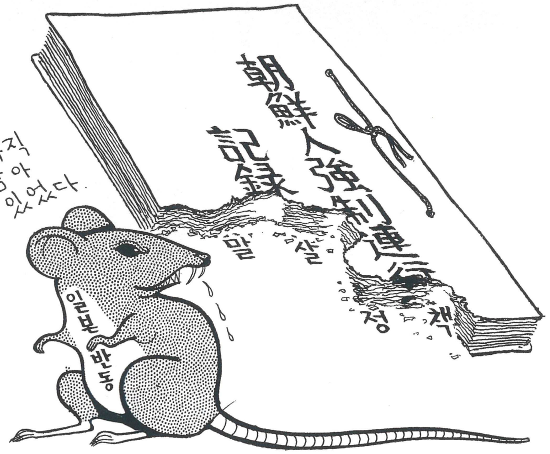
日本当局

ほおかむり

まだ残っていた

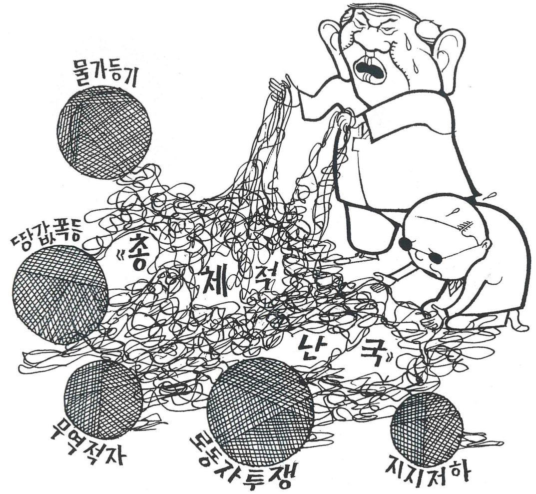
抹殺政策

日本反動



みんなかじったはずなんだが…

1990. 6 .10　参議院予算委員会で社会党の質問に対し、日本政府が朝鮮人強制連行者の名簿調査をしぶしぶ決定。



物価騰貴
土地暴騰
貿易赤字
労働者闘争
支持低下

総体的難局

なにがなんだか



乗りこなせたらおなぐさみ



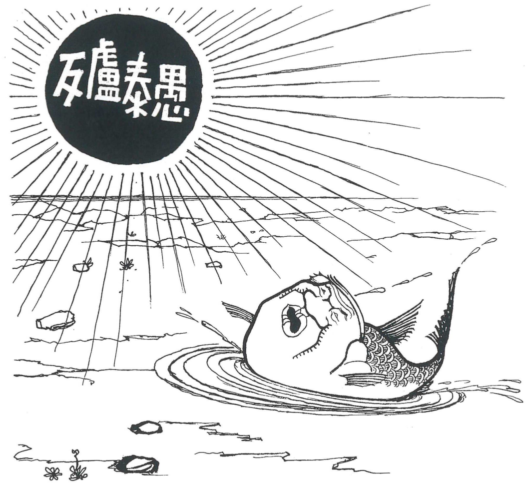
財産返還

お互いにあーん



「韓国」国会

どうだ！



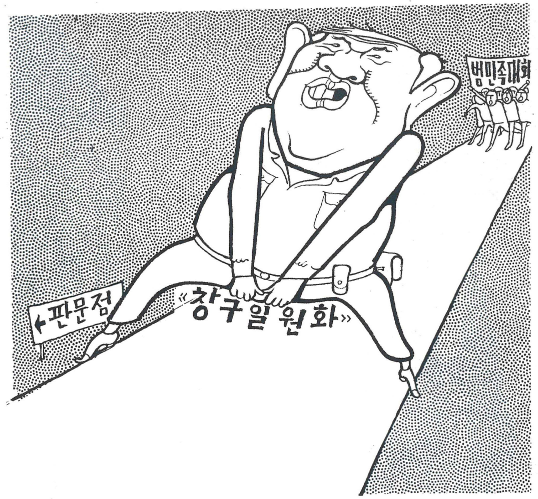
水ーッ



林秀卿釈放78万名署名

なにも身内のことを外へなど

1990. 6 .15　東亜日報が実施した世論調査の結果、三党合党について66％が否定的、盧泰愚の「国政」に対しても59.5％が否定的で盧泰愚退陣要求の高まりを反映。



汎民族大会

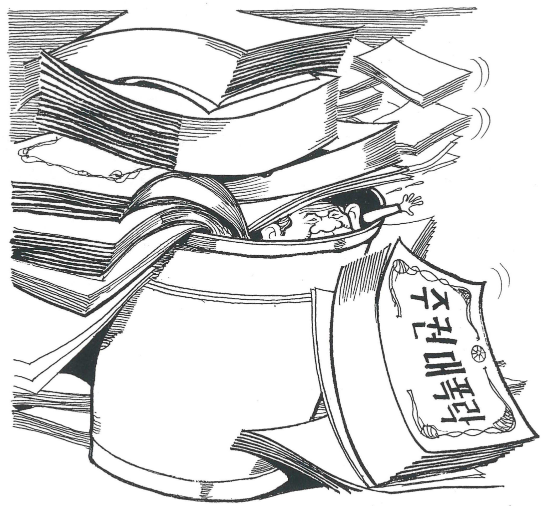
板門店　窓口一本化

股をくぐれ



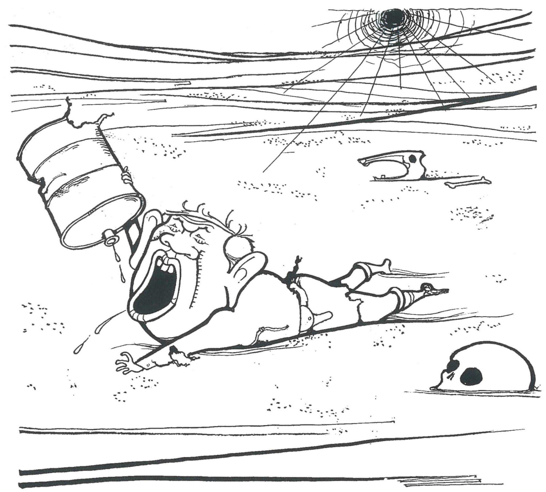
白頭から漢拏まで

1990. 8 .15　板門店で8 .15汎民族大会開かる。



株大暴落

紙屑



の、のどがー(イラク問題)

1990. 8 . 3　イラク軍、クウェートを制圧。

在日朝鮮人漫画家・蔡峻

片寄みつぐ

在日朝鮮人は現在65万人だという。このなかで漫画を描く者が何人かいても当り前であろう。「朝鮮新報」に漫画を発表している漫画家はまだ数は多くないが、その作品は異なった視覚で、日本の内部から描いたものとして注目される。

とくに、このなかでは蔡峻がキャリアも古く、真正面から政治漫画を描いている。彼は戦前から日本にいたが、漫画を学んだのは戦時中の加藤悦郎からであった。悦郎の正攻法の描法は、彼のよき栄養となったと思う。

蔡峻の暗いきびしい画面は、異国に生きる人々の生活的労苦を思わせ、みる者を緊張させずにはおかない。

彼は戦後、日本の労働漫画クラブにも所属して活躍した。しかし、こうした二重性は彼の内部世界を常に不安なものにしていた。かつて彼の部屋を訪れ、描いていた油絵をみせてもらったことがある。それは朝鮮人の老婆が、若い巡査に外人登録証の提示を求められている光景を描いたものであった。漫画家が注文でなく自分の描きたいものを自由に描くとき、意外な素顔を現すものだが、本当に描きたいものがこんなに暗いさりげないものであった、ということを知った時はショックだった。

しかし彼は、こうした弱さを政治漫画では少しも見せない。それは自分一個の問題ではないからであろう。いかなる強大なものであろうと、悪しきものには断固と立ち向かう、風刺漫画家としてのバックボーンはみごとなものだ。いまの日本の漫画家には遠く失われてしまったもののように思う。

ふやけきった今の日本に蔡峻のような漫画家がいるということ、これは私たちにとっても強い刺激だ。蔡峻の作品を通して初めてよりよくわかる、日本の漫画の造形性の弱さ、これは日本人の漫画家にとっても、克服しなければならない問題だろう。

彼の描いた韓国の政治・社会問題が、日本で描かれたものであっても、その恐怖は決して少なくはない。それは画面を通じて私たちにも伝わる。だが、それに屈してはいない。しかし、彼を支える日本の民主主義がどんなものであるのか。それを私たち日本人自身が知っている以上、彼の風刺漫画家としての勇気に驚きさえ覚えるのだ。(未来社刊「戦後漫画家思想史」より)

解放があって分断45年

●著者あとがき

本来別に描きたいとも思わなかった政治漫画を、いまに至るまで私に描き続けさせたのは一に分断された朝鮮の現状であった。

私は、若い頃の自分に影響をあたえたヨーロッパの一連の漫画家のように、自分もまた虐げられた民衆の生活を描きたいと思ったのである。

ところが突然に分断がおこり、その分断が私たちのすべてを支配するようになる状況の中では、私たちは否応なく政治に巻き込まれ、政治が生活の中心になるのであった。

分断は実は1945年のアメリカの南朝鮮占領から始まる。アメリカは極東戦略上の要請から「二つの朝鮮」を作り上げたのだ。そしてそれ以後、歴代の南の「政権」もまた、このアメリカの戦略に従って徹底した分断路線をとるのである。

その分断の悲劇は南の人に、その政治経済的な破綻とともに重くのしかかる。そしてそれはまた在日の私たちにも、同胞内部の深刻な分裂と、日本当局による在日朝鮮人への弾圧として現れるのである。

私が政治漫画を好きになれなかったのは(いろいろあるが)一つにはすべてに対してのその短絡的な結論と、割り切り方のためであった。そこにはイエスかノーか、敵か味方か、あれかこれか、それだけしかないのである。

この複雑な人生にあって、そんなふうにすべてを割り切って、時には強引なまでの結論と答えをだすなんてそんなことができるのだろうか。私はそう思ったのである。

だが祖国の分断という悲劇的な状況は、私たちすべてに明解な割り切りと決定的な態度表明を求めるのである。

「統一か、それとも分断か」である。

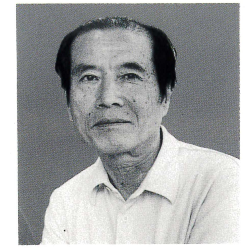
これは私たち朝鮮人にとっては理屈をこえてせっぱ詰ったものであった。つまりイエスかノーか、あれかこれか、である。

私はその状況を前にして自分もまた統一を願うものの一人として、政治漫画を描かなければならないと思ったのである。約40年間私は政治漫画を描いてきた。長い間描いたとも思う。だが長い期間描いたからといっていい作品ができるわけではない。作品の良し悪しは時間に関係ないのだ。私の作品はどういうものなのだろうか。私はいまだに自分の作品に対しての判断ができない。

蔡峻風刺画集　定価　1500円(税込)

1990年10月10日発行

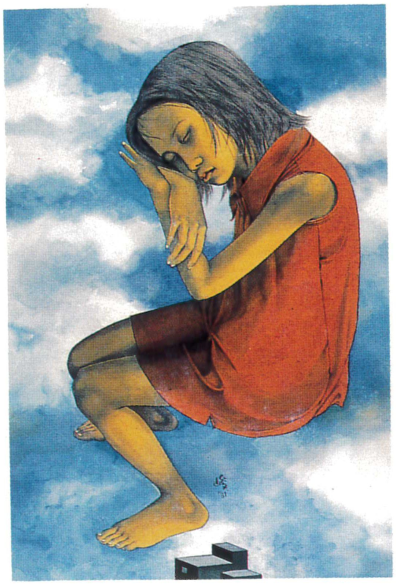
著　者　蔡　峻
発行所　朝鮮新報社出版事業部
〒162　東京都新宿区筑土八幡町2—4
☎03—269—0131(代)　振替東京4—6893
解　説　康煕奉
装　幀　盧英男
印　刷　朝鮮新報社工務局



蔡峻（チェ・ジュン）略歴

- ●1926年生れ
- ●10代の後半から美術研究所にかよいながら、日本の高名な漫画家に師事し漫画の勉強
- ●日本敗戦後、20代の初期から在日朝鮮人の発行する新聞、雑誌などに漫画を描きはじめ現在に至る
- ●1959年と1962年にそれぞれ政治漫画集を出版
- ●1972年から1986年にかけて東京、大阪で個展5回
- ●1981年頃から漫画、美術展覧会などについての評論、日本にある朝鮮の古美術について文などを書く。
- ●1986年頃から在日朝鮮人の美術展覧会活動に積極的に参加
- ●1988年日朝友好展で神奈川県知事賞
- ●朝鮮民主主義人民共和国功勲芸術家
- ●現在・朝鮮文学芸術家総同盟盟員
在日本朝鮮文学芸術家同盟盟員

アトリエ＝東京都東村山市恩多町5−18−6
電話／0423(96)5975



朝鮮新報社出版事業部

定価1500円(本体1456円)